

# V. 市民アンケート等調査結果

## 1 調査の概要

### ① 目的

これまで推進してきた尼崎市のまちづくりについての認知度や今後取り組むべき施策等について、市民・事業者の意見を把握するとともに、市外からの通勤者や大学生など、市外居住者や若い世代が持つ尼崎の印象や今後取り組むべき施策等について意見を把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

### ② 調査概要

#### 1) 市民アンケート

- ・ 調査対象：18歳以上の尼崎市民 ※ 年齢・地域を考慮した無作為抽出
- ・ 標本数：2,000票（到達1,976票、不達24票）
- ・ 調査方法：配布（郵送）、回収（郵送回収又はWEB回答）
- ・ 回収期間：令和4年7月上旬～9月末 ※ 9月に督促を1回実施
- ・ 回収数：492票（紙-273票（55.5%）、WEB-219票（44.5%））
- ・ 回収率：24.6%

#### 【年齢別の回収状況】

	回収数	割合
10～20歳代	68	13.8%
30歳代	66	13.4%
40歳代	103	21.0%
50歳代	70	14.2%
60歳代	65	13.2%
70歳代	120	24.4%
全体	492	100%

#### 【地域別の回収状況】

	回収数	割合
阪急沿線地域	260	52.8%
JR沿線地域	143	29.1%
阪神沿線地域	89	18.1%
全体	492	100%



## 2) 事業者アンケート

- ・ 調査対象：尼崎市に立地する事業所（工業・商業）
- ・ 標本数：1,000 票（到達 992 票、不達 8 票）
- ・ 調査方法：配布（郵送）、回収（郵送回収 又は WEB 回答）
- ・ 回収期間：令和 4 年 7 月上旬～9 月末 ※ 8 月に関係団体へ協力を依頼
- ・ 回収数：248 票（紙-191 票（77.0%）、WEB-57 票（23.0%））
- ・ 回収率：24.8%

## 3) 市外からの通勤者向けアンケート

- ・ 調査対象：尼崎市の事業所に市外から通勤されている従業員の方々

（2）の事業者アンケートで、市外からの通勤者アンケートに協力していただけたと回答した事業者

及び関係団体等を通じて協力を依頼した事業者

- ・ 調査方法：WEB 回答
- ・ 回収期間：令和 4 年 8 月下旬～10 月 14 日（金）
- ・ 回収数：215 票

## 4) 大学生向けアンケート

- ・ 調査対象：以下の大学に通学されている学生

（関西国際大学（尼崎キャンパス）、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、武庫川女子大学、武庫川女子大学短期大学部、産業技術短期大学）

- ・ 調査方法：WEB 回答
- ・ 回収期間：令和 4 年 8 月下旬～10 月 14 日（金）
- ・ 回収数：290 票

注：グラフ・表の構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない

## 2 調査の内容

---

### 1) 市民アンケート

- 回答者の属性（居住地、年齢、職業、通勤状況、家族の状況等）
- 尼崎のまちづくりについて
  - ・ 計画や取組の認知度
  - ・ 地域の現状の満足度と優先して取り組むべき項目
  - ・ 尼崎市の都市のイメージ、どんな都市になってほしいか
  - ・ 日常生活の移動手段
  - ・ 災害リスクの認知度、防災・減災まちづくりに必要なこと
  - ・ 地域のまちづくりへの関心、参加意向など

### 2) 事業者アンケート

- 事業所の状況（所在地、業種、従業員数、開業年、用途地域等）
- 尼崎のまちづくりについて
  - ・ 計画や取組の認知度
  - ・ 地域の現状の満足度と優先して取り組むべき項目
  - ・ 尼崎市の都市のイメージ、どんな都市になってほしいか
  - ・ 災害リスクの認知度、防災・減災まちづくりに必要なこと
  - ・ 事業所を営むにあたっての問題、今後の事業意向等
  - ・ まちづくりへの協力・貢献
  - ・ 市外からの通勤者向けアンケートへの協力意向

### 3) 市外からの通勤者向けアンケート

- 回答者の属性（居住地、年齢、家族の状況、勤続年数、通勤手段等）
- 市外在住者から見た尼崎のまちの課題・魅力
  - ・ 尼崎市の魅力、まちの課題、まちづくりに関する満足度
  - ・ 尼崎市での今後の居留意向、尼崎市で居住するために必要なもの

### 4) 大学生向けアンケート

- 回答者の属性（通学先大学、学年、居住地、出身、通学手段等）
- 若者から見た尼崎のまちの課題・魅力
  - ・ 尼崎市の魅力、まちづくりに関する満足度
  - ・ 尼崎市での今後の居留意向、尼崎市で居住するため・住み続けるために必要なもの

### 3 調査結果の総括

---

#### (1) 市民アンケート

##### 1) 都市計画マスタープランの認知度

都市計画マスタープランについては、「計画があることを知らなかった（今回初めて知った）」と「計画があることを知っているが、見たことはない」との回答が 90%以上を占めており、ほとんど市民に認知されていない。

都市計画マスタープランの効果的な周知方法については、「市の広報誌に掲載」が最も多く、次いで「動画配信や SNS」が 2 番目に多く、多様な手段による情報発信が求められている。

##### 2) 分野別まちづくりの認知度

都市交通分野のまちづくり（自転車専用レーンや駐輪場の整備等）は、「知っている」が半数以上を占めており、「駅や商業施設などに駐輪場が十分にある」の現状の満足度は前回調査（平成 24 年）と比較して大きく向上している。また、都市防災分野のまちづくり（地域防災マップづくりや防災訓練の支援等）は、「知っている」が約 40% 占めている。一方で、その他の分野のまちづくりについては「知らない」が約 80% で、大半の市民に認知されていない。

##### 3) 現状の満足度と今後優先して取り組むべき事柄

現状の満足度は、「食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」、「近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」など、日常生活の利便性に関する項目が高い。一方で、「美しい建築物や道路による良好な景観がある」の満足度は低い。阪神沿線地域では「騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」の満足度が他の地域に比べて著しく低い。

今後優先して取り組むべき事柄は、「騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」が最も多く、「歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ」が 2 番目で、歩いて暮らせる良好なまちづくりが求められている。

##### 4) 市民が持つ尼崎市のイメージと今後どのようなまちになってほしいか

市民が持つ尼崎市のイメージについては「大阪都市圏の住宅都市」、「阪神間を代表する工業都市」に 2 分されているが、前回調査と比べ、工業都市のイメージは減少、住宅都市のイメージが強くなってきている。

それを反映して、尼崎市が今後どのようなまちになってほしいかについては、「ゆとりある良好な住環境のまち」、「買い物など日常生活をしやすいまち」が特に多く、身近な暮らしや住環境の向上が求められている。

##### 5) 防災・減災について

防災・減災に必要な取組として、「水害対策」が最も求められている。また「建物の耐震化等、地震への備え」、「避難路、輸送路の確保」、「復興の事前準備」などについても高い関心が寄せられている。

## 6) 地域のまちづくりについて

地域のまちづくりについては、約 40%が「地域のイベントへの参加」や「アンケート・意見募集への協力」、「環境美化活動・緑化活動への参加」などの方法により「機会・時間があれば参加したい」としており、地域まちづくりへの市民の関心は高く、協働のまちづくりを推進していくことが求められている。

## (2) 事業者アンケート

### 1) 都市計画マスタープランの認知度

都市計画マスタープランについては、「計画があることを知らなかった（今回初めて知った）」と「計画があることを知っているが、見たことはない」との回答が 90%以上を占めており、ほとんど事業者に認知されていない。

都市計画マスタープランの効果的な周知方法については、「市の広報誌に掲載」が最も多く、次いで「動画配信や SNS」が 2 番目に多く、多様な手段による情報発信が求められている。

### 2) 分野別まちづくりの認知度

都市交通分野のまちづくり（自転車専用レーンや駐輪場の整備等）と都市防災分野のまちづくり（地域防災マップづくりや防災訓練の支援等）については、「知っている」が半数以上を占めているが、その他の分野のまちづくりについては「知らない」が約 80%で、大半の事業者に認知されていない。

### 3) 現状の満足度と今後優先して取り組むべき事柄

現状の満足度は、「食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」、「近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」など、日常生活の利便性に関する項目が高い。一方で、「美しい建築物や道路による良好な景観がある」「緑豊かで憩いやすくなる場所がある」の満足度は低い。地域別でみると、JR 沿線地域については、「バスやタクシー乗り場の整備、駐車場・駐輪場の充実等の駅周辺の利便性」の満足度が高い。一方、臨海地域については、「日常生活のための商店や公共施設・公園の使いやすさ」の満足度が低く、事業を営むに当たって問題と感じているところとしても「コンビニ等の利便施設の不足」の割合が高い。

今後優先して取り組むべき事柄は、「近くに避難施設があるなど災害時の逃げやすさ」「道が広いなど地震や火災に対する強さ」といった災害時の備えと、「歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ」「道路が整備され自転車が走りやすい」といった交通環境の向上に関する割合が高い。

### 4) 事業者が持つ尼崎市のイメージと今後どのようなまちになってほしいか

事業者が持つ尼崎市のイメージについては「阪神間を代表する工業都市」、「大阪都市圏の住宅

都市」が特に多く、大都市近郊の工業都市・住宅都市として認知されている。

また、尼崎市が今後どのようなまちになってほしいかについては、「ゆとりある良好な住環境のまち」、「住宅と商店、住宅と工場が共存するまち」が特に多く、臨海地域では、人が集まり交流するにぎわいのあるまちづくりが求められている。

## 5) 災害リスクの認知度

事業者の災害リスクの認知度については市の南北で地域差が見られる。特に南部の臨海地域で災害リスクの認知度が高く、70%以上の事業者がハザードマップを確認し災害リスクを把握している。

## 6) 事業を営む上での問題点

臨海地域では「駐車スペースの不足」、「幹線道路の渋滞や道路の道幅が狭いなどの交通上不便」などの交通に関する問題点が、事業を営む上での問題点となっている。また、南部地域（阪神沿線、臨海）は北部地域（阪急沿線、JR沿線）に比べ「コンビニ等の利便施設の不足」、「空き店舗、倉庫の増加による商業地としての魅力の低減」などの商業機能の弱さ・衰退が、事業を営む上での問題点となっている。

# (3) 市外からの通勤者向けアンケート

## 1) 尼崎市の魅力と課題

尼崎市の魅力は、「大都市に近くアクセスがよい」、「鉄道やバスなど移動が便利」、「昔ながらの商店街がある」の割合が特に高く、市外からの通勤者から見た尼崎市の魅力は、交通利便性の高さと言えらる。昔ながらの下町の良さであると言える。

一方、尼崎市の課題は、「魅力的な空間が不足している」、「住宅地としてのイメージが良くない（治安が悪いイメージ）」の割合が特に多く、魅力的な空間の整備やまちのイメージアップが求められている。

## 2) 現状の満足度

尼崎市の現状の満足度は、「通勤や買い物の利便性」が高い。一方で、「治安やマナー」の満足度が低い。

## 3) 今後の居留意向と住んでみたいと思うために必要な事柄

今後の居留意向については、「住みたくない」「あまり住みたくない」が8割近くを占めており、大半は居留意向がない。今後住んでみたいと思うために必要な事柄については、「手頃な価格の住宅」が最も多い。

## **(4) 大学生向けアンケート**

### **1) 尼崎市の魅力**

尼崎市の魅力は、「大都市に近くアクセスがよい」、「鉄道やバスなど移動が便利」、「大型ショッピングセンターがある」の割合が高く、大学生から見た尼崎市の魅力は、交通利便性の高さと同型商業施設の存在であると言える。

### **2) 現状の満足度**

尼崎市の現状の満足度は、「通勤や買い物の利便性」が高い。一方で、「治安やマナー」の満足度が低い。

### **3) 今後の居留意向と住んでみたい・住み続けたいと思うために必要な事柄**

今後の居留意向については、「住みたくない」、「あまり住みたくない」が60%近くを占めている。市外からの通学者の約70%は居留意向がないのに対して、市内からの通学者で居留意向がないのは30%程度にとどまっており、市内居住であるかどうかにより差が見られた。

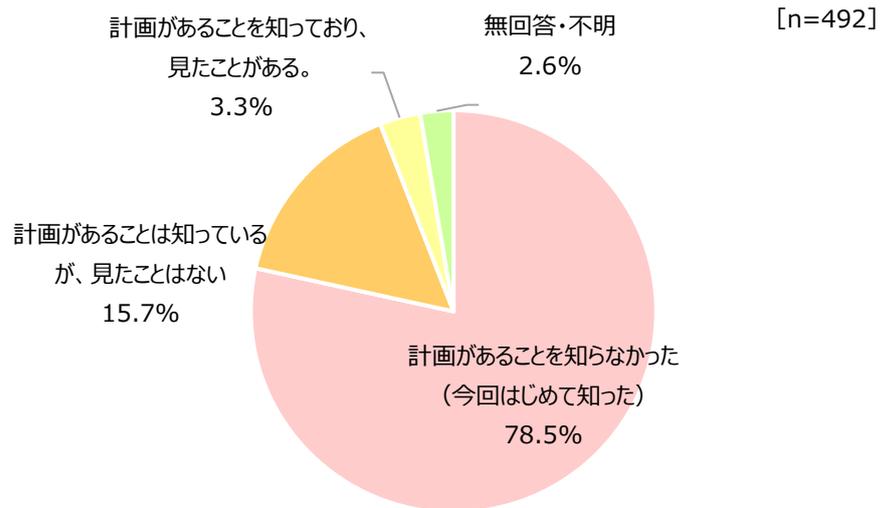
居留意向がある人が住み続けたいと思うために必要な事柄については、「商業施設の充実」、「働くための機会・場所の充実」、「手頃な価格の住宅」の割合が特に高く、居留意向がない人が住んでみたいと思うために必要な事柄については、「魅力的な空間・にぎわい空間」の割合が特に高く、生活利便性の向上に加えて魅力的な空間や場所が求められている。

## 4 主な調査結果

### (1) 市民アンケート

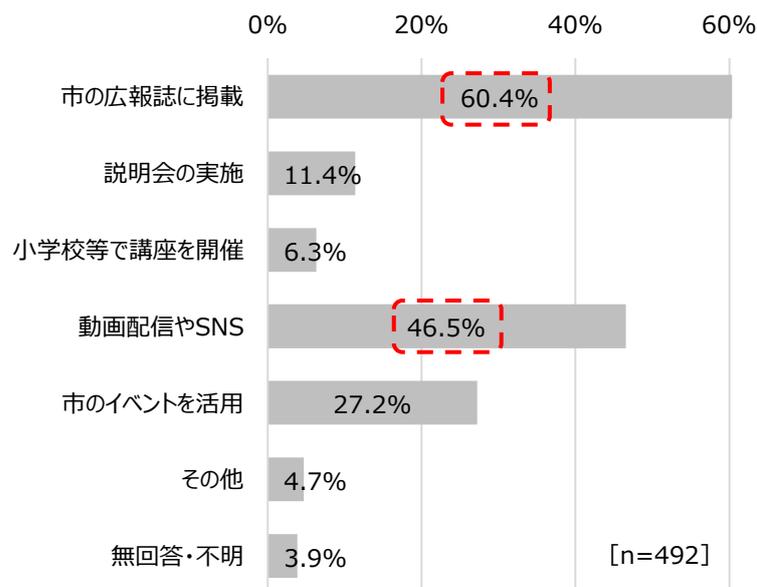
#### ① 現行（平成 26 年版）都市計画マスタープランの認知度 [単一回答]

現行（平成 26 年版）都市計画マスタープランの認知度については、「計画があることを知らなかった（今回はじめて知った）」が 78.5%と大半を占めている。「計画があることを知っているが、見たことはない」を含め約 94%が計画を見たことがなく、計画の内容はほとんど市民に認知されていないものと考えられる。



#### ② 都市計画マスタープランの効果的な周知方法 [複数回答]

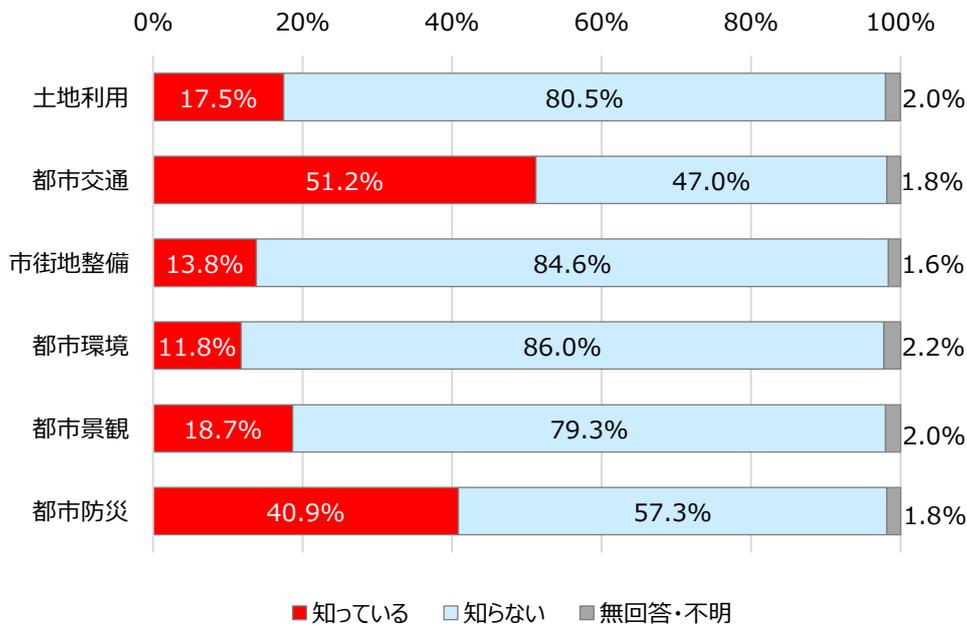
都市計画マスタープランの効果的な周知方法については、「市の広報誌に掲載」が 60.4%と最も高く、次いで「動画配信や SNS」が 46.5%を占めている。



③-1 尼崎市の分野別のまちづくりの取組を知っているか [単一回答]

尼崎市の分野別のまちづくりの取組について、知っている割合が高かったのは【都市交通】と【都市防災】の分野で「知っている」がそれぞれ 51.2%、40.9%であった。一方、【土地利用】、【市街地整備】、【都市環境】、【都市景観】の分野については、いずれも「知らない」が約 80%を占めている。

[n=492]

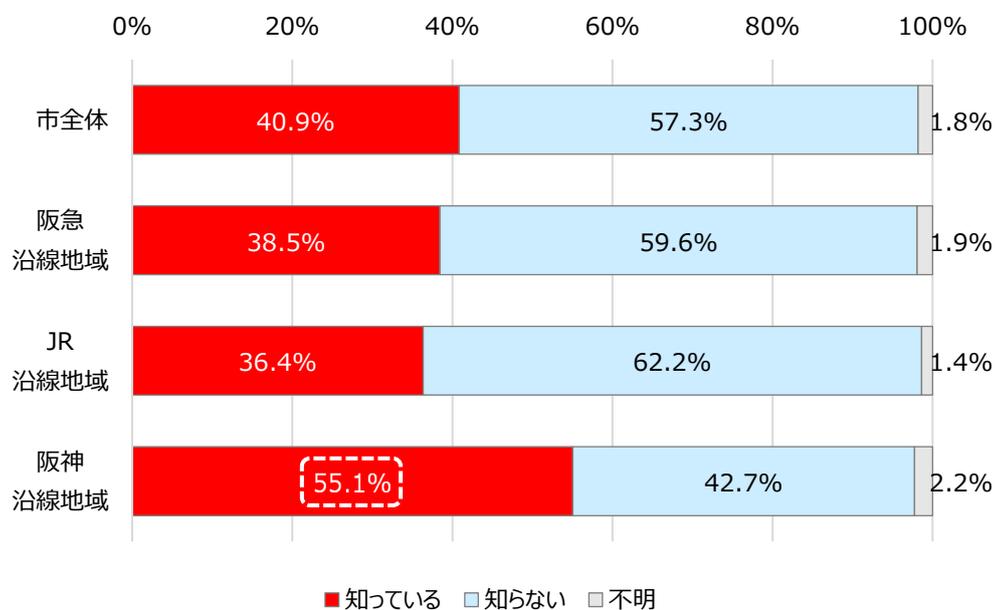


分野	代表的な取組内容
土地利用	【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していること
都市交通	【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティーサイクルを整備していること
市街地整備	【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていること
都市環境	【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していること
都市景観	【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャーム賞」として表彰していること
都市防災	【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していること

### ③-2 都市防災の主な取組を知っているか×地域区分 [単一回答]

都市防災の主な取組（地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していること）を知っているかについて地域区分別で比較すると、阪神沿線地域では「知っている」が55.1%で市全体の水準より約14ポイント高い。

単一回答	阪急沿線地域		JR沿線地域		阪神沿線地域		市全体	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1 知ってる	100	38.5	52	36.4	49	55.1	201	40.9
2 知らない	155	59.6	89	62.2	38	42.7	282	57.3
3 無回答・不明	5	1.9	2	1.4	2	2.2	9	1.8
合計	260	100.0	143	100.0	89	100.0	492	100.0



#### ④-1 現状の尼崎の満足度 [単一回答]

現状の尼崎の満足度について評点を見ると、「①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」が 1.13 ポイント、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」が 1.10 ポイントであり、住みやすさに関する項目での満足度が高いといえる。

一方、「⑫美しい建築物や道路による良好な景観がある」が -0.16 ポイントであり、ゆとり・うるおいに関する項目の満足度が低い。

項目	満足 (件数)	やや満足 (件数)	どちらでもない (件数)	やや不満 (件数)	不満 (件数)	無回答・不明 (件数)	合計 (件数)	評点	前回調査 評点 [H24]	
住みやすさ	①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	217	168	49	35	12	11	492	<b>1.13</b>	<b>0.97</b>
	②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	190	188	80	23	5	6	492	1.10	0.70
	③日頃利用する公園の使いやすさ	102	134	201	31	14	10	492	0.58	0.24
	④日当たりなど生活環境の良さ	166	168	99	40	12	7	492	0.90	0.56
	⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	82	143	146	83	30	8	492	0.34	-0.12
安全性	⑥近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	87	158	190	42	8	7	492	0.56	0.10
	⑦道が広いなど、地震や火災に対する強さ	57	116	211	73	21	14	492	0.24	-0.10
	⑧歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	60	129	179	87	28	9	492	0.22	-0.23
交通	⑨道路が整備され自転車が走りやすい	50	119	155	134	26	8	492	0.07	-0.38
	⑩幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	69	153	190	54	10	16	492	0.46	0.30
	⑪電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	148	182	91	52	12	7	492	0.83	0.53
ゆとり・うるおい	⑫美しい建築物や道路による良好な景観がある	22	79	218	129	35	9	492	<b>-0.16</b>	<b>-0.41</b>
	⑬緑豊かで憩いづつるげ場所がある	40	143	172	98	31	8	492	0.13	-0.11
	⑭河川・水路などの水に親しめる場所がある	44	120	166	112	42	8	492	0.02	-0.21
最寄りの駅について	⑮バスやタクシーの乗場などが整備されている	124	191	115	38	16	8	492	0.76	0.58
	⑯駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	90	151	124	90	27	10	492	0.39	0.20
	⑰駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	75	176	130	76	27	8	492	0.40	-0.31
	⑱駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	42	131	176	108	23	12	492	0.13	-0.28

[評点について]

- ・満足: 2点、やや満足: 1点、どちらでもない: 0点、やや不満: -1点、不満: -2点とした加重平均(※)の値
- ・基準点は 0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。無回答・不明は算出から除外。

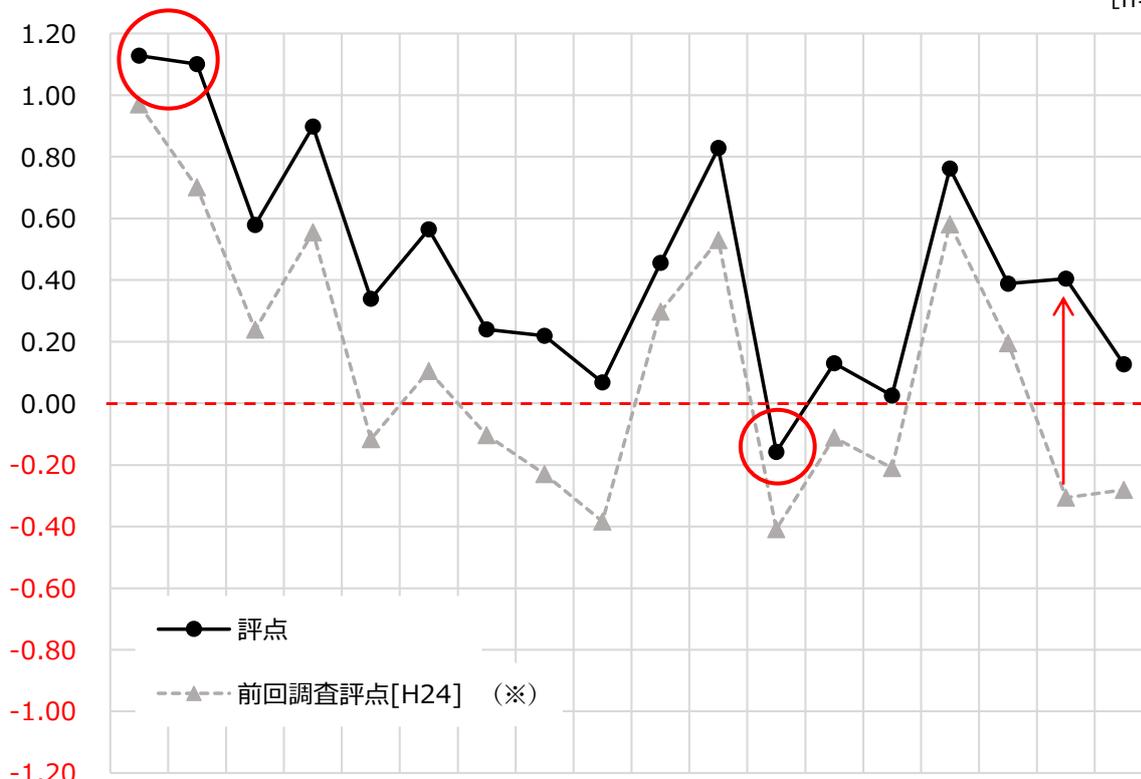
※【算出例】(①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ)

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答・不明	合計
217件	168件	49件	35件	12件	11件	492件

$$\left( \frac{2 \text{点} \times 217 \text{件} + 1 \text{点} \times 168 \text{件} + 0 \text{点} \times 49 \text{件} + (-1 \text{点}) \times 35 \text{件} + (-2 \text{点}) \times 12 \text{件}}{492 \text{件} [\text{合計}] - 11 \text{件} [\text{無回答} \cdot \text{不明}]} \right) = 0.97$$

【現在の尼崎市の満足度-評点】

[n=492]



- ① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ
- ② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ
- ③ 日頃利用する公園の使いやすさ
- ④ 日当たりなど生活環境の良さ
- ⑤ 騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ
- ⑥ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ
- ⑦ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ
- ⑧ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ
- ⑨ 道路が整備され自転車が行きやすい
- ⑩ 幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい
- ⑪ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい
- ⑫ 美しい建築物や道路による良好な景観がある
- ⑬ 緑豊かで憩いやすくなる場所がある
- ⑭ 河川・水路などの水に親しめる場所がある
- ⑮ バスやタクシーの乗場などが整備されている
- ⑯ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある
- ⑰ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある
- ⑱ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある

※現行計画策定に当たっても、同じ項目でアンケートを実施している。(平成 24 年)

前回調査と比較すると、評点の傾向はおおむね同じであるが、全体として評点は上がっている。

特に⑰は-0.31 から+0.40 と大きく評点が上がっている。

#### ④-2 現状の尼崎の満足度×地域区分 [単一回答]

現状の尼崎の満足度について地域区分別に比較すると、「⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」の項目では、阪神沿線地域が-0.15 であり、特に評点が低い。また、「⑭河川・水路などの水に親しめる場所がある」の項目では、JR 沿線地域が-0.31 であり、市全体の評点と比較しても約 0.3 ポイント低い。

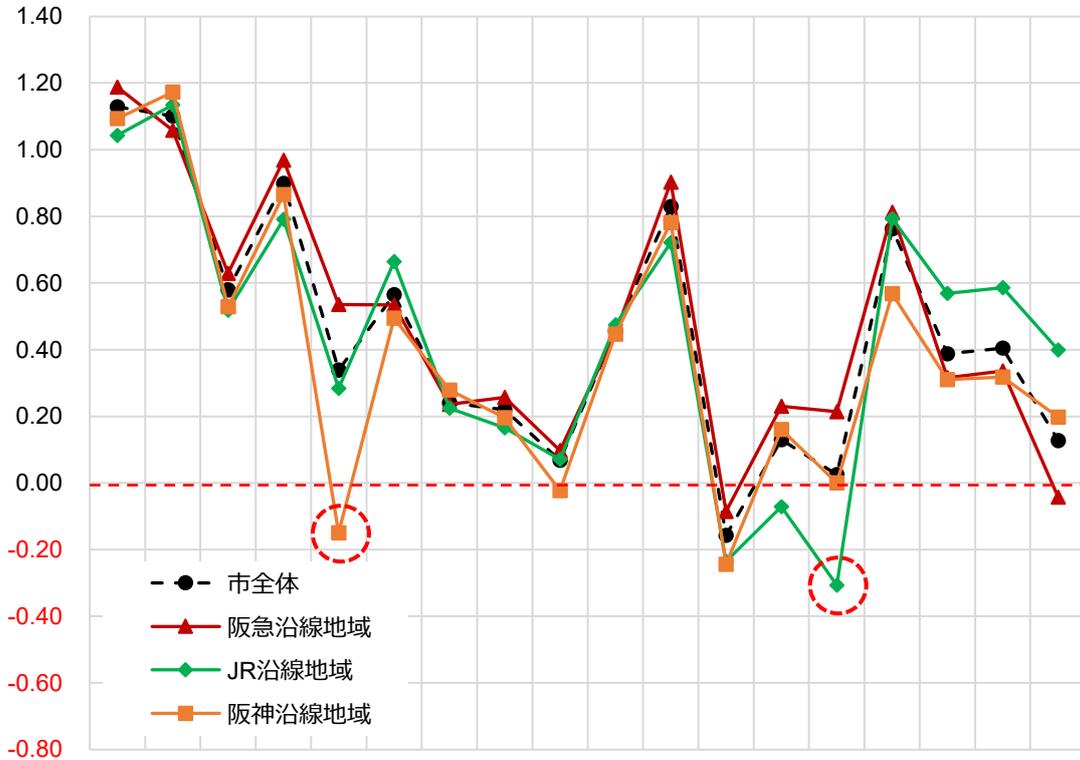
項目		阪急 沿線地域	JR 沿線地域	阪神 沿線地域	市全体
住みやすさ	① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	<b>1.19</b>	1.04	1.09	<b>1.13</b>
	② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	1.06	<b>1.13</b>	<b>1.17</b>	1.10
	③ 日頃利用する公園の使いやすさ	0.63	0.52	0.53	0.58
	④ 日当たりなど生活環境の良さ	0.97	0.79	0.87	0.90
	⑤ 騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	0.54	0.28	-0.15	0.34
安全性	⑥ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	0.53	0.66	0.49	0.56
	⑦ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ	0.24	0.22	0.28	0.24
	⑧ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	0.26	0.17	0.20	0.22
交通	⑨ 道路が整備され自転車が走りやすい	0.10	0.07	-0.02	0.07
	⑩ 幹線道路などが整備され、車両の移動しやすい	0.45	0.47	0.45	0.46
	⑪ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	0.90	0.72	0.78	0.83
ゆとり・うるおい	⑫ 美しい建築物や道路による良好な景観がある	-0.09	-0.24	-0.24	-0.16
	⑬ 緑豊かで憩いつづげる場所がある	0.23	-0.07	0.16	0.13
	⑭ 河川・水路などの水に親しめる場所がある	0.21	-0.31	0.00	0.02
最寄り駅について	⑮ バスやタクシーの乗場などが整備されている	0.81	0.79	0.57	0.76
	⑯ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	0.32	0.57	0.31	0.39
	⑰ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	0.34	0.59	0.32	0.40
	⑱ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	-0.04	0.40	0.20	0.13

※地域区分ごと及び市全体における評点の最大値を太字で表記。

[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。無回答・不明は算出から除外。

【尼崎市の現状についての満足度×地域区分】

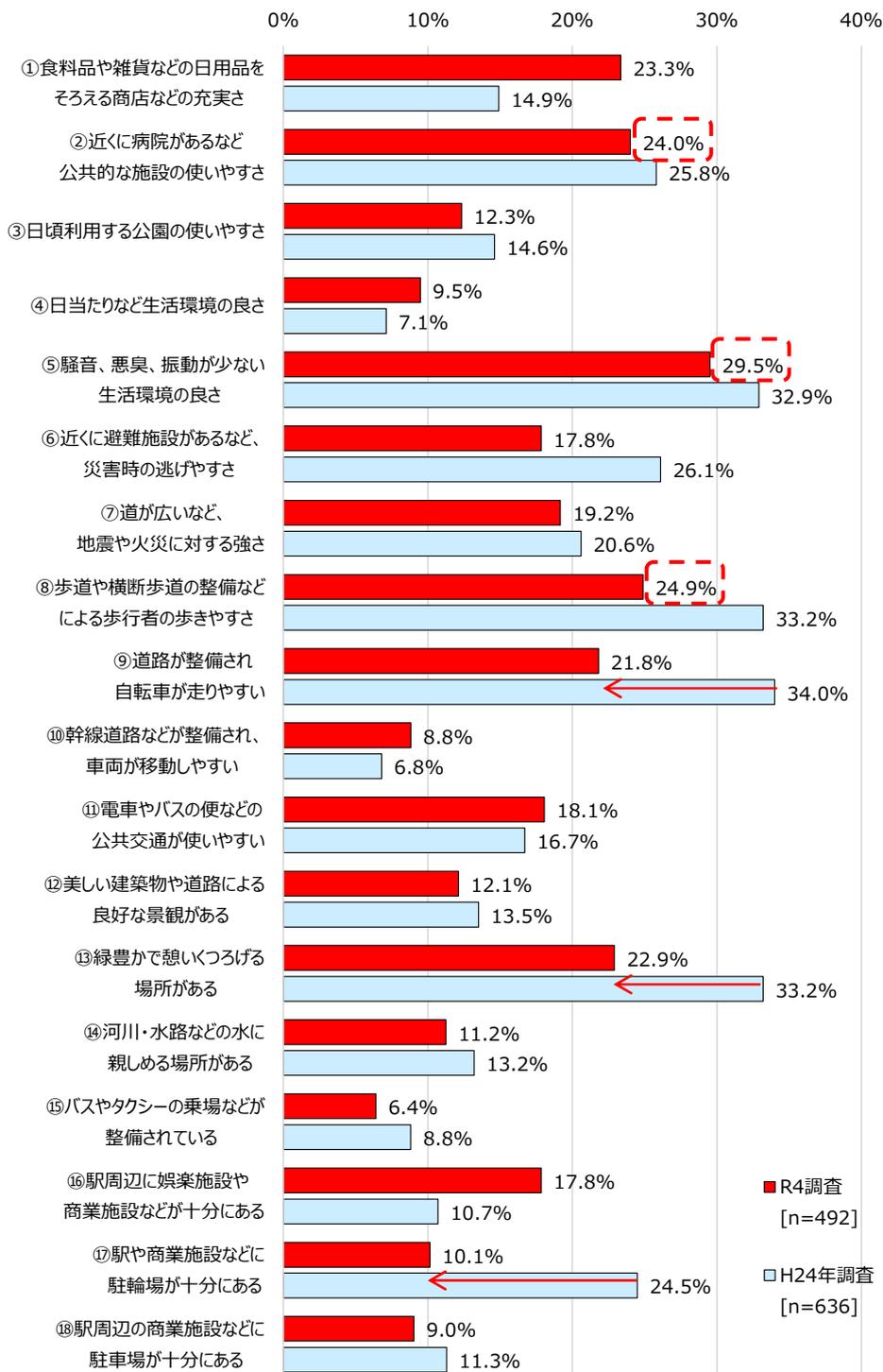


- ① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ
- ② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ
- ③ 日頃利用する公園の使いやすさ
- ④ 日当たりなど生活環境の良さ
- ⑤ 騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ
- ⑥ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ
- ⑦ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ
- ⑧ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ
- ⑨ 道路が整備され自転車が走りやすい
- ⑩ 幹線道路などが整備され、車両の移動しやすい
- ⑪ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい
- ⑫ 美しい建築物や道路による良好な景観がある
- ⑬ 緑豊かで憩いくつろげる場所がある
- ⑭ 河川・水路などの水に親しめる場所がある
- ⑮ バスやタクシーの乗場などが整備されている
- ⑯ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある
- ⑰ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある
- ⑱ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある

⑤-1 今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目 [複数回答]

今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目については、「⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」が 29.5%と最も高く、次いで「⑧歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ」が 24.9%、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」が 24.0%の順に高くなっている。

また、前回調査（平成 24 年）と比較すると、「⑰駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある」、「⑨道路が整備され自転車が走りやすい」、「⑬緑豊かで憩いくつろげる場所がある」などの項目で 10 ポイント以上回答率が下がっている。特に⑰や⑨は、(1) ④-1 で満足度が大きく上昇した項目であり、市の取組が評価された結果と考えられる。

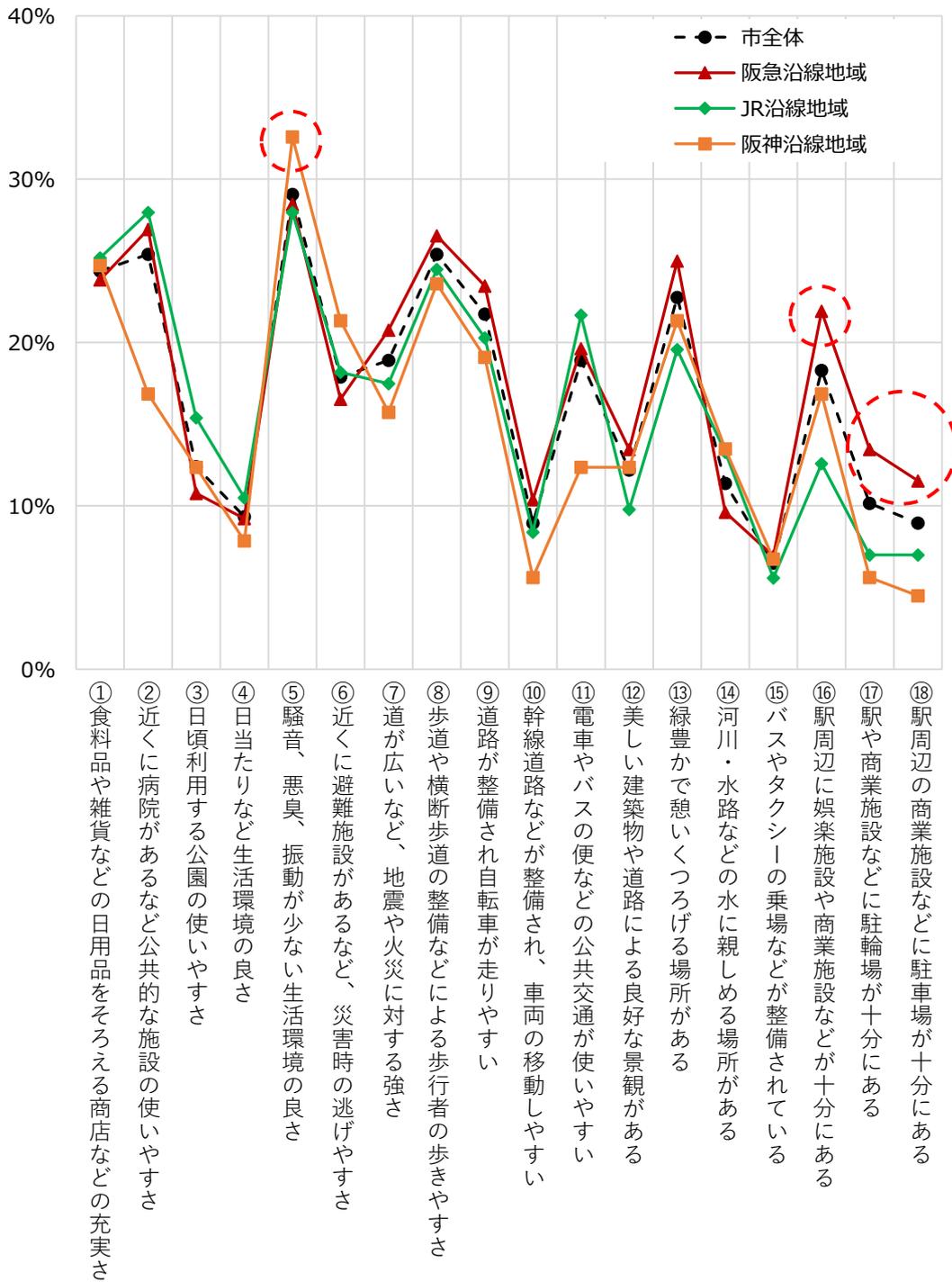


⑤-2 市がまちづくりで優先すべき項目×地域区分 [複数回答]

市がまちづくりで優先すべき項目について地域区分別で比較すると、阪神沿線地域では「⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ」が 32.6%で全体と比較してやや高い。また、阪急沿線地域では、「⑩駅前周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある」が 21.9%、「⑪駅や商業施設などに駐輪場が十分にある」が 13.5%、「⑫駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある」が 11.5%でいずれも全体の水準より高く、駅周辺の整備・利便性向上の優先度がより高いといえる。

項目		阪急沿線地域 [n=260]		JR沿線地域 [n=143]		阪神沿線地域 [n=89]		市全体 [n=492]	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
住みやすさ	① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	62	23.8	36	25.2	22	24.7	120	24.4
	② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	70	26.9	40	28.0	15	16.9	125	25.4
	③ 日頃利用する公園の使いやすさ	28	10.8	22	15.4	11	12.4	61	12.4
	④ 日当たりなど生活環境の良さ	24	9.2	15	10.5	7	7.9	46	9.3
	⑤ 騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	74	28.5	40	28.0	29	32.6	143	29.1
安全性	⑥ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	43	16.5	26	18.2	19	21.3	88	17.9
	⑦ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ	54	20.8	25	17.5	14	15.7	93	18.9
	⑧ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	69	26.5	35	24.5	21	23.6	125	25.4
交通	⑨ 道路が整備され自転車が走りやすい	61	23.5	29	20.3	17	19.1	107	21.7
	⑩ 幹線道路などが整備され、車両の移動しやすい	27	10.4	12	8.4	5	5.6	44	8.9
	⑪ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	51	19.6	31	21.7	11	12.4	93	18.9
ゆとり・うるおい	⑫ 美しい建築物や道路による良好な景観がある	35	13.5	14	9.8	11	12.4	60	12.2
	⑬ 緑豊かで憩いづらげる場所がある	65	25.0	28	19.6	19	21.3	112	22.8
	⑭ 河川・水路などの水に親しめる場所がある	25	9.6	19	13.3	12	13.5	56	11.4
最寄り駅について	⑮ バスやタクシーの乗場などが整備されている	18	6.9	8	5.6	6	6.7	32	6.5
	⑯ 駅前周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	57	21.9	18	12.6	15	16.9	90	18.3
	⑰ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	35	13.5	10	7.0	5	5.6	50	10.2
	⑱ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	30	11.5	10	7.0	4	4.5	44	8.9

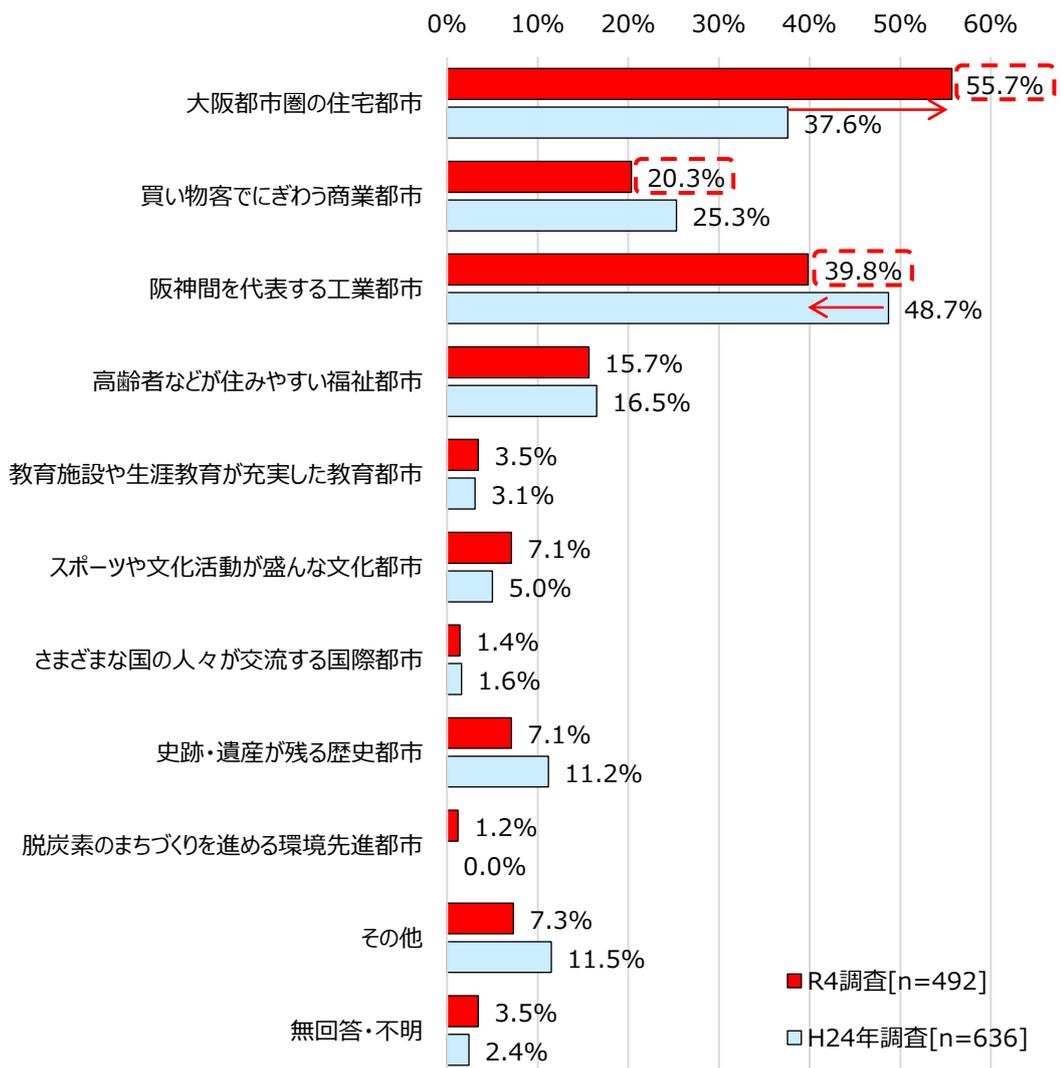
【まちづくりで優先すべき項目×地域区分】



### ⑥ 尼崎市の現在の都市イメージ [複数回答]

尼崎市の現在のイメージについては、「大阪都市圏の住宅都市」が 55.7%と最も高く、次いで「阪神間を代表する工業都市」39.8%、「買い物客でにぎわう商業都市」20.3%の順に高くなっている。

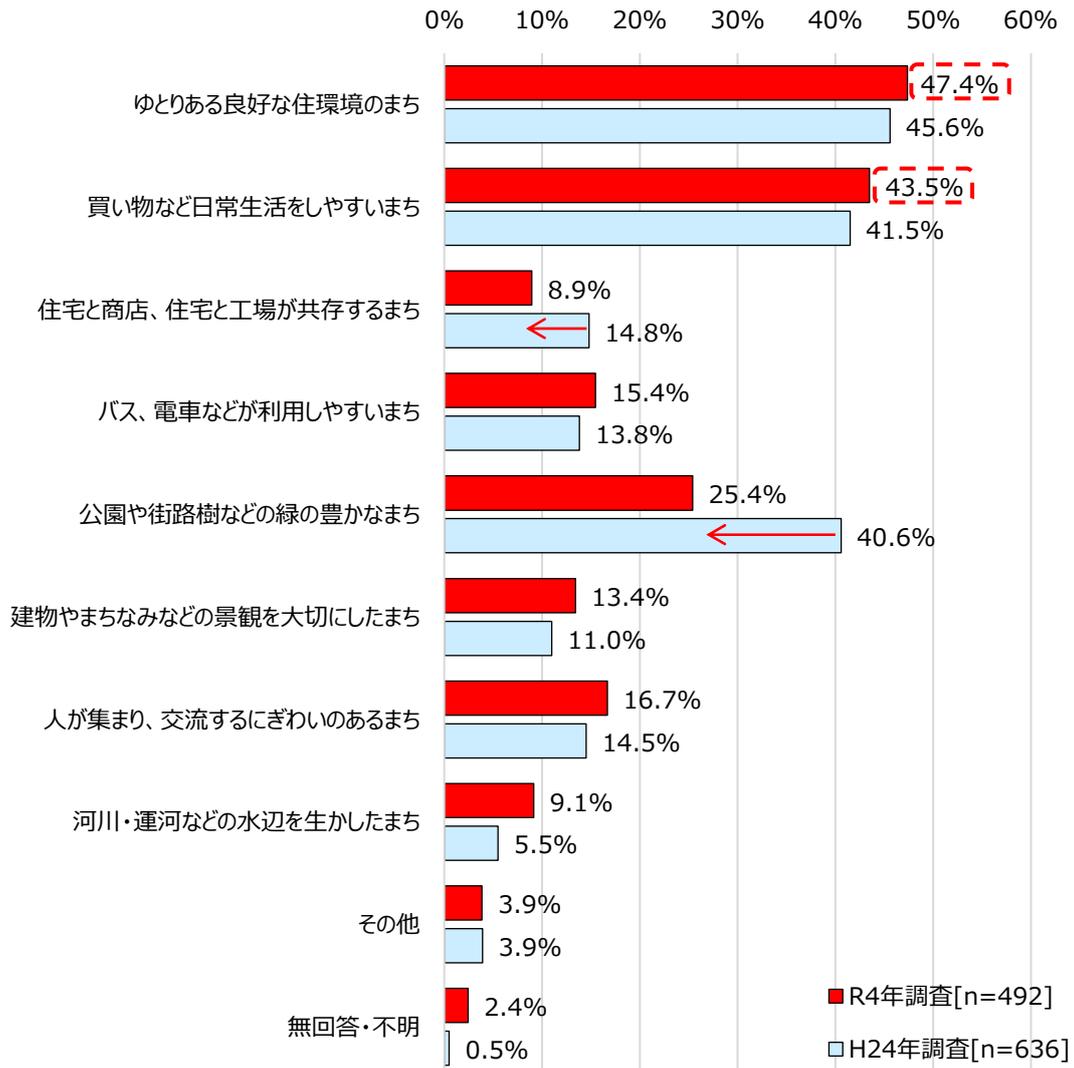
また、前回調査（平成 24 年）では、「阪神間を代表する工業都市」が第 1 位であったが、今回は 10 ポイント近く減少し、「大阪都市圏の住宅都市」が 20 ポイント近く上昇し逆転しており、尼崎市の都市イメージは、工業都市から住宅都市へと変化してきている。



⑦ 尼崎市がどのような都市になってほしいか [複数回答]

尼崎市がどのような都市になってほしいかについては、「ゆとりある良好な住環境のまち」が47.4%、「買い物など日常生活をしやすいまち」が43.5%とそれぞれ半数近くが回答している。

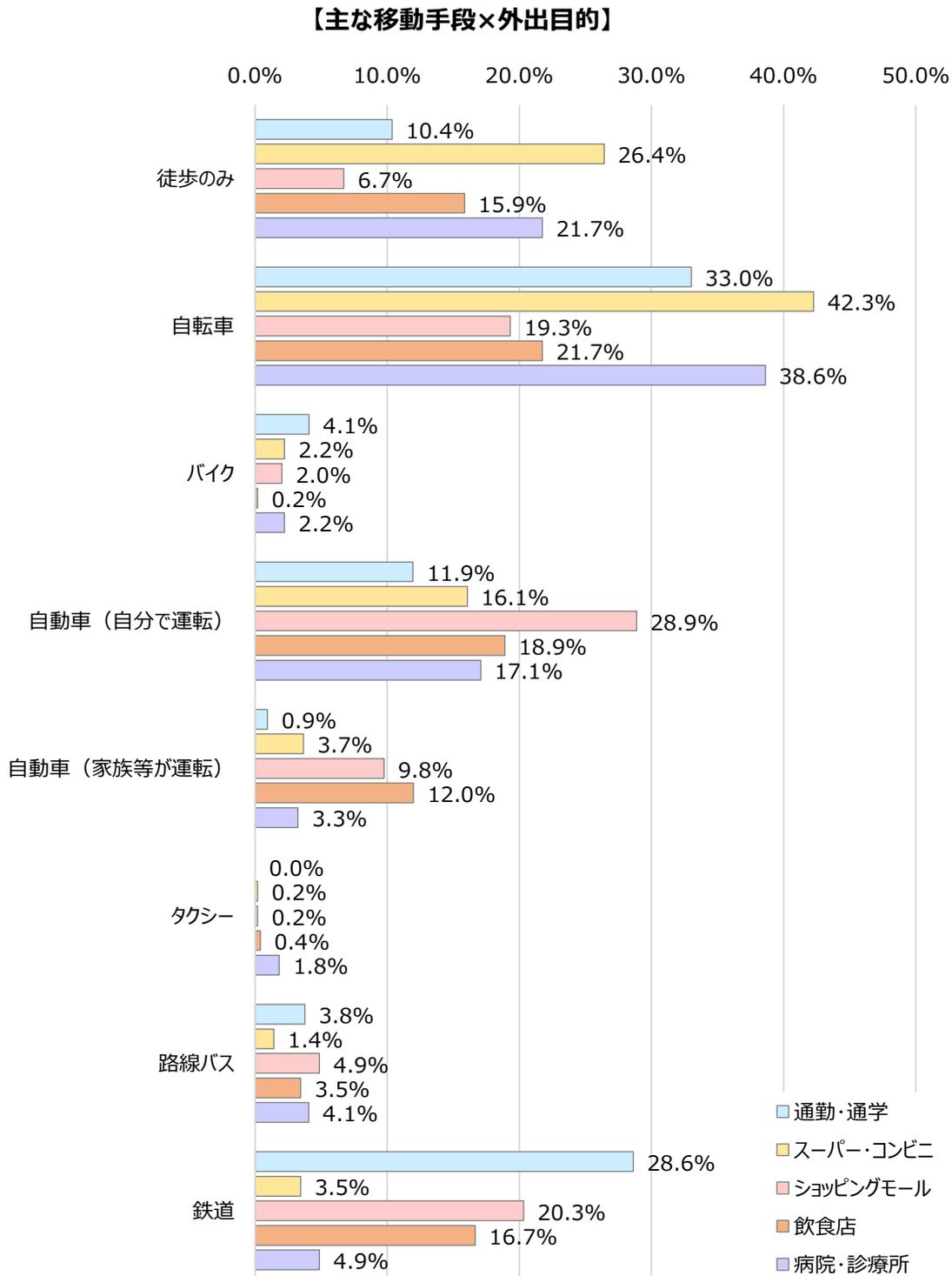
また、前回調査（平成 24 年）から目立った変化としては、「公園や街路樹などの緑の豊かなまち」が大きく減少しており、なつてほしい都市のイメージは上記の 2 項目に集中している。また（1）⑥で工業都市としての尼崎市のイメージが減少したのに対応して、「住宅と商店、住宅と工場が共存するまち」の回答率も減少している。



⑧ 日常生活の中で利用する施設の場所と主な移動手段【単一回答】

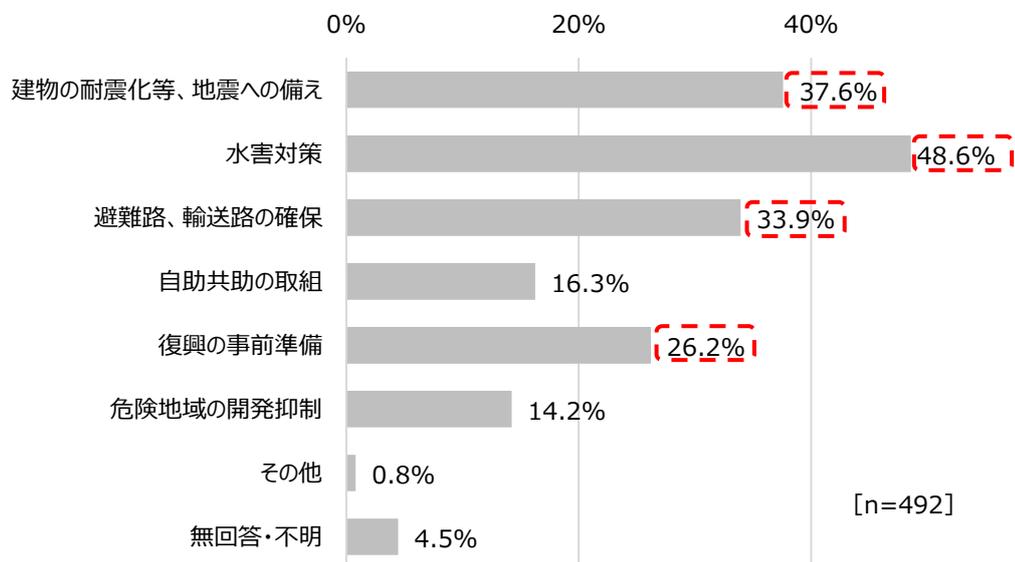
通勤・通学の移動手段は、「自転車」、「鉄道」が多い傾向がみられる。また、スーパー・コンビニへの移動は、「自転車」「徒歩のみ」が多く、ショッピングモールへの移動は「自動車」「鉄道」が多く、飲食店への移動は、「自転車」「自動車」が多く、病院・診療所への移動は、「自転車」「徒歩のみ」が多い傾向がみられる。

いずれの施設においても「自転車」での移動割合が高い傾向にあり、尼崎市市内においては自転車での移動需要が高いものと推測される。



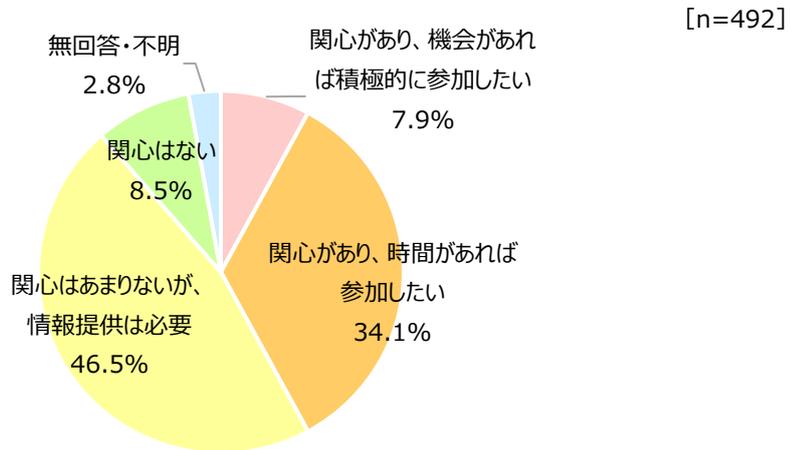
### ⑨ 防災・減災に必要なこと [複数回答]

防災・減災に必要な取組については、最も多かったのは「水害対策」で 48.6%と半数近くが回答している。次いで「建物の耐震化等、地震への備え」37.6%、「避難路、輸送路の確保」33.9%と続いている。また「復興の事前準備」についても 26.2%と比較的高い関心が寄せられている。



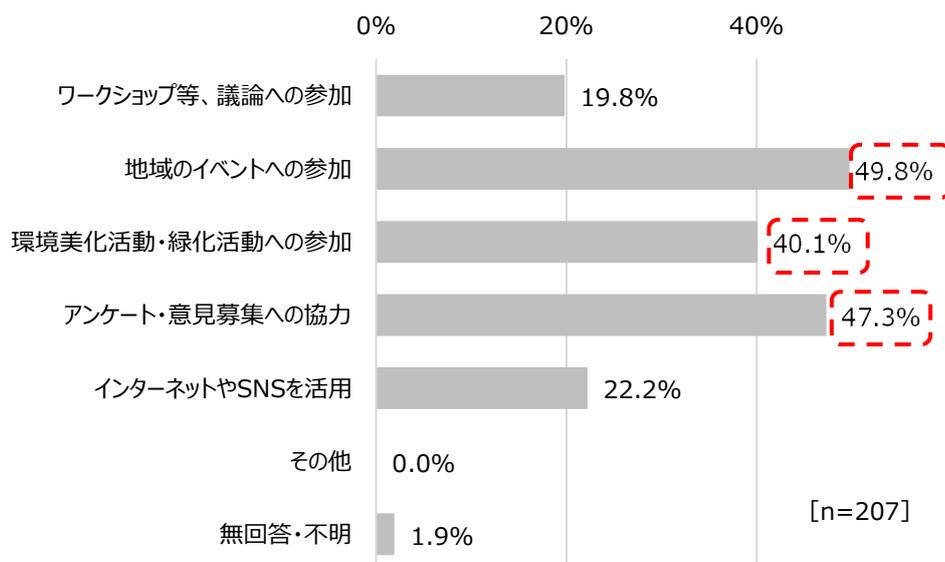
⑩-1 地域のまちづくりへの関心 [単一回答]

どのようにまちづくりに参加したいかについては、「関心があり、機会があれば積極的に参加したい」が 7.9%、「関心があり、時間があれば参加したい」が 34.1%で、合計すると 40%を超える方が地域のまちづくりに積極的な回答をしている。一方、「関心はない」・「関心はあまりない」とする方は合計すると過半数を超えているが、46.5%が「情報提供は必要」としている。



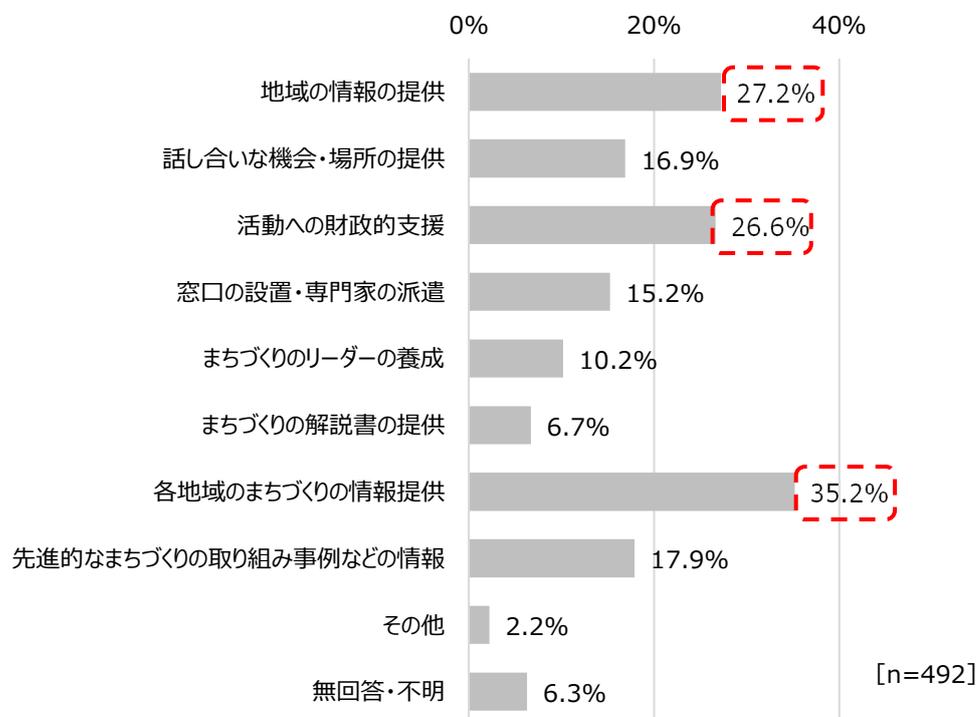
⑩-2 地域のまちづくりへの参加方法 [複数回答]

まちづくりへの参加意向のあった 207 人の方に、参加の内容を尋ねたところ、「地域のイベントへの参加」が 49.8%、「アンケート・意見募集への協力」が 47.3%とそれぞれほぼ半数が回答しており、次いで「環境美化活動・緑化活動への参加」が 40.1%と多くなっている。



### ⑩-3 市民のまちづくりへの参加のために、市が行うべき取組 [複数回答]

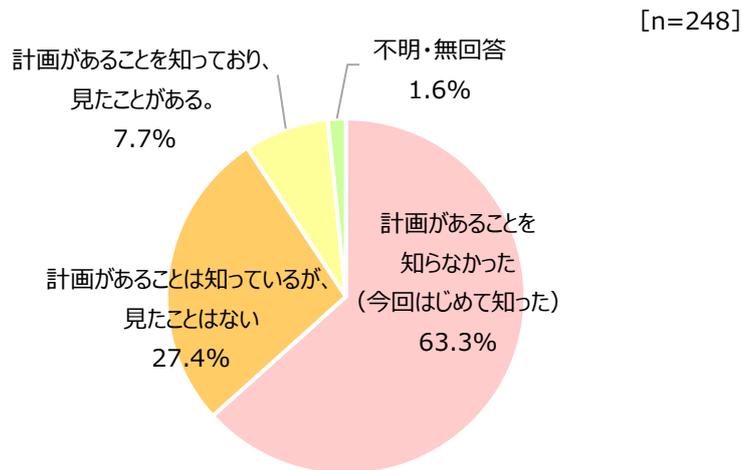
「各地域のまちづくりの情報提供」が 35.2%と最も多く、「地域の情報(人口、歴史、法律の制限、基盤整備の状況など)の提供」が 27.2%、「まちづくりの活動への財政的支援」が 26.6%と続いている。



## (2) 事業者アンケート

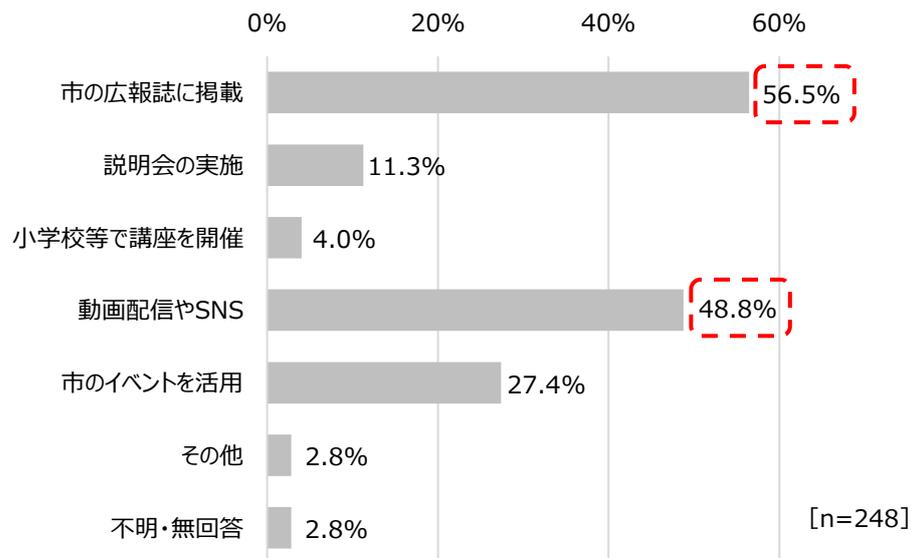
### ① 現行（平成 26 年）都市計画マスタープランの認知度 [単一回答]

現行（平成 26 年版）都市計画マスタープランの認知度については、「計画があることを知らなかった（今回はじめて知った）」が 63.3%と大半を占めている。「計画があることを知っているが、見たことはない」を含め約 90%が計画を見たことがなく、計画の内容はほとんど事業者に認知されていないものと考えられる。



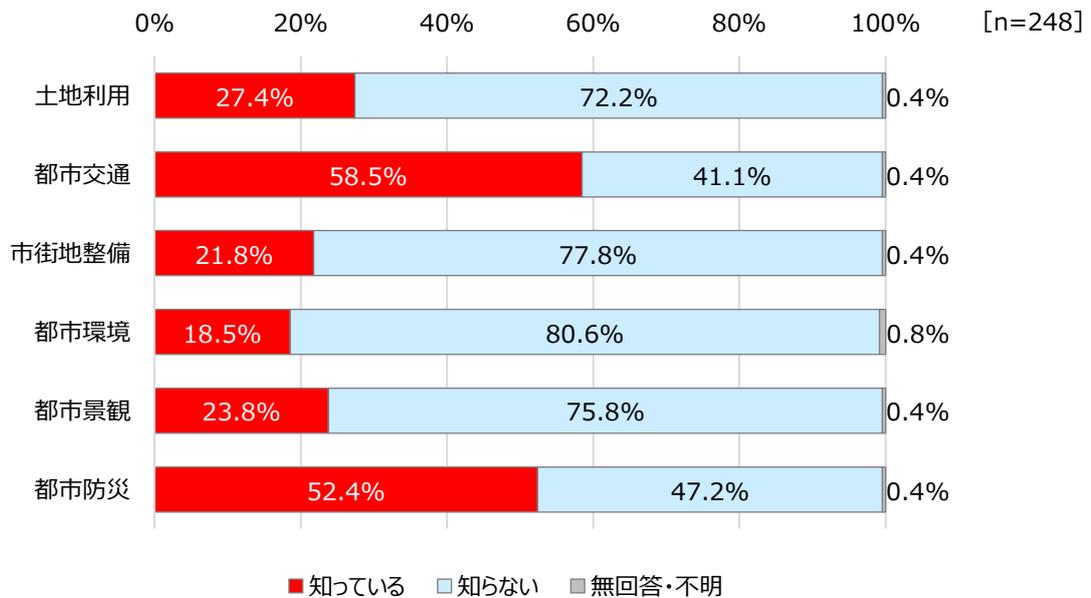
### ② 都市計画マスタープランの効果的な周知方法 [複数回答]

都市計画マスタープランの効果的な周知方法については、「市の広報誌に掲載」が 56.5%と最も高く、次いで「動画配信や SNS」が 48.8%を占めている。



③ 尼崎市の分野別のまちづくりの取組を知っているか [単一回答]

尼崎市の分野別のまちづくりの取組について、知っている割合が高かったのは【都市交通】と【都市防災】の分野で「知っている」がそれぞれ 58.5%、52.4%であった。一方、【土地利用】、【市街地整備】、【都市環境】、【都市景観】の分野については、いずれも「知らない」が70%を超えている。



分野	代表的な取組内容
土地利用	【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していること
都市交通	【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティーサイクルを整備していること
市街地整備	【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていること
都市環境	【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していること
都市景観	【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャーム賞」として表彰していること
都市防災	【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していること

#### ④-1 現状の尼崎市の満足度 [単一回答]

現状の尼崎市の満足度について評点をみると、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」(0.83 ポイント)、「①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」(0.75 ポイント)といった、住みやすさに関する項目の満足度が比較的高い。逆に、「⑩美しい建築物や道路による良好な景観がある」(-0.35 ポイント)や「⑪緑豊かで憩いくつろげる場所がある」(-0.17 ポイント)など、ゆとり・うるおいに関する項目での満足度が低い結果となっている。

項目	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答・不明	合計 (件数)	評点	前回調査 評点 [H24]	
	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)	(件数)				
住みやすさ	①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	67	93	47	22	12	7	248	0.75	<b>0.71</b>
	②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	64	108	50	17	7	2	248	<b>0.83</b>	0.66
	③日頃利用する公園の使いやすさ	29	64	111	24	16	4	248	0.27	0.08
安全性	④近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	29	72	97	31	15	4	248	0.28	-0.10
	⑤道が広いなど、地震や火災に対する強さ	17	70	87	52	17	5	248	0.07	-0.18
	⑥歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	13	71	85	56	20	3	248	0.00	-0.27
交通	⑦道路が整備され自転車が走りやすい	12	57	88	66	22	3	248	-0.12	-0.52
	⑧幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	22	88	85	39	11	3	248	0.29	0.22
	⑨電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	36	101	71	25	13	2	248	0.50	0.30
ゆとり・うるおい	⑩美しい建築物や道路による良好な景観がある	4	38	105	67	32	2	248	-0.35	-0.60
	⑪緑豊かで憩いくつろげる場所がある	9	48	107	57	25	2	248	-0.17	-0.39
	⑫河川・水路などの水に親しめる場所がある	14	50	102	48	31	3	248	-0.13	-0.38
最寄りの駅について	⑬バスやタクシーの乗場などが整備されている	32	94	72	37	10	3	248	0.41	0.37
	⑭駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	32	79	75	39	21	2	248	0.25	0.25
	⑮駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	25	70	93	38	19	3	248	0.18	-0.16
	⑯駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	22	52	86	63	22	3	248	-0.04	-0.22

※市全体における評点の最大値を太字で表記

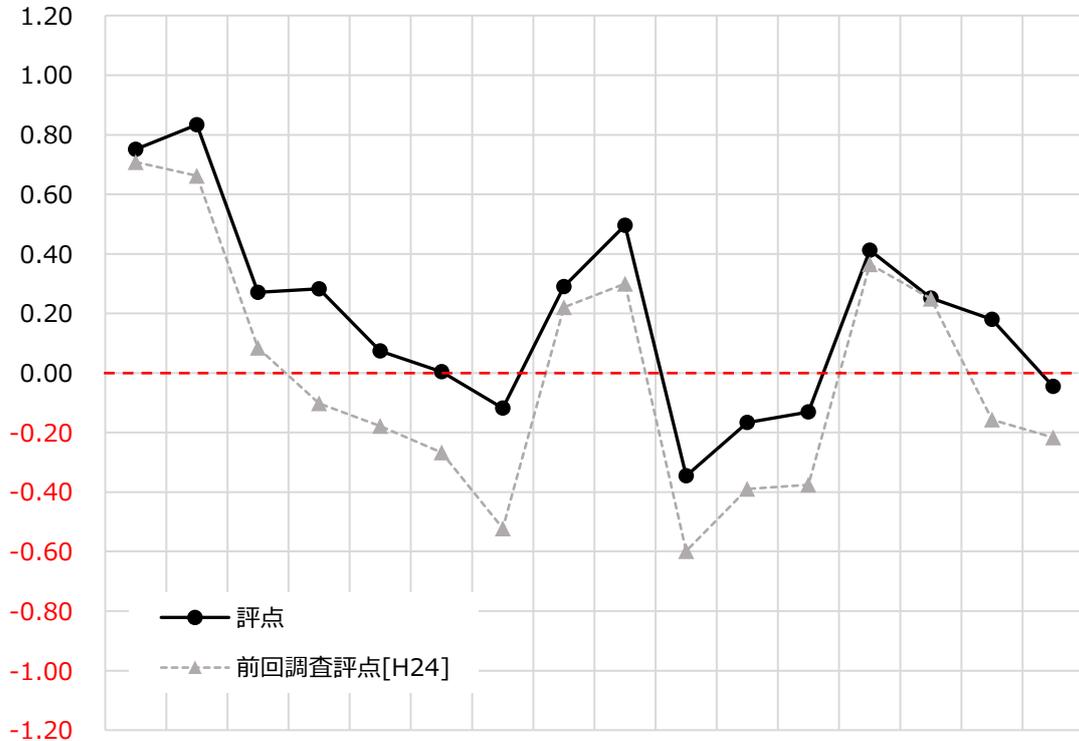
[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。無回答・不明は算出から除外。

平成 24 年の前回調査と比較すると、今回の評点の傾向はおおむね同じであるが、市民アンケート結果と同様、全体的に評点は上がっている。

【現在の尼崎市の満足度-評点】

[n=248]



- ① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ
- ② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ
- ③ 日頃利用する公園の使いやすさ
- ④ 近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ
- ⑤ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ
- ⑥ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ
- ⑦ 道路が整備され自転車が走りやすい
- ⑧ 幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい
- ⑨ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい
- ⑩ 美しい建築物や道路による良好な景観がある
- ⑪ 緑豊かで憩いやすくなる場所がある
- ⑫ 河川・水路などの水に親しめる場所がある
- ⑬ バスやタクシーの乗場などが整備されている
- ⑭ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある
- ⑮ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある
- ⑯ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある

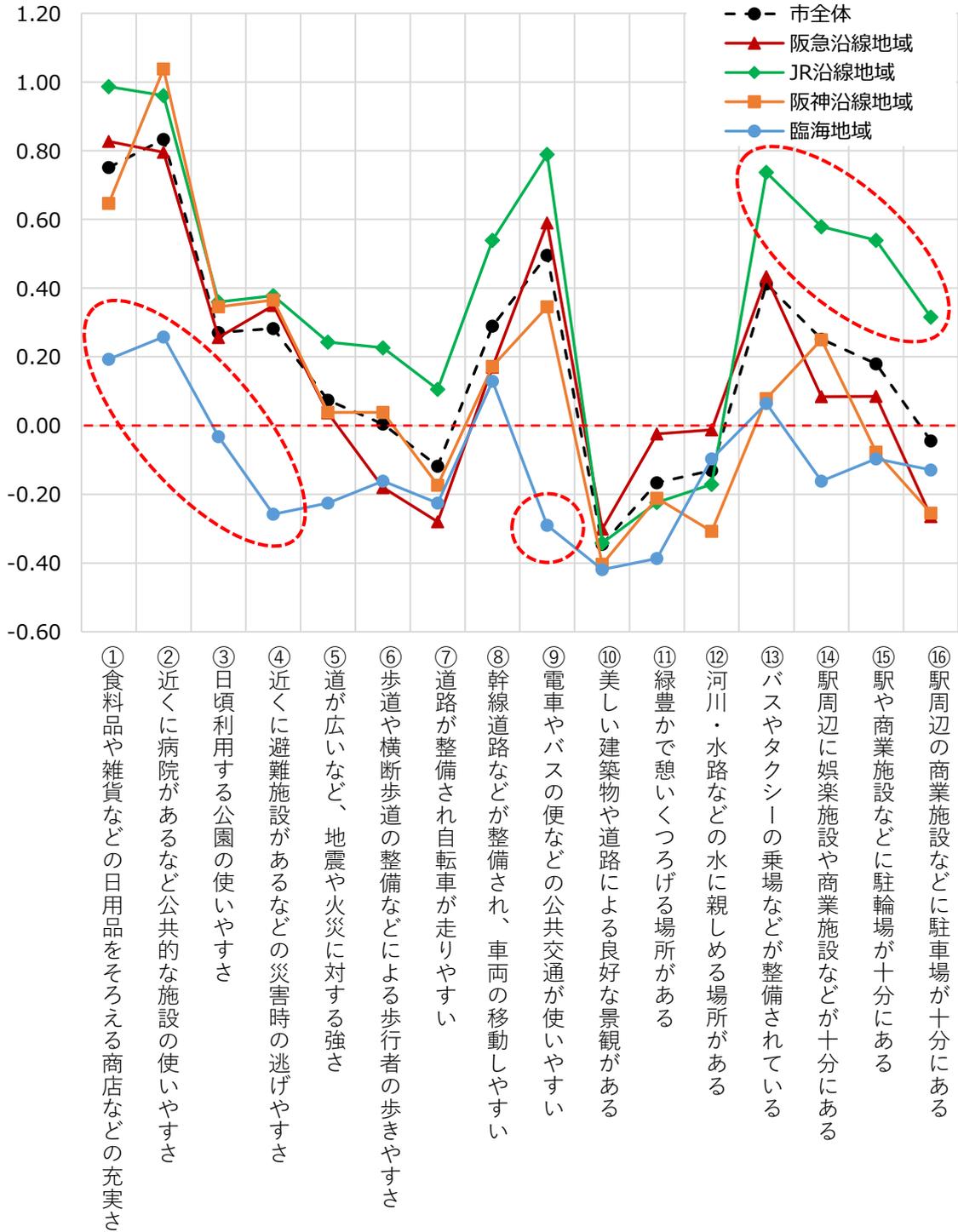
#### ④-2 現状の尼崎の満足度×地域区分 [単一回答]

尼崎のまちづくりの満足度（評点）について、臨海地域をみると「①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ」、「②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ」、「③日頃利用する公園の使いやすさ」がそれぞれ 0.19、0.26、-0.03 で、日常生活に関する項目が他の 3 地域と比較して満足度が低い。また「④近くに避難施設があるなどの災害時の逃げやすさ」が-0.26、「⑨電車やバスの便などの公共交通が使いやすい」が-0.29 で、他の 3 地域では満足度が高いにも関わらず臨海地域では満足度が低い。一方、JR 沿線地域をみると「⑬バスやタクシーの乗場などが整備されている」が 0.74、「⑭駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある」が 0.58、「⑮駅や商業施設などに駐輪場が十分にある」が 0.54、「⑯駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある」が 0.32 で、他の 3 地域と比較して満足度が高い。

項目		阪急 沿線地域	JR 沿線地域	阪神 沿線地域	臨海地域	市全体
住みやすさ	① 食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	<b>0.83</b>	<b>0.99</b>	0.65	0.19	0.75
	② 近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	0.80	0.96	<b>1.04</b>	<b>0.26</b>	<b>0.83</b>
	③ 日頃利用する公園の使いやすさ	0.26	0.36	0.35	-0.03	0.27
安全性	④ 近くに避難施設があるなどの災害時の逃げやすさ	0.35	0.38	0.37	-0.26	0.28
	⑤ 道が広いなど、地震や火災に対する強さ	0.04	0.24	0.04	-0.23	0.07
	⑥ 歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	-0.18	0.23	0.04	-0.16	0.00
交通	⑦ 道路が整備され自転車が走りやすい	-0.28	0.11	-0.17	-0.23	-0.12
	⑧ 幹線道路などが整備され、車両の移動しやすい	0.17	0.54	0.17	0.13	0.29
	⑨ 電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	0.59	0.79	0.35	-0.29	0.50
ゆとり・うるおい	⑩ 美しい建築物や道路による良好な景観がある	-0.30	-0.34	-0.40	-0.42	-0.35
	⑪ 緑豊かで憩いくつろげる場所がある	-0.02	-0.22	-0.21	-0.39	-0.17
	⑫ 河川・水路などの水に親しめる場所がある	-0.01	-0.17	-0.31	-0.10	-0.13
最寄りの駅について	⑬ バスやタクシーの乗場などが整備されている	0.43	0.74	0.08	0.06	0.41
	⑭ 駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	0.08	0.58	0.25	-0.16	0.25
	⑮ 駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	0.09	0.54	-0.08	-0.10	0.18
	⑯ 駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	-0.27	0.32	-0.25	-0.13	-0.04

※地域区分ごと及び市全体における評点の最大値を黒太字、最小値を赤太字で表記。

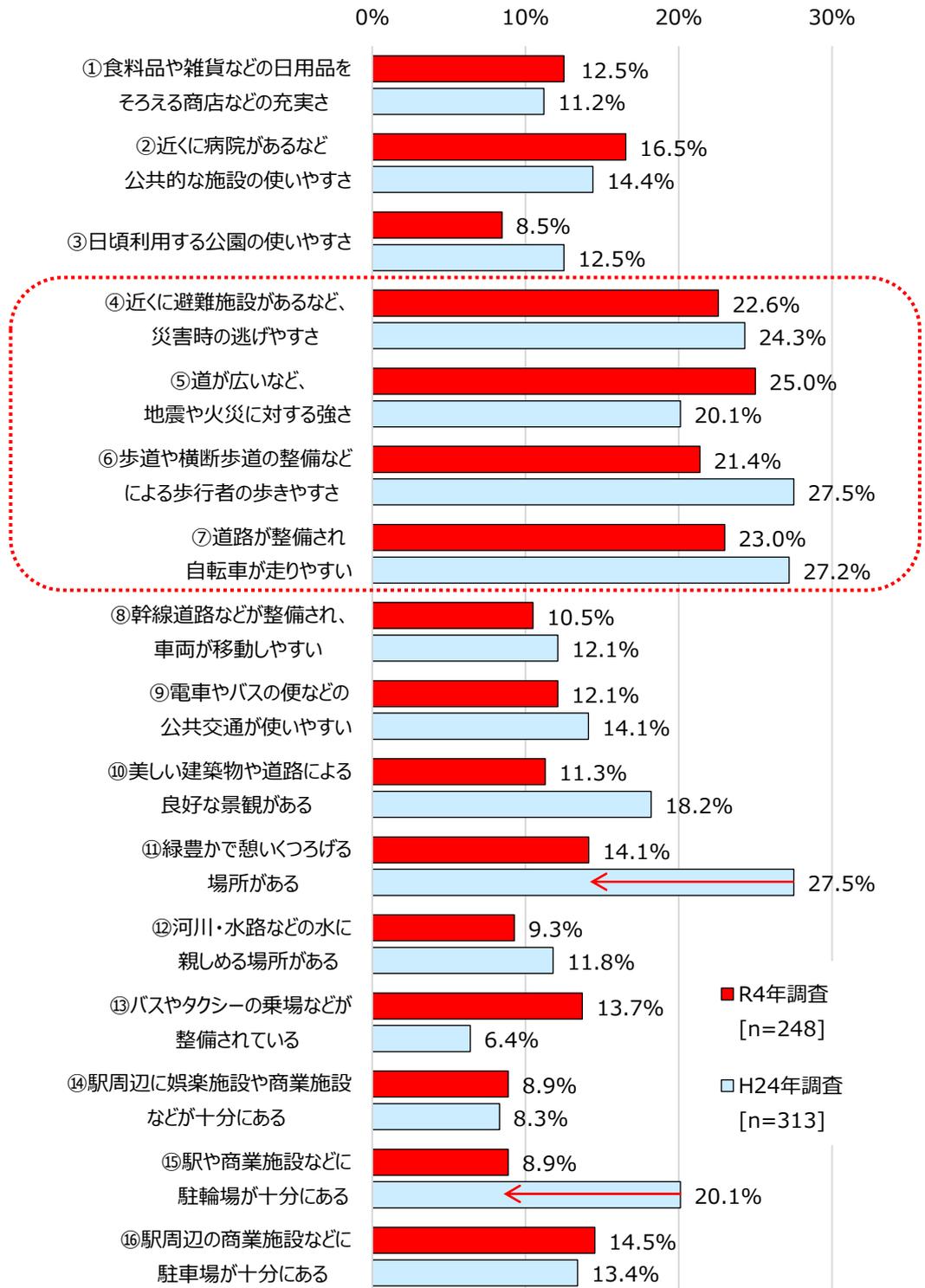
【尼崎のまちづくりの満足度×地域区分】



⑤ 今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目 [複数回答]

今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目については、「⑤道が広いなど、地震や火災に対する強さ」が 25.0%と最も高く、次いで「⑦道路が整備され自転車が走りやすい」が 23.0%、「④近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ」が 22.6%と安全性に関する項目の割合が比較的高くなっている。

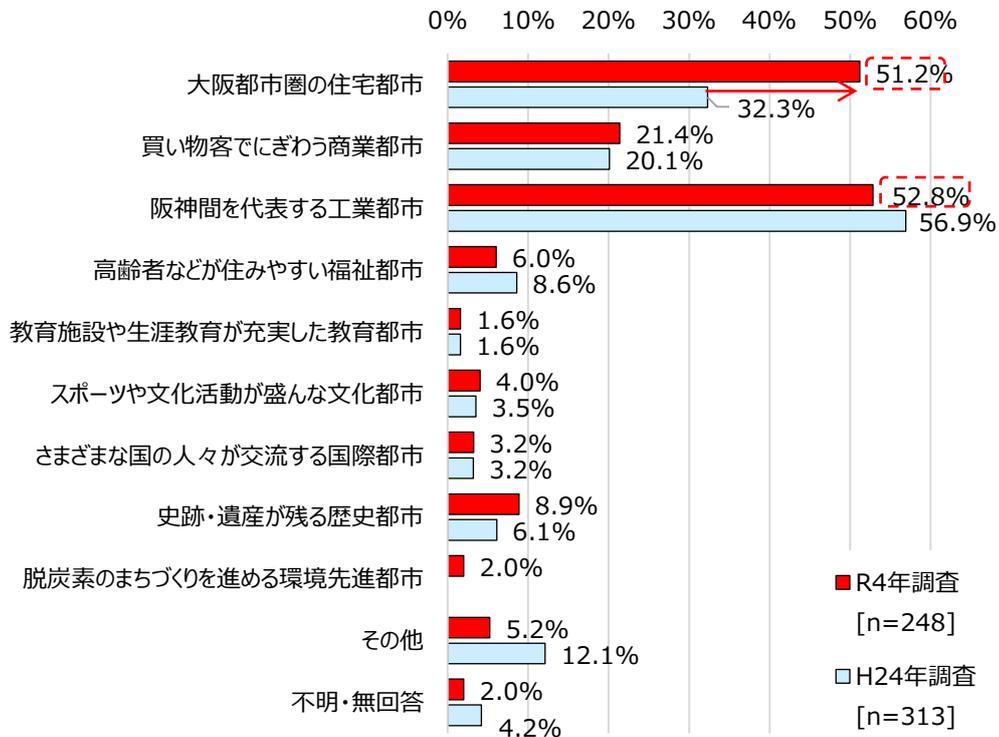
また、前回調査（平成 24 年）と比較すると、「⑪緑豊かで憩いくつろげる場所がある」、「⑮駅や商業施設などに駐輪場が十分にある」の項目で 10 ポイント以上回答率が下がっている。特に⑮は、(2) ④-1 で満足度が大きく上昇した項目であり、市の取組が評価された結果であると考えられる。



### ⑥ 尼崎市の現在のイメージ [複数回答]

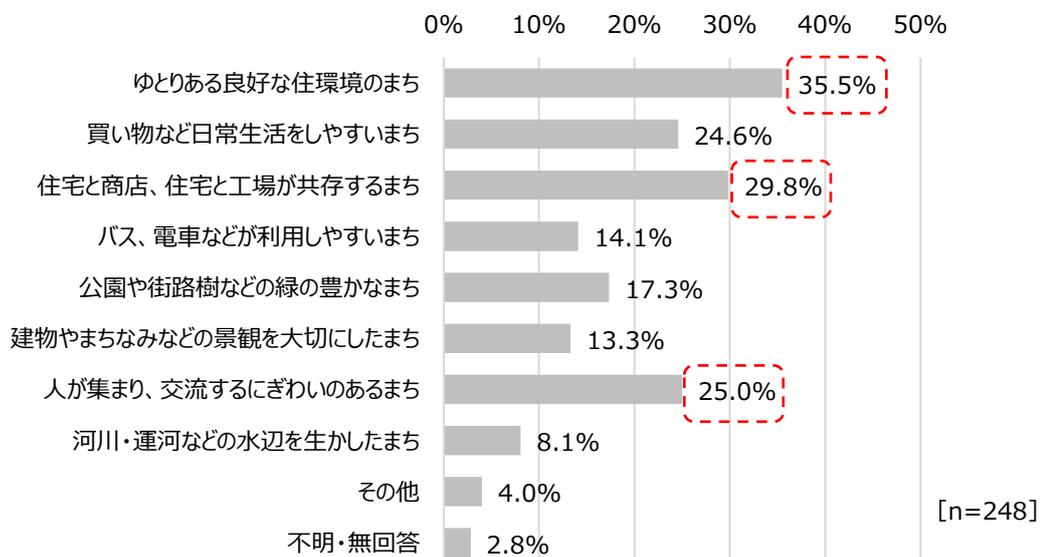
尼崎市の現在のイメージについては、「阪神間を代表する工業都市」が 52.8%と最も高く、次いで「大阪都市圏の住宅都市」が 51.2%を占めている。

また、前回調査（平成 24 年）と比較すると、「大阪都市圏の住宅都市」が 20 ポイント近く上昇し、若干回答率が下がった「阪神間を代表する工業都市」とほぼ並んでおり、市民アンケート同様、住宅都市としての市のイメージが拡大してきている。



### ⑦-1 尼崎市がどのようなまちになってほしいか [複数回答]

尼崎市がどのようなまちになってほしいかについては、「ゆとりある良好な住環境のまち」が 35.5%と最も高く、次いで「住宅と商店、住宅と工場が共存するまち」29.8%、「人が集まり、交流するにぎわいのあるまち」25.0%の順となっている。



⑦-2 尼崎がどのようなまちになってほしいか×地域区分 [複数回答]

尼崎がどのようなまちになってほしいかについて、臨海地域をみると「住宅と商店、住宅と工場が共存するまち」が 53.1%で全体の水準より 20 ポイント以上高い。また、「人が集まり、交流するにぎわいのあるまち」が 37.5%で、全体の水準より約 13 ポイント高い。一方、阪急沿線地域では、「公園や街路樹などの緑の豊かなまち」が 26.2%で全体の水準より約 9 ポイント高い。

項目	阪急沿線地域 [n=84]		JR沿線地域 [n=76]		阪神沿線地域 [n=52]		臨海地域 [n=32]		市全体 [n=248](※)	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
ゆとりある良好な住環境のまち	34	40.5	28	36.8	19	36.5	6	18.8	87	35.1
買い物など日常生活をしやすいまち	16	19.0	26	34.2	16	30.8	3	9.4	61	24.6
住宅と商店、住宅と工場が共存するまち	20	23.8	18	23.7	16	30.8	17	53.1	71	28.6
バス、電車などが利用しやすいまち	9	10.7	11	14.5	9	17.3	6	18.8	35	14.1
公園や街路樹などの緑の豊かなまち	22	26.2	11	14.5	6	11.5	4	12.5	43	17.3
建物やまちなみなどの景観を大切にしたいまち	10	11.9	10	13.2	8	15.4	5	15.6	33	13.3
人が集まり、交流するにぎわいのあるまち	22	26.2	11	14.5	15	28.8	12	37.5	60	24.2
河川・運河などの水辺を生かしたまち	6	7.1	8	10.5	2	3.8	4	12.5	20	8.1
その他	6	7.1	2	2.6	1	1.9	1	3.1	10	4.0
不明・無回答	5	6.0	0	0.0	1	1.9	1	3.1	7	2.8

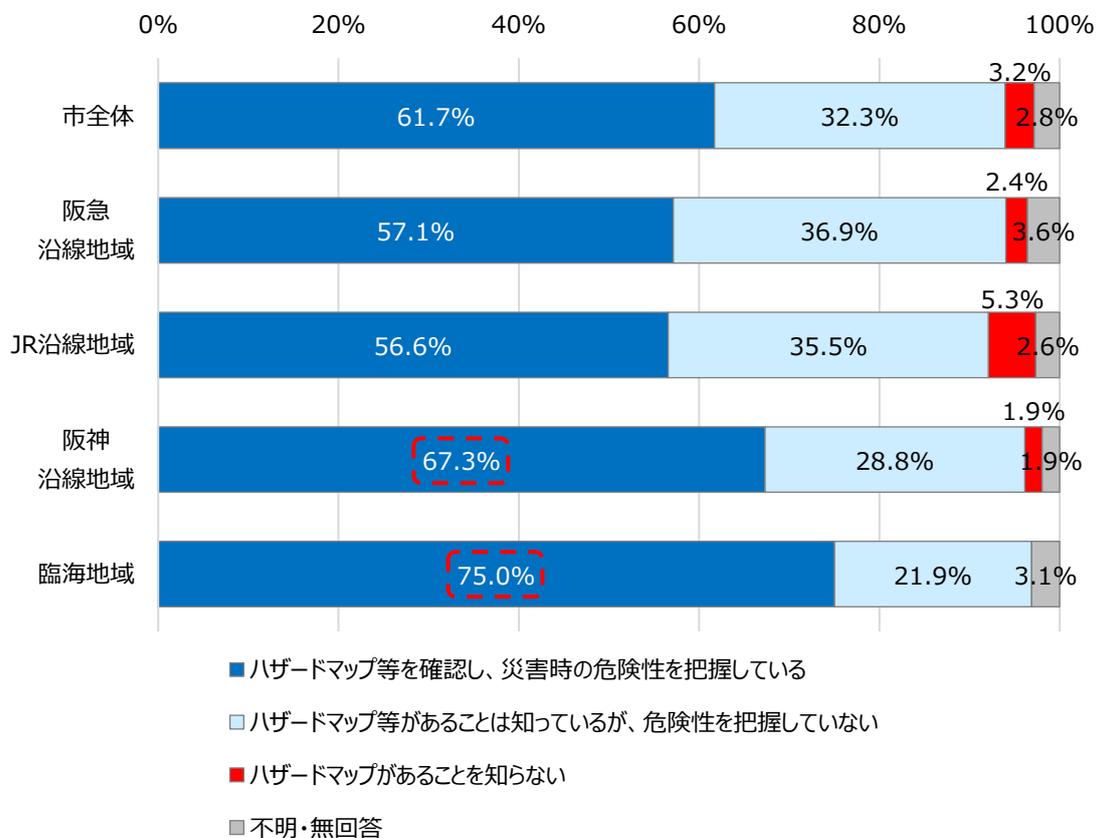
※地域区分別集計値は全体より「地域区分不明」：4件を除く

⑧-1 災害リスクを知っているか×地域区分 [単一回答]

災害リスクを知っているかについて地域区分別で比較すると、南側の地域ほど「ハザードマップ等を確認し、災害時の危険性を把握している」の割合が高く、臨海地域では75.0%である。

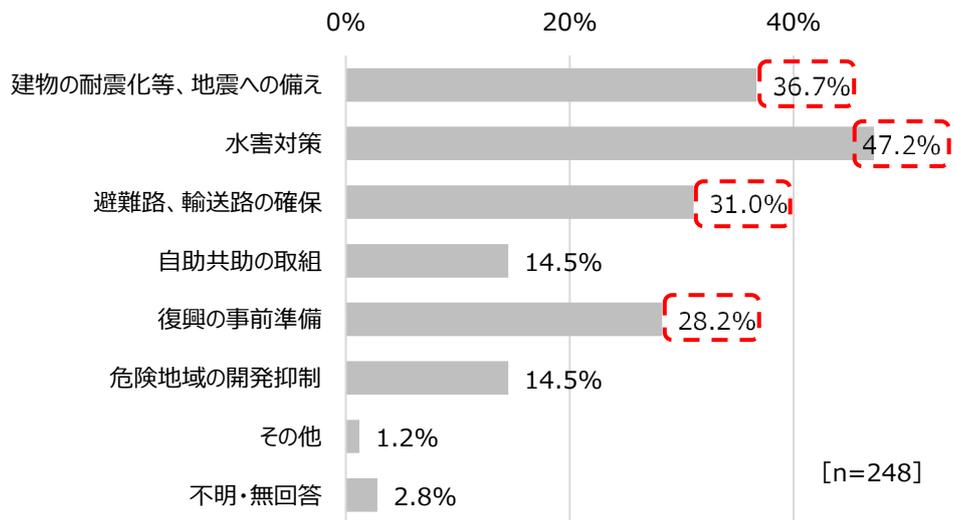
項目	阪急 沿線地域 [n=84]		JR 沿線地域 [n=76]		阪神 沿線地域 [n=52]		臨海地域 [n=32]		市全体 [n=248](※)	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
ハザードマップ等を確認し、災害時の危険性を把握している	48	57.1	43	56.6	35	67.3	24	75.0	153	61.7
ハザードマップ等があることは知っているが、危険性を把握していない	31	36.9	27	35.5	15	28.8	7	21.9	80	32.3
ハザードマップがあることを知らない	2	2.4	4	5.3	1	1.9	0	0.0	8	3.2
不明・無回答	3	3.6	2	2.6	1	1.9	1	3.1	7	2.8

※地域区分別集計値は全体より「地域区分不明」：4件を除く



### ⑧-2 防災・減災に必要なこと [複数回答]

防災・減災に必要な取組について尋ねたところ、最も多かったのは「水害対策」で 47.2%と半数近くが回答している。次いで「建物の耐震化等、地震への備え」36.7%、「避難路、輸送路の確保」31.0%、「復興の事前準備」についても 28.2%と続いており、市民アンケートとほぼ同様の結果となっている。



⑨ 事業を営む上での問題点×地域区分 [複数回答]

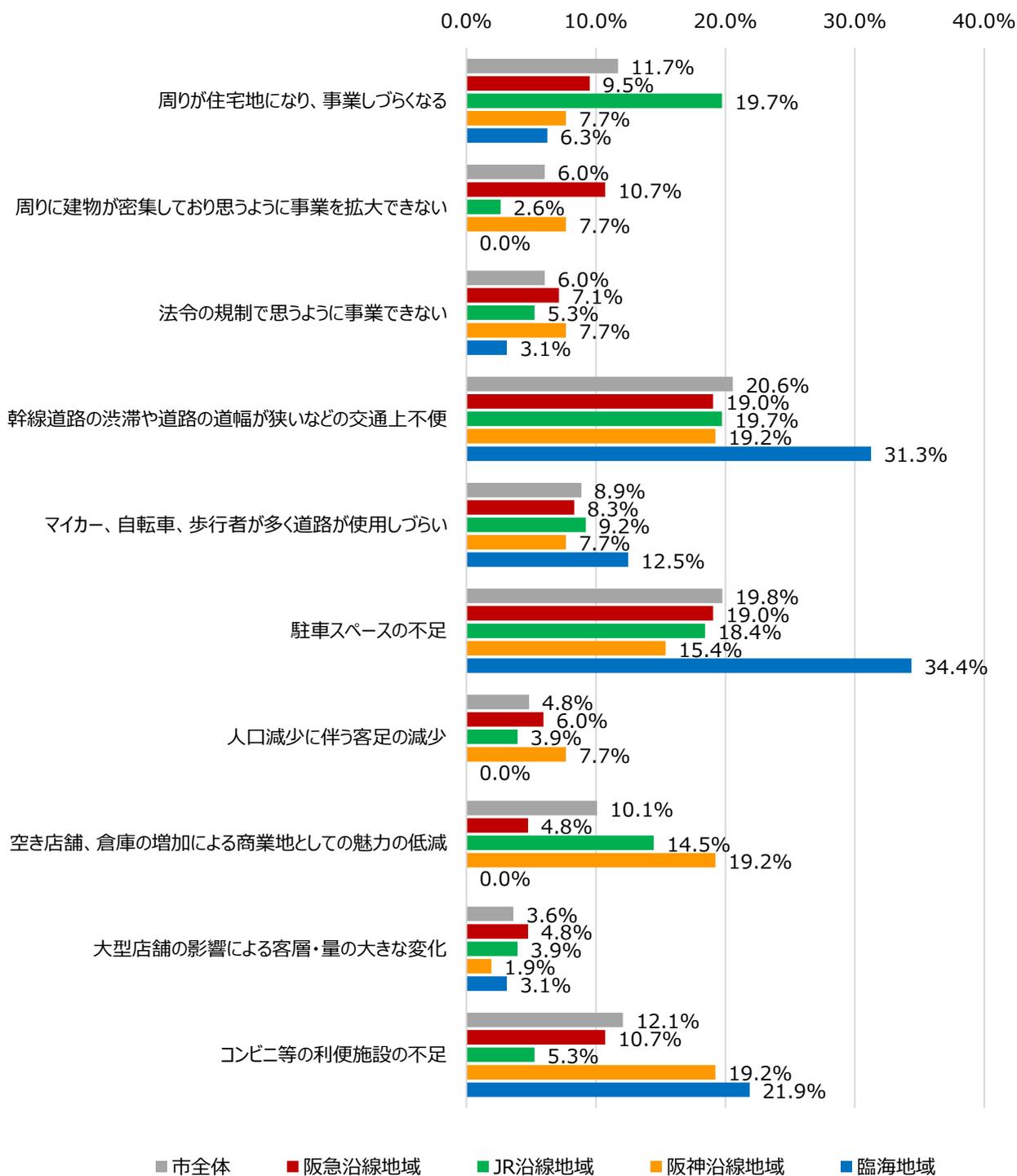
事業を営む上での問題点について地域区分別で比較すると、臨海地域をみると「駐車スペースの不足」が 34.4%、「幹線道路の渋滞や道路の道幅が狭いなどの交通上不便」が 31.3%で、両方の項目で全体の水準より約10ポイント以上高く、交通上の課題が見える。また、南部（阪神沿線地域、臨海地域）では「コンビニ等の利便施設の不足」がそれぞれ 19.2%、21.9%で、北部・中部の地域（阪急沿線地域、JR 沿線地域）と比較して割合が高い。さらに、阪神沿線地域については「空き店舗、倉庫の増加による商業地としての魅力の低減」が 19.2%と多く、商業機能の弱さ・衰退が課題となっている。

項目	阪急沿線地域 [n=84]		JR沿線地域 [n=76]		阪神沿線地域 [n=52]		臨海地域 [n=32]		市全体 [n=248] (※)	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
周りが住宅地になり、事業しづらくなる	8	9.5	15	19.7	4	7.7	2	6.3	29	11.7
周りに建物が密集しており思うように事業を拡大できない	9	10.7	2	2.6	4	7.7	0	0.0	15	6.0
法令の規制で思うように事業できない	6	7.1	4	5.3	4	7.7	1	3.1	15	6.0
幹線道路の渋滞や道路の道幅が狭いなどの交通上不便	<b>16</b>	<b>19.0</b>	<b>15</b>	<b>19.7</b>	<b>10</b>	<b>19.2</b>	10	31.3	<b>51</b>	<b>20.6</b>
マイカー、自転車、歩行者が多く道路が使用しづらい	7	8.3	7	9.2	4	7.7	4	12.5	22	8.9
駐車スペースの不足	<b>16</b>	<b>19.0</b>	14	18.4	8	15.4	<b>11</b>	<b>34.4</b>	49	19.8
人口減少に伴う客足の減少	5	6.0	3	3.9	4	7.7	0	0.0	12	4.8
空き店舗、倉庫の増加による商業地としての魅力の低減	4	4.8	11	14.5	<b>10</b>	<b>19.2</b>	0	0.0	25	10.1
大型店舗の影響による客層・量の大きな変化	4	4.8	3	3.9	1	1.9	1	3.1	9	3.6
コンビニ等の利便施設の不足	9	10.7	4	5.3	<b>10</b>	<b>19.2</b>	7	21.9	30	12.1
特に問題はない	34	40.5	34	44.7	19	36.5	9	28.1	96	38.7
その他	3	3.6	2	2.6	0	0.0	4	12.5	9	3.6
不明・無回答	5	6.0	0	0.0	1	1.9	1	3.1	7	2.8
合計	84	100	76	100	52	100	32	100	244	100

※地域区分別集計値は全体より「地域区分不明」：4件を除く

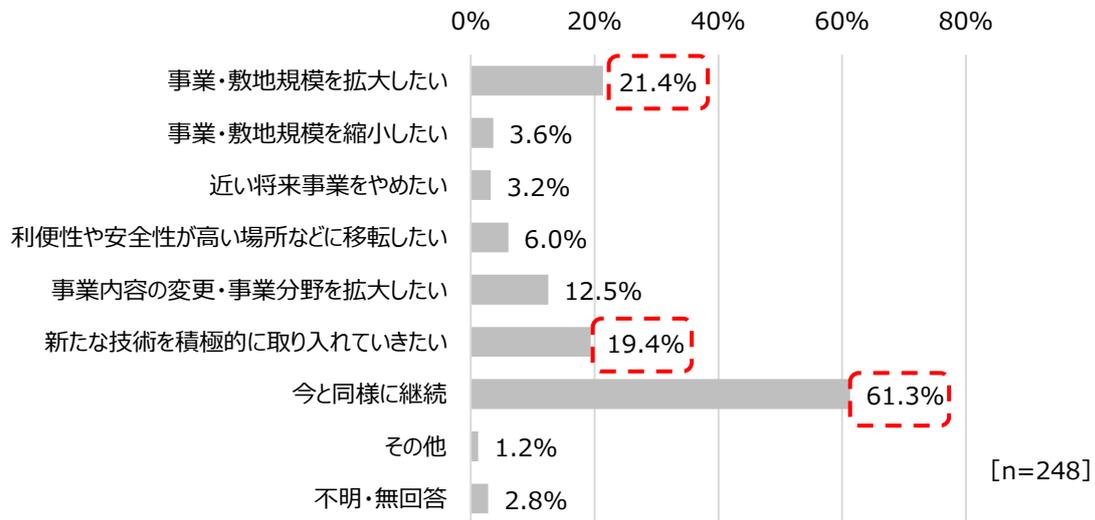
・「特に問題はない」「その他」「不明・無回答」を除く項目について、地域区分ごと及び市全体における回答割合の最大値を**太字**で、最小値を下線で表記。

【事業を営む上での問題×地域区分】



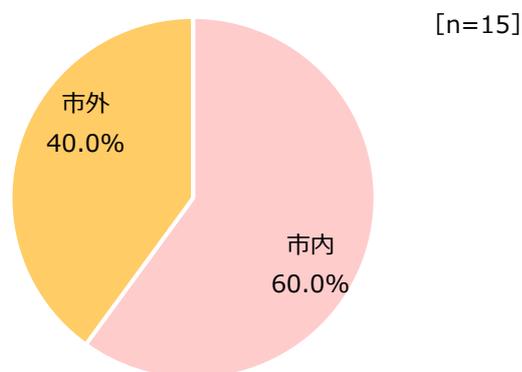
### ⑩-1 産業構造の変化に対する事業の展望 [複数回答]

今後事業をどうしたいかについては、61.3%が「今と同様に継続」と回答している。また、「事業・敷地規模を拡大したい」が21.4%、「新たな技術を積極的に取り入れていきたい」が19.4%で、約20%の事業者が積極的な事業展望を示している。これに対して、「事業・敷地規模を縮小したい」や「近い将来事業をやめたい」といった消極的な事業展望を回答した事業者はそれぞれ3%台と少なくなっている。



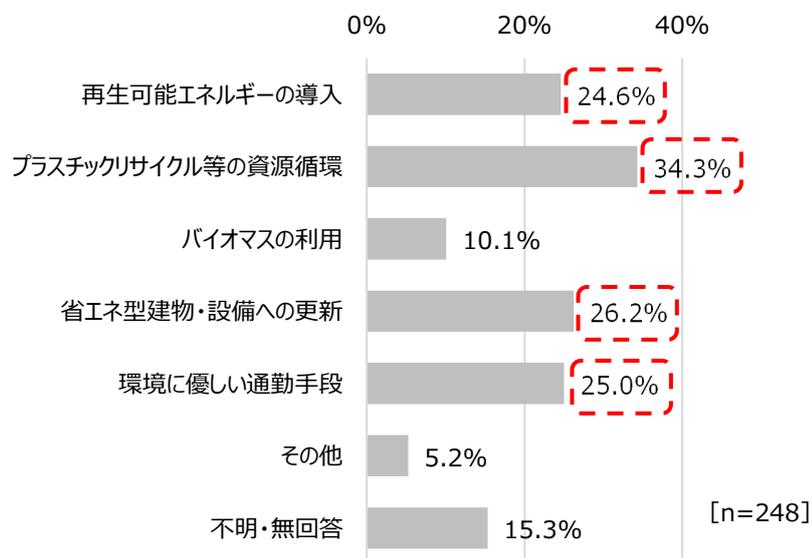
### ⑩-2 移転希望場所 [単一回答]

⑩-1 で、「利便性や安全性が高い場所などに移転したい」と回答した事業者（15件）に、移転希望場所を尋ねたところ、60%（9件）が「市内」を希望している。



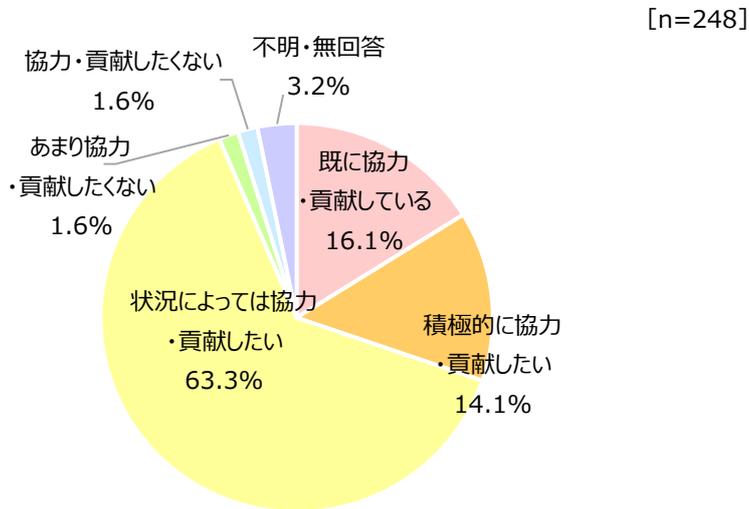
### ⑪ 脱炭素社会に向けた取組・その予定 [複数回答]

脱炭素や持続可能なまちづくりに向けて、既に取り組んでいるもの、あるいは今後取り組む予定のものについて回答してもらったところ、「プラスチックリサイクル等の資源循環」が 34.3%と最も多く、次いで「省エネ型建物・設備への更新」26.2%、「環境に優しい通勤手段」25.0%、「再生可能エネルギーの導入」24.6%と続いている。



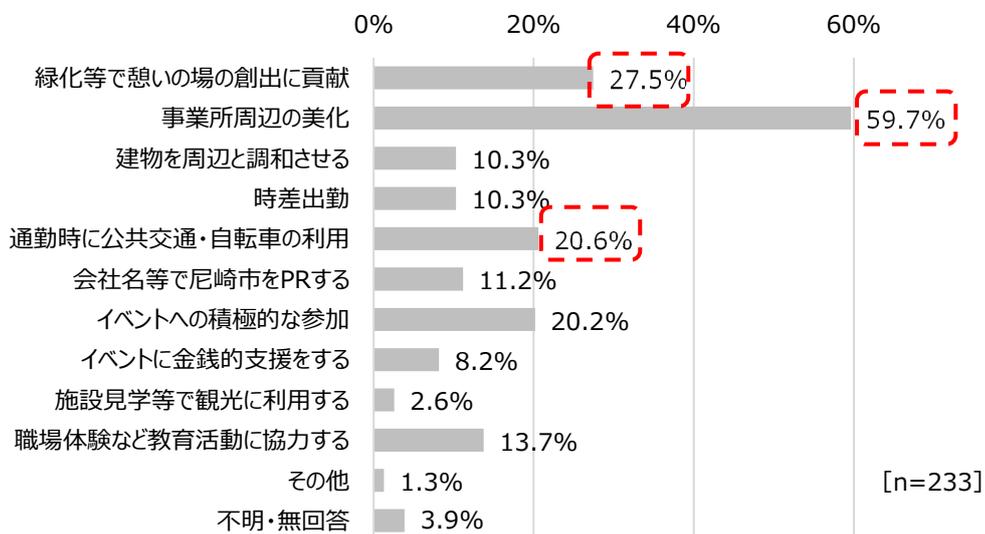
⑫-1 まちづくりへの貢献 [単一回答]

まちづくりへの協力については、「既に協力・貢献している」が 16.1%、「積極的に協力・貢献したい」が 14.1%で、合計すると約 30%の事業者が協働に積極的な回答をしている。また最も回答が多かった「状況によっては協力・貢献したい」63.3%を合わせると、90%以上の事業者がまちづくりへの協働意向を示している。



⑫-2 まちづくりへの貢献の協力内容 [複数回答]

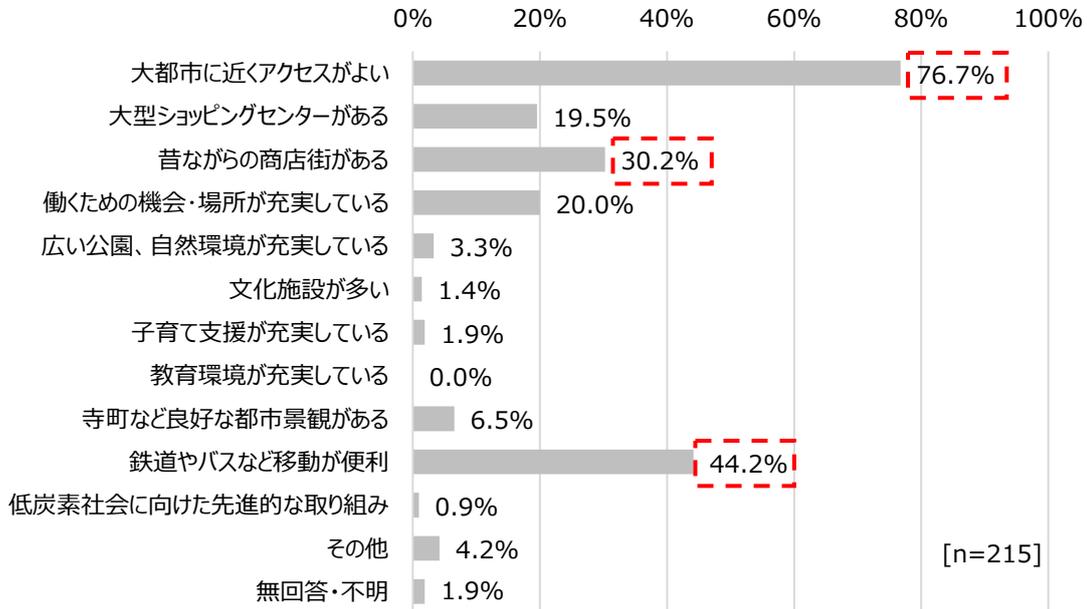
まちづくりへの協働意向のあった 233 件の事業者に、協力内容を尋ねたところ、「事業所周辺の美化」が 59.7%で最も多く、次いで「緑化等で憩いの場の創出に貢献」27.5%、「通勤時に公共交通・自転車の利用」20.6%と続いている。これらの項目及び（2）⑪脱炭素社会に向けた取組で既に取り組んでいるもの、あるいは今後取り組む予定のものが一定数あることから、景観や脱炭素社会への取組について、民間事業者と協力して取り組んでいく必要性が高まっているものと考えられる。



### (3) 市外からの通勤者向けアンケート

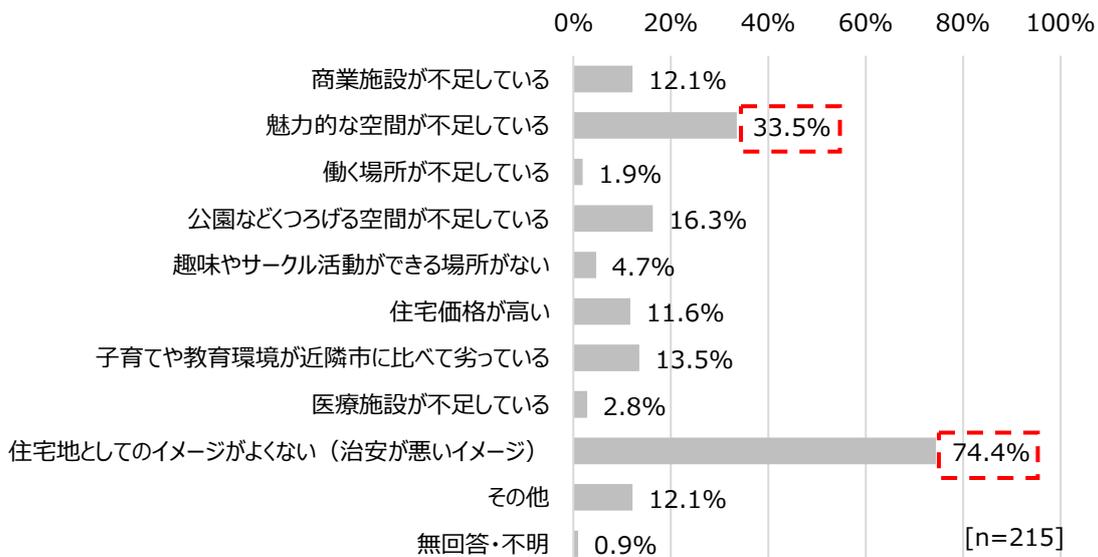
#### ① 尼崎市のまちの魅力は何だと思えるか[複数回答]

尼崎市のまちの魅力について、「大都市に近くアクセスがよい」が76.7%で最も高く、次いで「鉄道やバスなど移動が便利」44.2%、「昔ながらの商店街がある」30.2%の順で高くなっている。



#### ② 尼崎市のまちの課題は何だと思えるか[複数回答]

尼崎市のまちの課題について、「住宅地としてのイメージがよくない（治安が悪いイメージ）」が74.4%で最も高く、次いで「魅力的な空間が不足している」が33.5%で2番目に高い。

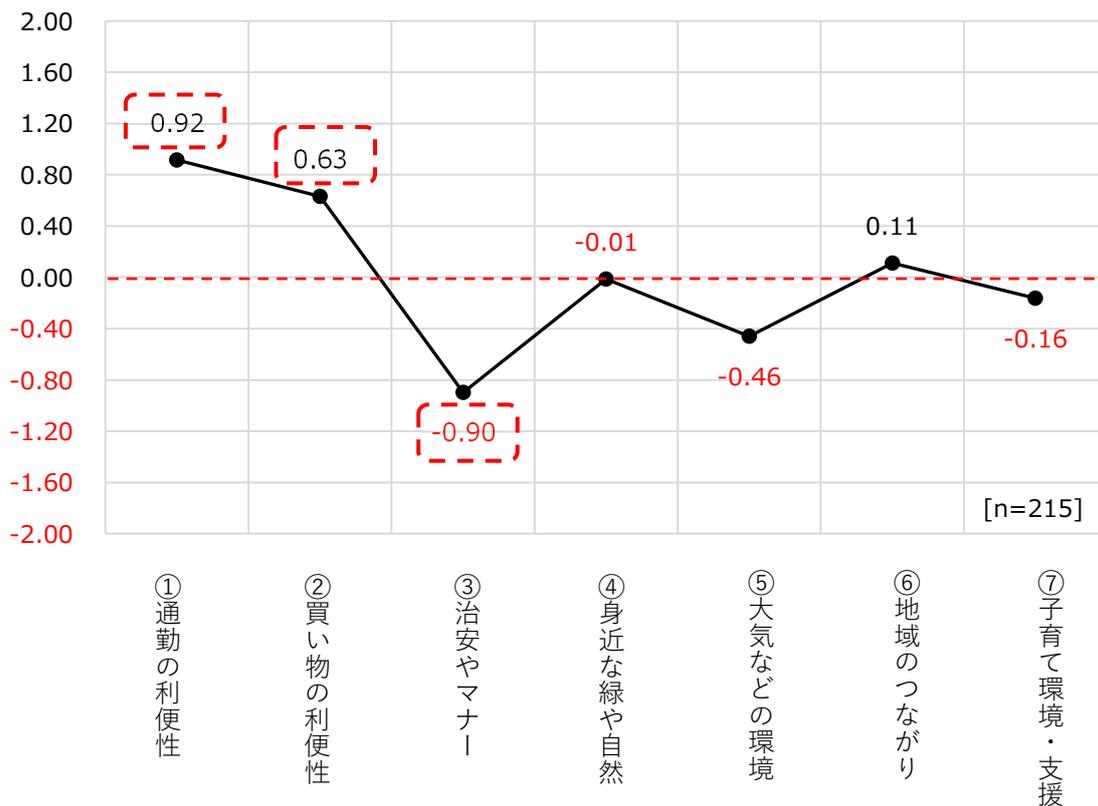


### ③ 尼崎市のまちづくりに関する満足度について

尼崎市のまちづくりに関する満足度について評点を見ると、「①通勤の利便性」が 0.92 ポイントで最も評点が高く、次いで「②買い物の利便性」が 0.63 ポイントで 2 番目に評点が高い。一方で、「③治安やマナー」が -0.90 ポイントで最も低い。

項目	満足 (件数)	やや満足 (件数)	どちらでもない (件数)	やや不満 (件数)	不満 (件数)	全体 (件数)	評点
①通勤の利便性	77	77	33	22	6	215	<b>0.92</b>
②買い物の利便性	41	70	90	12	2	215	0.63
③治安やマナー	2	14	44	99	56	215	<b>-0.90</b>
④身近な緑や自然	7	46	108	45	9	215	-0.01
⑤大気などの環境	8	13	91	78	25	215	-0.46
⑥地域のつながり	5	29	167	13	1	215	0.11
⑦子育て環境・支援	1	9	169	26	10	215	-0.16

※①～⑦における評点の最大値を黒太字、最小値を赤太字で表記。

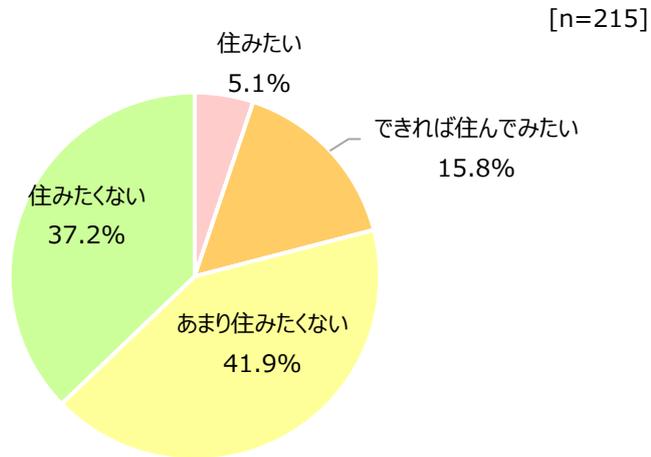


[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。無回答・不明は算出から除外。

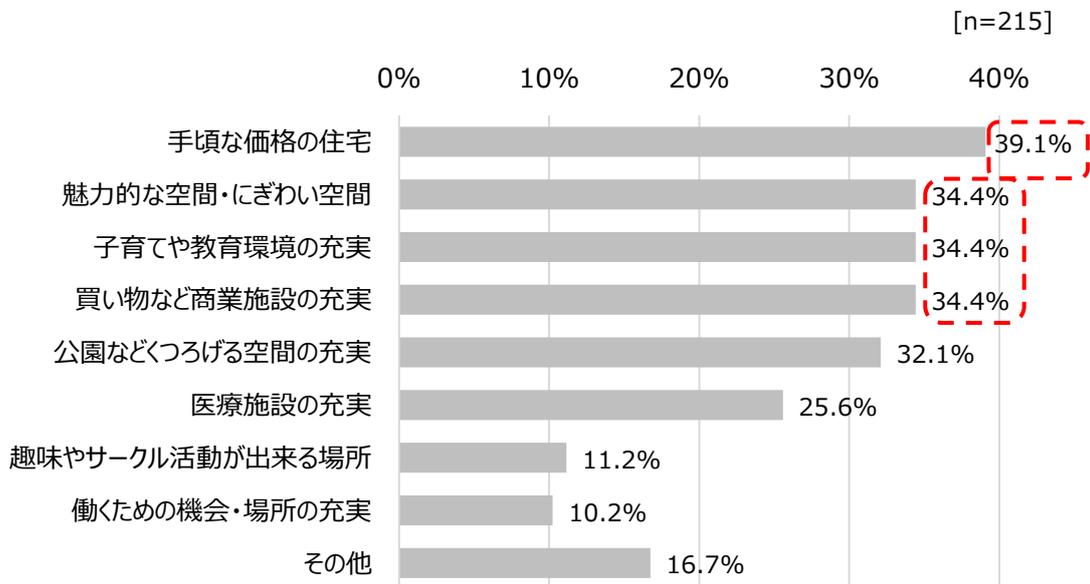
④ 今後、尼崎市での居留意向はあるか[単一回答]

今後の尼崎市での居留意向について、「あまり住みたくない」が 41.9%、「住みたくない」が 37.2%で、現時点で居留意向のない人が 80%近くいる。



⑤ 尼崎市で居住するために必要なものは何であるか[単一回答]

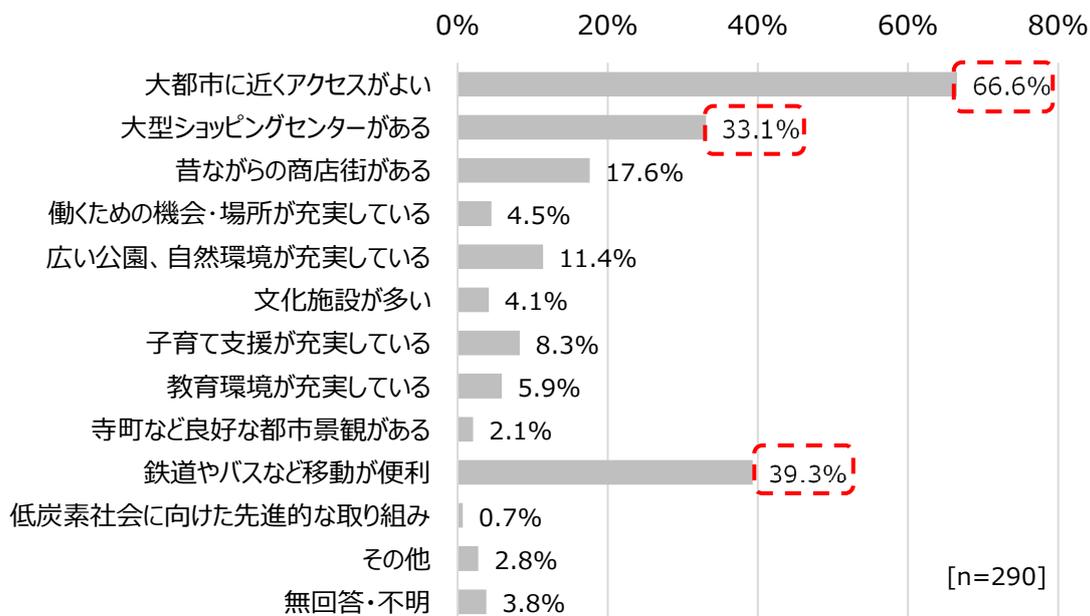
尼崎市で居住するために必要なものについて、「手頃な価格の住宅」が 39.1%で最も高く、次いで「魅力的な空間・にぎわい空間」、「子育てや教育環境の充実」、「買い物など商業施設の充実」がともに 34.4%である。



#### (4) 大学生向けアンケート

##### ① 尼崎市のまちの魅力は何だと思えるか[複数回答]

尼崎市のまちの魅力について、「大都市に近くアクセスがよい」が 66.6%で最も高く、次いで「鉄道やバスなど移動が便利」39.3%、「大型ショッピングセンターがある」33.1%の順で高くなっている。

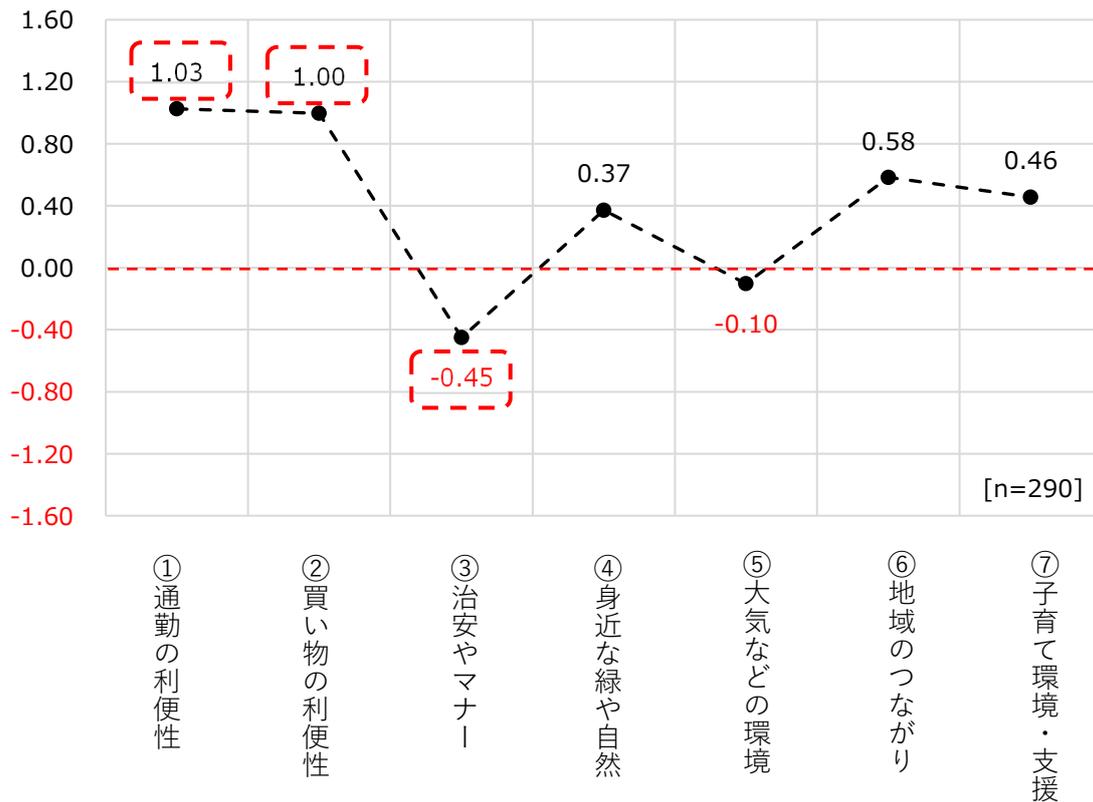


## ②-1 尼崎市のまちづくりに関する満足度[単一回答]

尼崎市のまちづくりに関する満足度の評点について、「①通勤の利便性」が 1.03 ポイントで最も評点が高く、次いで「②買い物の利便性」が 1.00 ポイントで 2 番目に評点が高くなっている。一方で、「③治安やマナー」が -0.45 ポイントで最も低くなっている。

項目	満足 (件数)	やや満足 (件数)	どちらでもない (件数)	やや不満 (件数)	不満 (件数)	分からない (件数)	全体 (件数)	評点
①通勤の利便性	104	110	39	14	10	13	290	<b>1.03</b>
②買い物の利便性	94	92	56	9	7	32	290	1.00
③治安やマナー	19	42	64	84	58	23	290	<b>-0.45</b>
④身近な緑や自然	31	89	97	29	13	31	290	0.37
⑤大気などの環境	19	47	103	63	24	34	290	<b>-0.10</b>
⑥地域のつながり	45	62	110	8	5	60	290	0.58
⑦子育て環境・支援	28	51	97	10	5	99	290	0.46

※①～⑦における評点の最大値を**黒太字**、最小値を**赤太字**で表記。

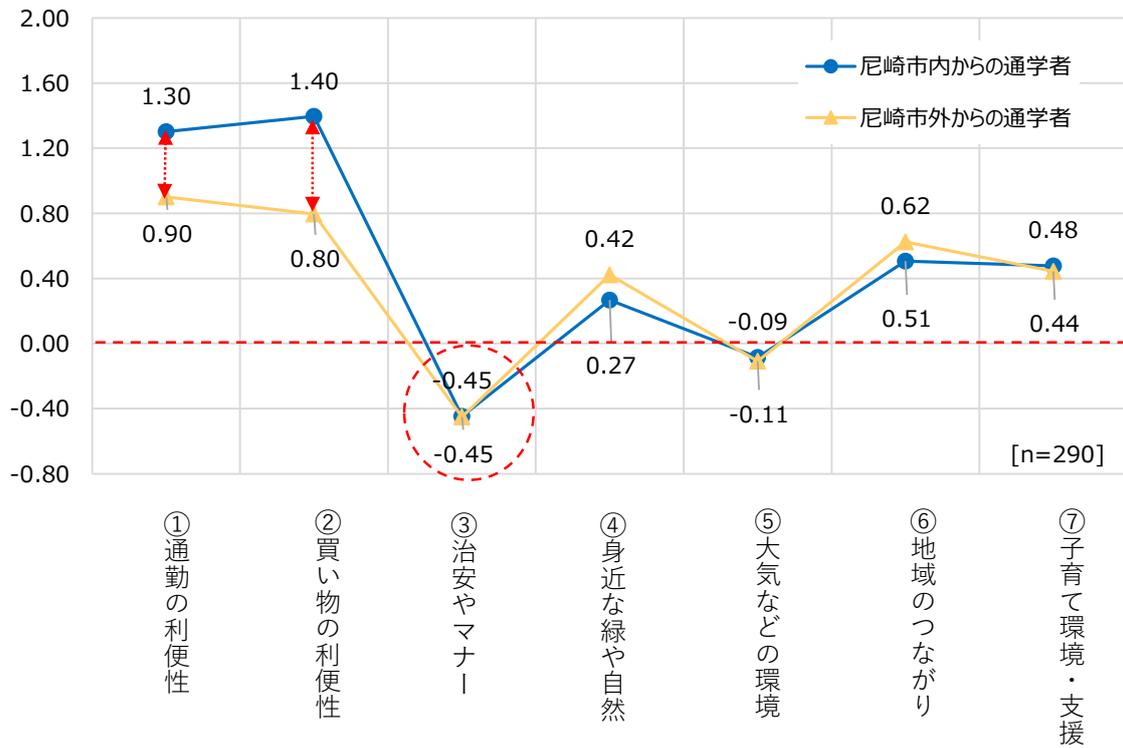


[評点について]

- ・満足：2点、やや満足：1点、どちらでもない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均の値
- ・基準点は0点であり、値が正の場合、満足の方が多いいえる。「分からない」は算出から除外。

## ②-2 尼崎市のまちづくりに関する満足度×尼崎市内在・市外からの通学者

尼崎市のまちづくりに関する満足度の評点について、尼崎市内在・市外からの通学者別に比較すると、「①通勤の利便性」「②買い物の利便性」については、尼崎市内在からの通学者の方がそれぞれ0.4ポイント、0.6ポイントずつ評点が高い。その他の項目については市内在・市外の通学者で大きな差は無く、特に「③治安やマナー」に関しては市内在・市外の通学者ともに-0.45ポイントで最も評価が低い。



【まちづくりに関する満足度×尼崎市内・市外からの通学者】

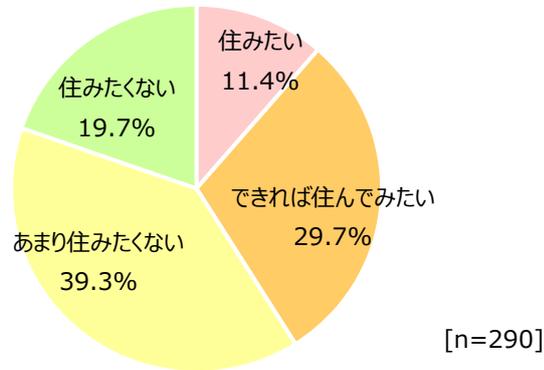
項目		尼崎市内からの通学者						合計	評点
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	分からない		
①通学の利便性	件数	46	28	7	2	3	0	86	1.30
	割合(%)	53.5	32.6	8.1	2.3	3.5	0.0	100	
②買い物の利便性	件数	51	24	7	2	2	0	86	1.40
	割合(%)	59.3	27.9	8.1	2.3	2.3	0.0	100	
③治安やマナー	件数	10	13	15	23	24	1	86	-0.45
	割合(%)	11.6	15.1	17.4	26.7	27.9	1.2	100	
④身近な緑や自然	件数	12	25	30	12	7	0	86	0.27
	割合(%)	14.0	29.1	34.9	14.0	8.1	0.0	100	
⑤大気などの環境	件数	8	14	34	15	11	4	86	-0.09
	割合(%)	9.3	16.3	39.5	17.4	12.8	4.7	100	
⑥地域のつながり	件数	14	20	42	3	2	5	86	0.51
	割合(%)	16.3	23.3	48.8	3.5	2.3	5.8	100	
⑦子育て環境・支援	件数	14	12	32	5	2	21	86	0.48
	割合(%)	16.3	14.0	37.2	5.8	2.3	24.4	100	

項目		尼崎市外からの通学者						合計	評点
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	分からない		
①通学の利便性	件数	58	82	32	12	7	13	204	0.90
	割合(%)	28.4	40.2	15.7	5.9	3.4	6.4	100	
②買い物の利便性	件数	43	68	49	7	5	32	204	0.80
	割合(%)	21.1	33.3	24.0	3.4	2.5	15.7	100	
③治安やマナー	件数	9	29	49	61	34	22	204	-0.45
	割合(%)	4.4	14.2	24.0	29.9	16.7	10.8	100	
④身近な緑や自然	件数	19	64	67	17	6	31	204	0.42
	割合(%)	9.3	31.4	32.8	8.3	2.9	15.2	100	
⑤大気などの環境	件数	11	33	69	48	13	30	204	-0.11
	割合(%)	5.4	16.2	33.8	23.5	6.4	14.7	100	
⑥地域のつながり	件数	31	42	68	5	3	55	204	0.62
	割合(%)	15.2	20.6	33.3	2.5	1.5	27.0	100	
⑦子育て環境・支援	件数	14	39	65	5	3	78	204	0.44
	割合(%)	6.9	19.1	31.9	2.5	1.5	38.2	100	

※①～⑦における評点の最大値を黒太字、最小値を赤太字で表記。

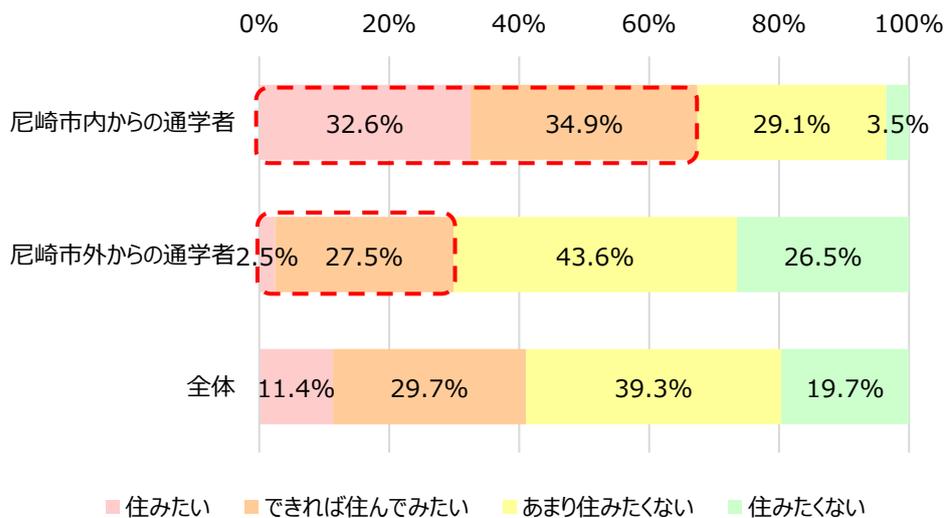
③-1 今後、尼崎市での居留意向はあるか[単一回答]

今後の尼崎市での居留意向について、「あまり住みたくない」が 39.3%、「住みたくない」が 19.7%で、半数以上の人が居留意向を持っていない。



③-2 今後の居留意向×尼崎市内・市外からの通学者[単一回答]

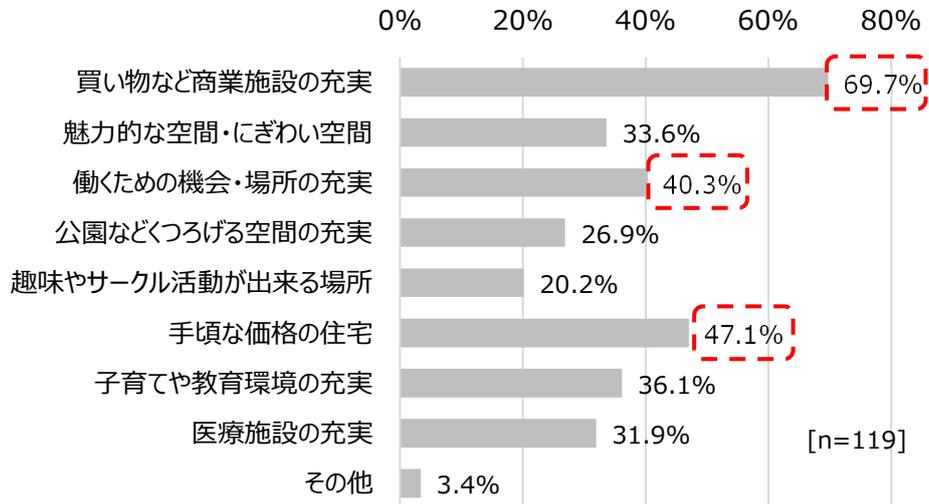
今後の尼崎市での居留意向を尼崎市内・市外からの通学者別に比較すると、「住みたい」「できれば住んでみたい」が市内からの通学者は合わせて 67.5%であったのに対して、市外からの通学者は 30.0%であり、大きな差が見られた。



④-1 将来尼崎市で”住み続けたい”と思うために必要だと考えられるものは何であるか[複数回答]

※ 居住意向がある方（119名）を対象とした設問

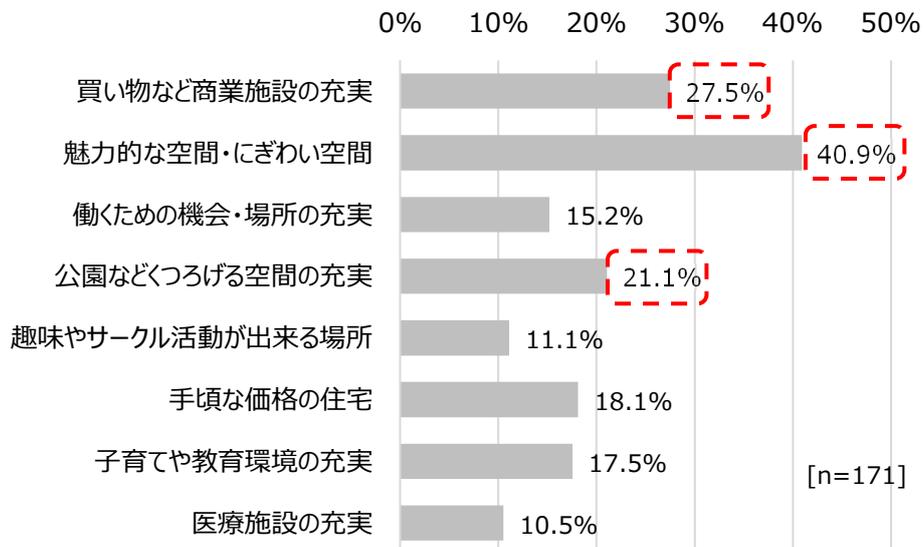
将来尼崎市で”住み続けたい”と思うために必要だと考えられるものは、「買い物など商業施設の充実」が69.7%で最も高く、次いで「手頃な価格の住宅」が47.1%、「働くための機会・場所の充実」が40.3%の順で高くなっている。



④-2 尼崎市で”住みたい”と思うために必要だと考えられるものは何であるか[複数回答]

※ 居住意向がない方（171名）を対象とした設問

尼崎市で”住みたい”と思うために必要だと考えられるものは、「魅力的な空間・にぎわい空間」が40.9%で最も高く、次いで「買い物など商業施設の充実」が27.5%、「公園などくつろげる空間の充実」が21.1%の順で高くなっている。



## 参考 調査票・調査項目

### (1) 市民アンケート調査 調査票

#### ご自身やご家族のことについて

問 1. ご自身のことについてお答えください。

##### ■ 居住地（口の中にご記入ください）

尼崎市   丁目 （記入例：尼崎市 東七松町 1 丁目）

##### ■ 年齢（1つに○）

1. 10～20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代 5. 60 歳代 6. 70 歳以上

##### ■ 職業（1つに○）

1. フルタイム勤務 2. パート・アルバイト 3. 自営業・自由業  
 4. 学生 5. 家事専業 6. 無職（求職中も含む）  
 7. その他（  ） ■ お住まいの最寄り駅へ

##### ■ 通勤・通学先（1つに○）

1. 通勤・通学している 場所 → 1. 尼崎市 2. 大阪市 3. 神戸市  
 4. 西宮市 5. 伊丹市 6. その他（  ）  
 2. 通勤・通学していない

##### ■ お住まいの最寄り駅（口の中にご記入ください）

駅 （記入例： JR 立花 駅）

##### ■ 最寄り駅までの移動手段（主なもの1つに○）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 車 4. バス 5. その他（  ）

##### ■ 最寄り駅までの所要時間（1つに○）

1. 徒歩 5 分未満 2. 徒歩 5 分～10 分未満 3. 徒歩 10 分～20 分未満 4. 徒歩 20 分以上

##### ■ 現在の家の所有状況（1つに○）

1. 一戸建て（持ち家） 2. 一戸建て（賃貸） 3. 長屋建て（持ち家） 4. 長屋建て（賃貸）  
 5. 分譲マンション 6. 民間の賃貸マンション 7. UR・公社の賃貸住宅 8. 公営住宅  
 9. 官舎・社宅・寮 10. その他（  ）

##### ■ 現在の家での居住年数（1つに○）

1. 5 年未満 2. 5 年～9 年 3. 10 年～19 年 4. 20 年～29 年 5. 30 年以上

##### ■ 今後の居留意向（1つに○）

1. 住み続けたい（満足している） 2. 住み続けたい（不満はある）  
 3. 引越したい（市内） 4. 引越したい（市外） 5. その他（  ）

##### ■ 一緒に住んでいる家族の構成（1つに○）

1. 単身（一人暮らし） 2. 夫婦と子供 3. 三世同居  
 4. 夫婦ふたり 5. ひとり親と子供 6. その他（  ）

## 尼崎のまちづくりについて

**問 2.** 本市では平成 26 年にまちづくりの基本的な方針を示す計画(都市計画マスタープラン)を改定し、その計画に基づきまちづくりを進めていることを知っていましたか。(1つに○)

1. 計画があることを知らなかった (今回はじめて知った)
2. 計画があることは知っているが、見たことはない
3. 計画があることを知っており、見たことがある

**問 3.** 都市計画マスタープランを広く知っていただき、本市のまちづくりに興味をもっていただくためには、どのような周知方法が効果的だと思いますか。(2つまで選択可)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 市の広報誌に掲載   | 4. 動画配信やSNS  |
| 2. 説明会の実施     | 5. 市のイベントを活用 |
| 3. 小学校等で講座を開催 | 6. その他 ( )   |

**問 4.** 本市が取り組んでいる分野別の主なまちづくりの取組をご存じですか。

分野	代表的な取組内容	選択肢
土地利用	 <p>【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市交通	 <p>【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティーサイクルを整備していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
市街地整備	 <p>【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市環境	 <p>【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市景観	 <p>【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャレンジ賞」として表彰していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市防災	 <p>【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない

(市民アンケート調査票続き)

問 5. お住まいの地域についての現状の満足度と、今後まちづくりについて市が優先して取り組むべき項目についてお答えください。(満足度は各項目1つに○)

項 目	満 足	や や 満 足	ど う も ま ま な い	や や 不 満	不 満	優先すべき 項目 5つに○
※ 記入例 下水道が整備されている	1	②	3	4	5	
<b>「住みやすさ」</b>						
①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	1	2	3	4	5	
②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	1	2	3	4	5	
③日頃利用する公園の使いやすさ	1	2	3	4	5	
④日当たりなどの生活環境の良さ	1	2	3	4	5	
⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	1	2	3	4	5	
<b>「安全性」</b>						
⑥近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	1	2	3	4	5	
⑦道が広いなど、地震や火災に対する強さ	1	2	3	4	5	
⑧歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	1	2	3	4	5	
<b>「交通」</b>						
⑨道路が整備され自転車が走りやすい	1	2	3	4	5	
⑩幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	1	2	3	4	5	
⑪電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	1	2	3	4	5	
<b>「ゆとり・うるおい」</b>						
⑫美しい建築物や道路による良好な景観がある	1	2	3	4	5	
⑬緑豊かで憩いくつろげる場所がある	1	2	3	4	5	
⑭河川、水路などの水に親しめる場所がある	1	2	3	4	5	
<b>「最寄りの駅について」</b>						
⑮バスやタクシーの乗場などが整備されている	1	2	3	4	5	
⑯駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	1	2	3	4	5	
⑰駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	1	2	3	4	5	
⑱駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	1	2	3	4	5	

(市民アンケート調査票続き)

**問 6.** 現在の本市に、全体としてどのような都市イメージを持っておられますか。(2つまで選択可)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 大阪都市圏の住宅都市         | 6. スポーツや文化活動が盛んな文化都市   |
| 2. 買物客でにぎわう商業都市       | 7. さまざまな国の人々が交流する国際都市  |
| 3. 阪神間を代表する工業都市       | 8. 史跡、遺産が残る歴史都市        |
| 4. 高齢者などが住みやすい福祉都市    | 9. 脱炭素のまちづくりを進める環境先進都市 |
| 5. 教育施設や生涯教育が充実した教育都市 | 10. その他 ( )            |

**問 7.** 将来の本市が全体としてどのような都市になっていけば良いと思われますか。(2つまで選択可)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. ゆとりのある良好な住環境のまち     | 6. 建物やまちなみなどの景観を大切にしまち |
| 2. 買い物など日常生活をしやすいまち    | 7. 人が集まり、交流するにぎわいのあるまち |
| 3. 住宅と商店、住宅と工場とが共存するまち | 8. 河川、運河などの水辺を生かしたまち   |
| 4. バス、電車などが利用しやすいまち    | 9. その他 ( )             |
| 5. 公園や街路樹などの緑の豊かなまち    |                        |

**問 8.** 日常生活の中で利用する施設の場所と利用頻度、主な移動手段をお答えください。(1つに○)

※ 通勤・通学していない方は、勤務先・学校の項目は回答せず、商業施設から回答してください。

施設の種類の種類	場所		その外出頻度					その主な移動手段									
	尼崎市 市内の方が多い	尼崎市 市外の方が多い	1週間に 5回以上	1週間に 数回程度	1か月に 数回程度	年に数回 程度	全く利用 しない	徒歩のみ	自転車	バイク (原付含む)	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族等が運転)	タクシー	路線バス	鉄道	その他	
例：施設	①	2	1	②	3	4	5	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9	
勤務先・学校	X	X	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
小規模な商業施設 【スーパー、コンビニ等】	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
大規模な商業施設 【ショッピングモール等】	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
飲食店	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
病院・診療所	1	2	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

問 9. お住まいの地域にどのような災害リスクがあるかを知っていますか。(1つに○)

1. ハザードマップ等を確認し、住んでいる地域の災害時の危険性を把握している。
2. ハザードマップ等があることは知っているが、災害時の危険性は把握していない。
3. ハザードマップ等があることを知らない。▶ハザードマップ等は市ホームページからも閲覧できます(チラシ参照)

問 10. 防災・減災のまちづくりとして必要と思う取組はありますか。

(特に重要と考えるものを2つまで選択)

- |                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 建物の耐震化、建替えなどの地震の備えを進める           | 5. 被災した場合に速やかに復旧できるよう、復興の事前準備を進める   |
| 2. 河川の治水、臨海部の浸水対策などの水害対策を進める        | 6. 浸水被害が大きいなど、危険な地域は、住宅建設などの開発を抑制する |
| 3. 災害時の避難地、避難路、物資の輸送路を確保する          | 7. その他 ( )                          |
| 4. 地域での防災訓練や防災マップづくりなど、自助・共助の取組を進める |                                     |

### 地域のまちづくりについて

尼崎市では次に示すような様々な地域のまちづくりが行われています。

地域のまちづくりの取組内容を踏まえて、問 11 以降(次ページ)の設問にお答えください。



杭瀬公園マルシェイベント



阪神出屋敷駅のペインティングイベント



阪急塚口駅の社会実験



花壇の植替え



クリーン運動



まちづくりワークショップ

## (2) 事業者アンケート調査 調査票

### 貴事業所の状況について

問 1. 貴事業所の状況についてお答えください。

■ 貴事業所の所在地(口の中にご記入ください。)

尼崎市   丁目 (記入例：尼崎市 東七松町 1 丁目)

■ 事業の業種(主なもの1つに○)

- |                    |                       |                  |            |
|--------------------|-----------------------|------------------|------------|
| 1. 農林水産業           | 2. 建設業                | 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 4. 製造業     |
| 5. 情報通信業           | 6. 運輸業、郵便業            | 7. 不動産業、物品賃貸業    | 8. 卸売業、小売業 |
| 9. 学術研究、専門・技術サービス業 | 10. 宿泊業、飲食サービス業       | 11. 教育、学習支援業     |            |
| 12. 生活関連サービス業、娯楽業  | 13. 金融業、保険業           | 14. 医療、福祉        |            |
| 15. 複合サービス事業       | 16. サービス業(他に分類されないもの) | 17. その他( )       |            |

■ 貴事業所の従業員数(1つに○)

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 4人以下   | 2. 5～9人   | 3. 10～19人 | 4. 20～29人 |
| 5. 30～49人 | 6. 50～99人 | 7. 100人以上 |           |

■ 従業員のうち、尼崎市内居住者の割合(1つに○)

- |               |                  |               |
|---------------|------------------|---------------|
| 1. ほぼ全員(約10割) | 2. 大半(7～9割)      | 3. 5割前後(4～6割) |
| 4. 少し(2～3割)   | 5. ほとんどいない(1割未満) | 6. わからない      |

■ 従業員の主要な通勤手段(主なもの1つに○)

- |        |          |       |
|--------|----------|-------|
| 1. 電車  | 2. 車、バイク | 3. バス |
| 4. 自転車 | 5. 徒歩のみ  |       |

■ 尼崎市内で開業した年(1つに○)

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 昭和30年以前    | 2. 昭和31年～昭和50年 | 3. 昭和51年～平成6年 |
| 4. 平成7年～平成16年 | 5. 平成17年～平成26年 | 6. 平成27年以降    |

■ 土地・建物の所有関係(1つに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 土地及び建物ともに所有 | 2. 土地は所有、建物は借家 |
| 3. 土地は借地、建物は所有 | 4. 土地及び建物ともに賃貸 |

■ 貴事業所が立地する用途地域(複数にまたがる場合は、主なもの1つに○)

- |           |           |          |         |
|-----------|-----------|----------|---------|
| 1. 工業専用地域 | 2. 工業地域   | 3. 準工業地域 | 4. 商業地域 |
| 5. 近隣商業地域 | 6. 住居系の地域 | 7. わからない |         |

■ 貴事業所の周りの建物の状況(主なもの1つに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 工場や倉庫などが主である | 2. 店舗や事務所が主である     |
| 3. 住宅が主である      | 4. 住宅と工場・倉庫が混在している |

### 事業活動と尼崎のまちづくりについて

**問 2.** 尼崎市では平成 26 年にまちづくりの基本的な方針を示す計画(都市計画マスタープラン)を改定し、その計画に基づきまちづくりを進めていることを知っていましたか。(1つに○)

1. 計画があることを知らなかった (今回はじめて知った)
2. 計画があることは知っているが、見たことはない
3. 計画があることを知っており、見たことがある

**問 3.** 都市計画マスタープランを広く知っていただき、尼崎市のまちづくりに興味をもっていただくためには、どのような周知方法が効果的だと思いますか。(2つまで選択可)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 市の広報誌に掲載   | 4. 動画配信やSNS  |
| 2. 説明会の実施     | 5. 市のイベントを活用 |
| 3. 小学校等で講座を開催 | 6. その他 ( )   |

**問 4.** 尼崎市が取り組んでいる分野別の主なまちづくりの取組をご存じですか。

分野	代表的な取組内容	選択肢
土地利用	 <p>【利便性が高く魅力と活力ある都市空間を創出する取組】 ・公共施設再編を通して、子どもたちの健やかな成長を目指していく拠点「あまがさき・ひと咲きプラザ」が令和元年から本格的に始動していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市交通	 <p>【誰もが安全で快適に移動できる交通空間形成に向けた取組】 ・自転車での快適な移動を推進するために、自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティーサイクルを整備していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
市街地整備	 <p>【安心して生活できる安全で魅力ある市街地整備の取組】 ・老朽危険空家の解消や空き家の利活用、流通の促進に向けて様々な取組を行っていることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市環境	 <p>【持続可能な社会に向けた循環型・低炭素まちづくりの取組】 ・地球温暖化やごみ減量に向け、児童一人ひとりが自分で考え、行動するために、小学生の授業で活用できる環境教育プログラムを実施していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市景観	 <p>【誇りと愛着と活力のある美しいまちをめざす取組】 ・美しいまちの景観に貢献する建物や活動を「まちかどチャレンジ賞」として表彰していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない
都市防災	 <p>【被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりの取組】 ・地域の自主防災会が実施する地域防災マップづくりや防災訓練等を支援していることをご存じですか。</p>	1. 知っている 2. 知らない

(事業者アンケート調査票続き)

問 5. 貴事業所のある地域についての現状の満足度と、今後のまちづくりについて市が優先して取り組むべき項目についてお答えください。(満足度は各項目1つに○)

項 目	満 足	や や 満 足	と ま ま な ら ず	や や 不 満	不 満	優先すべき 項目 5つに○
※ 記入例 下水道が整備されている	1	②	3	4	5	
<b>「働きやすさ」</b>						
①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	1	2	3	4	5	
②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	1	2	3	4	5	
③日頃利用する公園の使いやすさ	1	2	3	4	5	
<b>「安全性」</b>						
④近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	1	2	3	4	5	
⑤道が広いなど、地震や火災に対する強さ	1	2	3	4	5	
⑥歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	1	2	3	4	5	
<b>「交通」</b>						
⑦道路が整備され自転車が走りやすい	1	2	3	4	5	
⑧幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	1	2	3	4	5	
⑨電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	1	2	3	4	5	
<b>「ゆとり・うるおい」</b>						
⑩美しい建築物や道路による良好な景観がある	1	2	3	4	5	
⑪緑豊かで憩いやすくなる場所がある	1	2	3	4	5	
⑫河川、水路などの水に親しめる場所がある	1	2	3	4	5	
<b>「最寄りの駅について」</b>						
⑬バスやタクシーの乗場などが整備されている	1	2	3	4	5	
⑭駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	1	2	3	4	5	
⑮駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	1	2	3	4	5	
⑯駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	1	2	3	4	5	

(事業者アンケート調査票続き)

問 6. 現在の尼崎市に、全体としてどのような都市イメージを持っておられますか。(2つまで選択可)

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 大阪都市圏の住宅都市         | 6. スポーツや文化活動が盛んな文化都市   |
| 2. 買物客でにぎわう商業都市       | 7. さまざまな国の人々が交流する国際都市  |
| 3. 阪神間を代表する工業都市       | 8. 史跡、遺産が残る歴史都市        |
| 4. 高齢者などが住みやすい福祉都市    | 9. 脱炭素のまちづくりを進める環境先進都市 |
| 5. 教育施設や生涯教育が充実した教育都市 | 10. その他 ( )            |

問 7. 将来の尼崎市が全体としてどのような都市になっていけば良いと思われませんか。(2つまで選択可)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. ゆとりのある良好な住環境のまち     | 6. 建物やまちなみなどの景観を大切にしまち |
| 2. 買い物など日常生活をしやすいまち    | 7. 人が集まり、交流するにぎわいのあるまち |
| 3. 住宅と商店、住宅と工場とが共存するまち | 8. 河川、運河などの水辺を生かしたまち   |
| 4. バス、電車などが利用しやすいまち    | 9. その他 ( )             |
| 5. 公園や街路樹などの緑の豊かなまち    |                        |

問 8. 貴事業所のある地域にどのような災害リスクがあるかを知っていますか。(1つに○)

1. ハザードマップ等を確認し、貴事業所のある地域の災害時の危険性を把握している。
2. ハザードマップ等があることは知っているが、災害時の危険性は把握していない。
3. ハザードマップ等があることを知らない。▶ハザードマップ等は市ホームページからも閲覧できます (チラシ参照)

問 9. 防災・減災のまちづくりとして必要と思う取組はありますか。

(特に重要と考えるものを2つまで選択)

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1. 建物の耐震化、建替えなどの地震の備えを進める           | 5. 被災した場合に速やかに復旧できるよう、復興の事前準備を進める       |
| 2. 河川の治水、臨海部の浸水対策などの水害対策を進める        | 6. 浸水被害が大きいなど、危険な地域については、住宅建設などの開発を抑制する |
| 3. 災害時の避難地、避難路、物資の輸送路を確保する          | 7. その他 ( )                              |
| 4. 地域での防災訓練や防災マップづくりなど、自助・共助の取組を進める |   |

問 10. 現在の所在地で、事業を営むに当たって問題と感じているところはありますか。

(当てはまるもの全てに○)

- |                                 |                                       |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 周りが住宅地になり、事業がしづらくなっている       | 7. 周りの人口が減少し、客の数が少なくなっている             |
| 2. 周りに建物が密集しており、思うように事業を拡大できない  | 8. 空き店舗、倉庫などが増加し、商業地として魅力がなくなっている     |
| 3. 法令の規制で、思うように事業ができない          | 9. 大型店舗の出店(撤退)により、人の流れや客層などが大きく変化している |
| 4. 幹線道路の渋滞や道路の幅が狭いなど、交通上の不便を感じる | 10. コンビニ、飲食店などの利便施設が近くにないので不便を感じる     |
| 5. マイカーや自転車、歩行者が多く、周りの道路が使いづらい  | 11. 事業を営む上で、特に問題は感じていない               |
| 6. 従業員用や来客用など駐車スペースが不足している      | 12. その他 ( )                           |

(事業者アンケート調査票続き)

**問 11.**人口減少や少子高齢化、流通システムの革新や DX の推進など、様々な要因により産業構造が変化しつつありますが、今後の事業についてどのようにお考えですか。

(当てはまるもの全てに○)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 事業規模・敷地規模を拡大したい      | 5. 事業内容を変更・事業分野の拡大をしたい |
| 2. 事業規模・敷地規模を縮小していきたい   | 6. 新たな技術を積極的に取り入れていきたい |
| 3. 近い将来事業をやめたい          | 7. 今後も今と同じように事業を継続したい  |
| 4. 利便性や安全性が高い場所などに移転したい | 8. その他 ( )             |

移転希望場所(1つに○)

1. 市内  
2. 市外

【希望している理由】

**問 12.**地球温暖化や災害の激甚化が進んでおり、脱炭素・持続可能な社会づくりに向けて、民間企業にも地球環境に配慮した取組が求められています。現在すでに取り組んでいるもの又は今後取り組むことができそうなものはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- |                          |                                      |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 1. 再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電等) | 4. 省エネ型建物や設備への更新                     |
| 2. プラスチックリサイクル等の資源循環     | 5. 環境にやさしい通勤手段に移行<br>(自転車や公共交通機関を利用) |
| 3. 食品・廃材等バイオマスの利用        | 6. その他 ( )                           |

**問 13.** 貴事業所は、まちづくりへの協力や貢献について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- |                    |                  |               |
|--------------------|------------------|---------------|
| 1. 既に協力・貢献している     | 4. あまり協力・貢献したくない |               |
| 2. 積極的に協力・貢献したい    |                  | 5. 協力・貢献したくない |
| 3. 状況によっては協力・貢献したい |                  |               |

問 15 へ

**問 14.** 貴事業所は、まちづくりに向けてどのような協力が考えられますか。

(当てはまるもの全てに○)

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 事業所敷地内に花を植えたり、緑化する等、街の憩いの創出に貢献する      | 6. 商品名や会社名で尼崎市を P R する   |
| 2. 事業所やその周辺の美化を行う                        | 7. 地域のイベントに積極的に参加する      |
| 3. 建物の高さや色を周辺と調和したものにす                   | 8. 地域のイベントに金銭的な支援をする     |
| 4. 交通渋滞を緩和するために時差出勤を行う                   | 9. 施設見学など、事業所を観光に利用する    |
| 5. 交通渋滞緩和や温室効果ガス排出削減のため、通勤に公共交通や自転車を利用する | 10. 小中学生の職場体験など教育活動に協力する |
|  | 11. その他 ( )              |

(事業者アンケート調査票続き)

**問 15.** 尼崎を居住地として選んでいただけるようなまちづくりを進めていくために、市外から通勤される従業員の方々を対象としたアンケートにご協力いただけますか。

ご協力いただける場合は、QRコード又はURLが記載された用紙を、対象となる従業員の方々に配布していただき、webから回答していただく予定です。

1. 協力できる

2. 協力できない



貴事業所の所在地	
貴事業所の名称	
ご担当者の氏名	
電話 / E-mail	

※ 市内にある貴事業所の所在地等をご記入ください。なお、その貴事業所が本社である場合は、その所在地等をご記入ください。

その他 まちづくりについてご意見、ご要望等ございましたら、ご記載願います。(自由記述)

---

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

---

### (3) 市外からの通勤者向けアンケート調査項目

#### 【回答者の属性】

- 通勤場所（記述式）：尼崎市 ○○町 ○○丁目
- 勤務先の業種：商業系／工業系／その他
- 居住地（選択肢）：伊丹市／西宮市／神戸市／大阪市／豊中市／その他
- 居住地が実家かどうか：実家である／実家ではない
- 年齢：～20歳代／30歳代／40歳代／50歳代／60歳代以上
- 家族構成：一人暮らし／夫婦のみ／夫婦と子ども／三世代同居  
／ひとり親と子供／その他
- 勤続年数：3年未満／3～5年未満／5～10年未満／10～20年未満／20年以上
- 尼崎市までの交通手段：鉄道／路線バス／原付・自動二輪／自転車／自家用車／その他

#### 【市外在住者から見た尼崎のまちの課題・魅力】

問1. 尼崎市内でよく訪れる場所

- ・JR 尼崎駅周辺／JR 立花駅周辺／JR 塚口駅周辺／阪急塚口駅周辺／阪急武庫之荘駅周辺／阪神尼崎駅周辺／その他

問2. 尼崎市の魅力

- ・大都市に近くアクセスがよい／大型ショッピングセンターがある／昔ながらの商店街がある  
／働くための機会・場所が充実している／広い公園、自然環境が充実している／文化施設が多い  
／子育て支援が充実している／教育環境が充実している／寺町など良好な都市景観がある  
／鉄道やバスなど移動が便利／低炭素社会に向けた先進的な取り組み／その他

問3. 尼崎市のまちの課題

- ・商業施設が不足している／魅力的な空間が不足している／働く場所が不足している  
／公園などくつろげる空間が不足している／趣味やサークル活動ができる場所がない／住宅価格が高い  
／子育てや教育環境が近隣市に比べて劣っている／医療施設が不足している  
／住宅地としてのイメージがよくない（治安が悪いイメージ）／その他

問4. 尼崎市のまちづくりに関する満足度

- ①通勤の利便性／②買い物の利便性／③治安やマナー／④身近な緑や自然／⑤大気などの環境  
／⑥地域のつながり／⑦子育て環境・支援（尼崎市総計 転入・転出世帯アンケートより）

問5. 今後尼崎市での居留意向

- ・住みたい／できれば住んでみたい／あまり住みたくない／住みたくない

問6. 尼崎市で居住するために必要なもの

- ・買い物など商業施設の充実／魅力的な空間・にぎわい空間／働くための機会・場所の充実  
／公園などくつろげる空間の充実／趣味やサークル活動が出来る場所／手頃な価格の住宅  
／子育てや教育環境の充実／医療施設の充実／その他

## (4) 大学生向けアンケート調査項目

### 【回答者の属性】

- 通学先 : 関西国際大学(尼崎キャンパス) / 園田学園女子大学 / 園田学園女子大学短期大学部 / 武庫川女子大学 / 武庫川女子大学短期大学部 / 産業技術短期大学
- 学年 : 1年生 / 2年生 / 3年生 / 4年生 / その他
- 住まいの場所 : 尼崎市(町名) / 尼崎市外(都道府県名及び市町村名)
- 居住年数 : 1年未満 / 1~4年未満 / 4年以上
- 出身地 : 尼崎市 / 兵庫県内(市町村名) / 兵庫県外(都道府県名及び市町村名) / その他
- 居住の形態 : 一人暮らし / 親など親族と同居 / 友人など非親族と同居 / その他
- 通学手段 : 鉄道 / 路線バス / 原付・自動二輪 / 自転車 / 徒歩のみ / 自家用車 / その他

### 【若者から見た尼崎のまちの課題・魅力】

問1. 尼崎市内でよく訪れる場所

- ・ JR尼崎駅周辺 / JR立花駅周辺 / JR塚口駅周辺 / 阪急塚口駅周辺 / 阪急園田駅周辺 / 阪急武庫之荘駅周辺 / 阪神尼崎駅周辺 / その他

問2. 尼崎市のまちの魅力

- ・ 大都市に近くアクセスがよい / 大型ショッピングセンターがある / 昔ながらの商店街がある / 働くための機会・場所が充実している / 広い公園、自然環境が充実している / 文化施設が多い / 子育て支援が充実している / 教育環境が充実している / 寺町など良好な都市景観がある / 鉄道やバスなど移動が便利 / 低炭素社会に向けた先進的な取り組み / その他

問3. 尼崎市のまちづくりに関する満足度

- ①通学の利便性 / ②買い物の利便性 / ③治安やマナー / ④身近な緑や自然 / ⑤大気などの環境 / ⑥地域のつながり / ⑦子育て環境・支援

問4. 今後尼崎市での居留意向

- ・ 住みたい / できれば住んでみたい / あまり住みたくない / 住みたくない

問5-1. 将来尼崎市で"住み続けたい"と思うために必要だと考えられるものは何であるか

(「住みたい」「できれば住んでみたい」を選択した方)

- ・ 買い物など商業施設の充実 / 魅力的な空間・にぎわい空間 / 働くための機会・場所の充実 / 公園などくつろげる空間の充実 / 趣味やサークル活動が出来る場所 / 手頃な価格の住宅 / 子育てや教育環境の充実 / 医療施設の充実 / その他

問5-2. 将来尼崎市で"住みたい"と思うために必要だと考えられるものは何であるか

(「住みたくない」「あまり住みたくない」を選択した方)

- ・ 買い物など商業施設の充実 / 魅力的な空間・にぎわい空間 / 働くための機会・場所の充実 / 公園などくつろげる空間の充実 / 趣味やサークル活動が出来る場所 / 手頃な価格の住宅 / 子育てや教育環境の充実 / 医療施設の充実 / その他

## 資料 アンケート集計結果一覧

---

### (1) 市民アンケート調査

#### 問1 - 居住地域

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 阪急沿線地域	260	52.8
2 JR沿線地域	143	29.1
3 阪神沿線地域	89	18.1
4 不明	0	0.0

※アンケート回答の町丁目より分類

#### 問1 - 回答者の年齢

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 10～20歳代	68	13.8
2 30歳代	66	13.4
3 40歳代	103	20.9
4 50歳代	70	14.2
5 60歳代	65	13.2
6 70歳以上	120	24.4
7 無回答・不明	0	0.0

#### 問1 - 職業

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 フルタイム勤務	241	49.0
2 パート・アルバイト	68	13.8
3 自営業・自由業	29	5.9
4 学生	5	1.0
5 家事専業	49	10.0
6 無職（求職中も含む）	81	16.5
7 その他	14	2.8
8 無回答・不明	5	1.0

**問1 - 通勤・通学の有無 <非該当:135件を除く>**

単一回答	件数	割合(%)
全体	357	100
1 通勤・通学している	318	89.1
2 通勤・通学していない	33	9.2
3 無回答・不明	6	1.7

※非該当：職業が家事専業、無職、無回答・不明

**問1 - 通勤・通学先 <非該当:174件を除く>**

単一回答	件数	割合(%)
全体	318	100
1 尼崎市内	138	43.4
2 大阪市	81	25.5
3 神戸市	30	9.4
4 西宮市	20	6.3
5 伊丹市	11	3.5
6 その他	37	11.6
7 無回答・不明	1	0.3

**問1 - 最寄り駅**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 阪急武庫之荘	91	18.5
2 阪急塚口	59	12.0
3 阪急園田	48	9.8
4 阪急神崎川 (市外)	1	0.2
5 JR立花	78	15.9
6 JR尼崎	61	12.4
7 JR塚口	43	8.7
8 JR猪名寺	13	2.6
9 JR甲子園口 (市外)	1	0.2
10 阪神尼崎	31	6.3
11 阪神武庫川	20	4.1
12 阪神杭瀬	14	2.8
13 阪神出屋敷	14	2.8
14 阪神尼崎センタープール前	5	1.0
15 阪神大物	7	1.4
16 不明	6	1.2

**問1 - 最寄り駅までの移動手段**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 徒歩	283	57.5
2 自転車	146	29.7
3 車	11	2.2
4 バス	49	10.0
5 その他	1	0.2
6 無回答・不明	2	0.4

**問1 - 最寄り駅までの所要時間**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 徒歩5分未満	78	15.9
2 徒歩5分～10分未満	182	37.0
3 徒歩10分～20分未満	176	35.8
4 徒歩20分以上	53	10.8
5 無回答・不明	3	0.6

**問1 - 現在の家の所有状況**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 一戸建て（持ち家）	191	38.8
2 一戸建て（賃貸）	13	2.6
3 長屋建て（持ち家）	13	2.6
4 長屋建て（賃貸）	11	2.2
5 分譲マンション	99	20.1
6 民間の賃貸マンション	120	24.4
7 UR・公社の賃貸住宅	2	0.4
8 公営住宅（県営・市営住宅）	23	4.7
9 官舎・社宅・寮	12	2.4
10 その他	6	1.2
11 無回答・不明	2	0.4

**問1 - 現在の家での居住年数**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 5年未満	136	27.6
2 5年～9年	70	14.2
3 10年～19年	103	20.9
4 20年～29年	66	13.4
5 30年以上	114	23.2
6 無回答・不明	3	0.6

**問1 - 今後の居住意向**

単一回答	10～20歳代		30～40歳代		50～60歳代		70歳以上		市全体	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1 住み続けたい (満足している)	20	29.4	76	45.0	72	53.3	79	65.8	247	50.2
2 住み続けたい (不満はある)	17	25.0	59	34.9	42	31.1	31	25.8	149	30.3
3 引越したい (市内)	7	10.3	13	7.7	8	5.9	6	5.0	34	6.9
4 引越したい (市外)	22	32.4	14	8.3	9	6.7	3	2.5	48	9.8
5 その他	2	2.9	7	4.1	4	3.0	1	0.8	14	2.8
6 無回答・不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	68	100.0	169	100.0	135	100.0	120	100.0	492	100.0

**問1 - 同居家族の構成**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 単身 (一人暮らし)	142	28.9
2 夫婦と子供	157	31.9
3 三世同居	14	2.8
4 夫婦ふたり	107	21.7
5 ひとり親と子供	39	7.9
6 その他	32	6.5
7 無回答・不明	1	0.2

**問2 - 都市計画マスタープランの認知度**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 計画があることを知らなかった (今回はじめて知った)	386	78.5
2 計画があることは知っているが、 見たことはない	77	15.7
3 計画があることを知っており、 見たことがある。	16	3.3
4 無回答・不明	13	2.6

**問3 - 都市計画マスタープランの周知に有効な方法**

複数回答 (2つまで選択)	件数	割合(%)
全体	492	100
1 市の広報誌に掲載	297	60.4
2 説明会の実施	56	11.4
3 小学校等で講座を開催	31	6.3
4 動画配信やSNS	229	46.5
5 市のイベントを活用	134	27.2
6 その他	23	4.7
7 無回答・不明	19	3.9

その他の主な内容	件数
1 駅などの公共施設・商業施設での広告	6
2 フライヤー・資料等の配付	5
3 ホームページの整理・一新	3
4 テレビコマーシャル	3

**問4 - 土地利用分野のまちづくりの認知度**

(「あまがさき・ひと咲きプラザ」の本格的な始動)

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 知っている	86	17.5
2 知らない	396	80.5
3 無回答・不明	10	2.0

**問4 - 都市交通分野のまちづくりの認知度**

(自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティサイクルの整備)

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 知っている	252	51.2
2 知らない	231	47.0
3 無回答・不明	9	1.8

**問4 - 市街地整備分野のまちづくりの認知度**

(老朽危険空家の解消や空家の利活用、流通の促進等)

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 知っている	68	13.8
2 知らない	416	84.6
3 無回答・不明	8	1.6

**問4 - 都市環境分野のまちづくりの認知度**

〔小学校の授業での環境教育プログラムの実施  
持続可能な社会にむけた循環型・低炭素のまちづくりの推進〕

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 知っている	58	11.8
2 知らない	423	86.0
3 無回答・不明	11	2.2

**問4 - 都市景観分野のまちづくりの認知度**

(美しい景観に貢献する建物や活動の表彰等)

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 知っている	92	18.7
2 知らない	390	79.3
3 無回答・不明	10	2.0

**問4 - 都市防災分野のまちづくりの認知度**

(地域防災マップづくりや防災訓練等の支援)

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 知っている	201	40.9
2 知らない	282	57.3
3 無回答・不明	9	1.8

問5 - 現状のまちづくりの満足度

項目		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答不明	合計	
住みやすさ	①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	件数	217	168	49	35	12	11	492
		割合(%)	44.1	34.1	10.0	7.1	2.4	2.2	100
	②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	件数	190	188	80	23	5	6	492
		割合(%)	38.6	38.2	16.3	4.7	1.0	1.2	100
	③日頃利用する公園の使いやすさ	件数	102	134	201	31	14	10	492
		割合(%)	20.7	27.2	40.9	6.3	2.8	2.0	100
④日当たりなど生活環境の良さ	件数	166	168	99	40	12	7	492	
	割合(%)	33.7	34.1	20.1	8.1	2.4	1.4	100	
⑤騒音、悪臭、振動が少ない生活環境の良さ	件数	82	143	146	83	30	8	492	
	割合(%)	16.7	29.1	29.7	16.9	6.1	1.6	100	
安全性	⑥近くに避難施設があるなどの災害時の逃げやすさ	件数	87	158	190	42	8	7	492
		割合(%)	17.7	32.1	38.6	8.5	1.6	1.4	100
	⑦道が広いなどの地震や火災に対する強さ	件数	57	116	211	73	21	14	492
		割合(%)	11.6	23.6	42.9	14.8	4.3	2.8	100
⑧歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	件数	60	129	179	87	28	9	492	
	割合(%)	11.6	23.6	42.9	14.8	4.3	2.8	100	
交通	⑨道路が整備され自転車が走りやすい	件数	50	119	155	134	26	8	492
		割合(%)	10.2	24.2	31.5	27.2	5.3	1.6	100
	⑩幹線道路などが整備され、車両の移動しやすい	件数	69	153	190	54	10	16	492
		割合(%)	14.0	31.1	38.6	11.0	2.0	3.3	100
⑪電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	件数	148	182	91	52	12	7	492	
	割合(%)	30.1	37.0	18.5	10.6	2.4	1.4	100	
ゆとり・うるおい	⑫美しい建築物や道路による良好な景観がある	件数	22	79	218	129	35	9	492
		割合(%)	4.5	16.1	44.3	26.2	7.1	1.8	100
	⑬緑豊かで憩いをつづげる場所がある	件数	40	143	172	98	31	8	492
		割合(%)	8.1	29.1	35.0	19.9	6.3	1.6	100
⑭河川・水路など水に親しめる場所がある	件数	44	120	166	112	42	8	492	
	割合(%)	8.9	24.4	33.7	22.8	8.5	1.6	100	
最寄りの駅について	⑮バスやタクシーの乗場などが整備されている	件数	124	191	115	38	16	8	492
		割合(%)	25.2	38.8	23.4	7.7	3.3	1.6	100
	⑯駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	件数	90	151	124	90	27	10	492
		割合(%)	18.3	30.7	25.2	18.3	5.5	2.0	100
	⑰駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	件数	75	176	130	76	27	8	492
		割合(%)	15.2	35.8	26.4	15.4	5.5	1.6	100
⑱駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	件数	42	131	176	108	23	12	492	
	割合(%)	8.5	26.6	35.8	22.0	4.7	2.4	100	

問5 - 今後のまちづくりで市が優先して取り組むべき項目

複数回答（5つまで選択）		件数	割合(%)
全体		492	100
住みやすさ	①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	120	23.3
	②近くに病院があるなど 公共的な施設の使いやすさ	125	24.0
	③日頃利用する公園の使いやすさ	61	12.3
	④日当たりなど生活環境の良さ	46	9.5
	⑤騒音、悪臭、振動が少ない 生活環境の良さ	143	29.5
安全性	⑥近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	88	17.8
	⑦道が広いなど、地震や火災に対する強さ	93	19.2
	⑧歩道や横断歩道の整備など による歩行者の歩きやすさ	125	24.9
交通	⑨道路が整備され 自転車が走りやすい	107	21.8
	⑩幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	44	8.8
	⑪電車やバスの便などの 公共交通が使いやすい	93	18.1
ゆとり ・うるおい	⑫美しい建築物や道路による 良好な景観がある	60	12.1
	⑬緑豊かで憩いにつづげる 場所がある	112	22.9
	⑭河川・水路などの水に 親しめる場所がある	56	11.2
最寄りの駅 について	⑮バスやタクシーの乗場などが 整備されている	32	6.4
	⑯駅周辺に娯楽施設や 商業施設などが十分にある	90	17.8
	⑰駅や商業施設などに 駐輪場が十分にある	50	10.1
	⑱駅周辺の商業施設などに 駐車場が十分にある	44	9.0

問6 - 本市にどのような都市イメージを持っているか

複数回答（2つまで選択）		件数	割合(%)
全体		248	100
1	大阪都市圏の住宅都市	127	51.2
2	買い物客でにぎわう商業都市	53	21.4
3	阪神間を代表する工業都市	131	52.8
4	高齢者などが住みやすい福祉都市	15	6.0
5	教育施設や生涯教育が充実した教育都市	4	1.6
6	スポーツや文化活動が盛んな文化都市	10	4.0
7	さまざまな国の人々が交流する国際都市	8	3.2
8	史跡・遺産が残る歴史都市	22	8.9
9	脱炭素のまちづくりを進める環境先進都市	5	2.0
10	その他	13	5.2
11	不明・無回答	5	2.0

**問7 - 本市が今後どのような都市になって欲しいか。**

複数回答（2つまで選択）	件数	割合(%)
全体	492	100
1 ゆとりある良好な住環境のまち	233	47.4
2 買い物など日常生活をしやすいまち	214	43.5
3 住宅と商店、住宅と工場が共存するまち	44	8.9
4 バス、電車などが利用しやすいまち	76	15.4
5 公園や街路樹などの緑の豊かなまち	125	25.4
6 建物やまちなみなどの景観を大切にしたまち	66	13.4
7 人が集まり、交流するにぎわいのあるまち	82	16.7
8 河川・運河などの水辺を生かしたまち	45	9.1
9 その他	19	3.9
10 無回答・不明	12	2.4

**問8 - 通勤・通学頻度 <非該当:174件を除く>**

単一回答	件数	割合(%)
全体	318	100
1 週に5回以上	212	66.7
2 週に数回程度	52	16.4
3 月に数回程度	11	3.5
4 年に数回程度	3	0.9
5 全く利用しない	2	0.6
6 無回答・不明	38	11.9

**問8 - 通勤・通学手段 <非該当:174件を除く>**

単一回答（※）	件数	割合(%)
全体	318	100
1 徒歩のみ	33	10.4
2 自転車	105	33.0
3 バイク	13	4.1
4 自動車（自分で運転）	38	11.9
5 自動車（家族等が運転）	3	0.9
6 タクシー	0	0.0
7 路線バス	12	3.8
8 鉄道	91	28.6
9 その他	1	0.3
10 無回答・不明	34	10.7

※ 単一回答の設問であったが、複数回答が多かったため複数回答で集計しており、構成比の合計は100%とはならない。

問8 - スーパーやコンビニ等の小規模な商業施設を利用する時、市内と市外のどちらが多いか

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 尼崎市内の方が多い	369	75.0
2 尼崎市外の方が多い	37	7.5
3 無回答・不明	86	17.5

問8 - スーパーやコンビニ等の小規模な商業施設の利用頻度

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 週に5回以上	142	28.9
2 週に数回程度	265	53.9
3 月に数回程度	39	7.9
4 年に数回程度	4	0.8
5 全く利用しない	2	0.4
6 無回答・不明	40	8.1

問8 - スーパーやコンビニ等の小規模な商業施設までの移動手段は何か

単一回答 (※)	件数	割合(%)
全体	492	100
1 徒歩のみ	130	26.4
2 自転車	208	42.3
3 バイク	11	2.2
4 自動車 (自分で運転)	79	16.1
5 自動車 (家族等が運転)	18	3.7
6 タクシー	1	0.2
7 路線バス	7	1.4
8 鉄道	17	3.5
9 その他	0	0.0
10 無回答・不明	35	7.1

※ 単一回答の設問であったが、複数回答が多かったため複数回答で集計しており、構成比の合計は100%とはならない。

問8 - ショッピングモール等の大規模な商業施設を利用する時、市内と市外のどちらが多いか

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 尼崎市内の方が多い	194	39.4
2 尼崎市外の方が多い	195	39.6
3 無回答・不明	103	20.9

問8 - ショッピングモール等の大規模な商業施設の利用頻度

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 週に5回以上	26	5.3
2 週に数回程度	106	21.5
3 月に数回程度	242	49.2
4 年に数回程度	59	12.0
5 全く利用しない	5	1.0
6 無回答・不明	54	11.0

問8 - ショッピングモール等の大規模な商業施設までの移動手段

単一回答(※)	件数	割合(%)
全体	492	100
1 徒歩のみ	33	6.7
2 自転車	95	19.3
3 バイク	10	2.0
4 自動車(自分で運転)	142	28.9
5 自動車(家族等が運転)	48	9.8
6 タクシー	1	0.2
7 路線バス	24	4.9
8 鉄道	100	20.3
9 その他	0	0.0
10 無回答・不明	50	10.2

※ 単一回答の設問であったが、複数回答が多かったため複数回答で集計しており、構成比の合計は100%とはならない。

**問8 - 飲食店を利用する時、市内と市外のどちらが多いか**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 尼崎市内の方が多い	259	52.6
2 尼崎市外の方が多い	124	25.2
3 無回答・不明	109	22.2

**問8 - 飲食店の利用頻度**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 週に5回以上	16	3.3
2 週に数回程度	96	19.5
3 月に数回程度	213	43.3
4 年に数回程度	102	20.7
5 全く利用しない	13	2.6
6 無回答・不明	52	10.6

**問8 - 飲食店までの移動手段**

単一回答 (※)	件数	割合(%)
全体	492	100
1 徒歩のみ	78	15.9
2 自転車	107	21.7
3 バイク	1	0.2
4 自動車 (自分で運転)	93	18.9
5 自動車 (家族等が運転)	59	12.0
6 タクシー	2	0.4
7 路線バス	17	3.5
8 鉄道	82	16.7
9 その他	2	0.4
10 無回答・不明	62	12.6

※ 単一回答の設問であったが、複数回答が多かったため複数回答で集計しており、構成比の合計は100%とはならない。

問8 - 病院・診療所を利用する時、市内と市外のどちらが多いか。

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 尼崎市内の方が多い	358	72.8
2 尼崎市外の方が多い	35	7.1
3 無回答・不明	99	20.1

問8 - 病院・診療所の利用頻度

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 週に5回以上	9	1.8
2 週に数回程度	25	5.1
3 月に数回程度	170	34.6
4 年に数回程度	226	45.9
5 全く利用しない	16	3.3
6 無回答・不明	46	9.3

問8 - 病院・診療所までの移動手段

単一回答 (※)	件数	割合(%)
全体	492	100
1 徒歩のみ	107	21.7
2 自転車	190	38.6
3 バイク	11	2.2
4 自動車 (自分で運転)	84	17.1
5 自動車 (家族等が運転)	16	3.3
6 タクシー	9	1.8
7 路線バス	20	4.1
8 鉄道	24	4.9
9 その他	1	0.2
10 無回答・不明	41	8.3

0※ 単一回答の設問であったが、複数回答が多かったため複数回答で集計しており、構成比の合計は100%とはならない。

**問9 - 居住する地域の災害リスクの認知度**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 ハザードマップ等を確認し、災害時の危険性を把握している	241	49.0
2 ハザードマップ等があることは知っているが、危険性を把握していない	197	40.0
3 ハザードマップがあることを知らない	36	7.3
4 無回答・不明	18	3.7

**問10 - 防災・減災のまちづくりに向けて必要な取組**

複数回答（2つまで選択）	件数	割合(%)
全体	492	100
1 建物の耐震化等、地震への備え	185	37.6
2 水害対策	239	48.6
3 避難路、輸送路の確保	167	33.9
4 自助共助の取組	80	16.3
5 復興の事前準備	129	26.2
6 危険地域の開発抑制	70	14.2
7 その他	4	0.8
8 無回答・不明	22	4.5

**問11 - 地域のまちづくりに関心があるか**

単一回答	件数	割合(%)
全体	492	100
1 関心があり、機会があれば積極的に参加したい	39	7.9
2 関心があり、時間があれば参加したい	168	34.1
3 関心はあまりないが、情報提供は必要	229	46.5
4 関心はない	42	8.5
5 無回答・不明	14	2.8

問12 - 地域のまちづくりにどのように参加したいか <非該当:285件を除く>

複数回答（当てはまるものすべて選択）	件数	割合(%)
全体	207	100
1 ワークショップ等、議論への参加	41	19.8
2 地域のイベントへの参加	103	49.8
3 環境美化活動・緑化活動への参加	83	40.1
4 アンケート・意見募集への協力	98	47.3
5 インターネットやSNSを活用	46	22.2
6 その他	0	0.0
7 無回答・不明	4	1.9

問13 - 多くの市民がまちづくりに参加するために、市が重点的に行うべき取組

複数回答（2つまで選択）	件数	割合(%)
全体	492	100
1 地域の情報(人口、歴史、法律の制限、基盤整備の状況など)の提供	134	27.2
2 まちづくりを話し合うための機会・場所の提供	83	16.9
3 まちづくりの活動への財政的支援	131	26.6
4 まちづくりのアドバイスを行う行政窓口の設置・専門家の派遣	75	15.2
5 地域のまちづくりのリーダーを養成する仕組みづくり	50	10.2
6 まちづくりの有効な方策などの解説書の提供	33	6.7
7 各地域のまちづくりの情報提供	173	35.2
8 先進的なまちづくりの取り組み事例などの情報	88	17.9
9 その他	11	2.2
10 無回答・不明	31	6.3

## ■ 自由意見

自由意見の主な内容としては、「公園の管理・遊具の更新」や「まちの美化・ゴミの問題」に対する要望が目立つ。また、「尼崎市のイメージアップが必要」という要望も複数見られた。

その他の内容は以下のとおりである。

主な意見		件数	主な意見		件数
<b>1</b>	公園の管理・遊具の更新	11	<b>12</b>	子ども達が遊べる場所を	3
<b>2</b>	まちの美化・ゴミの問題	8	<b>13</b>	市内の緑化	3
<b>3</b>	まちのイメージアップ	7	<b>14</b>	駅周辺の開発	3
<b>4</b>	まちの情報発信	6	<b>15</b>	自転車の対策	2
<b>5</b>	治安・防犯対策	6	<b>16</b>	住みやすいまちづくり	2
<b>6</b>	歩道を含む道路の整備・拡幅	6	<b>17</b>	高齢者にやさしいまちづくり	2
<b>7</b>	違法駐車対策	4	<b>18</b>	街灯の設置	2
<b>8</b>	子育て環境の充実	4	<b>19</b>	若い人が住みたいと思うまちに	2
<b>9</b>	予算の有効活用	4	<b>20</b>	空き家対策	2
<b>10</b>	地域コミュニティへの参加	4	<b>21</b>	街路樹の清掃管理	2
<b>11</b>	水害などまちの防災対策	3	<b>22</b>	マナーの向上	2

※ 複数回答があったもののみ

## (2) 事業者アンケート調査

### 問1 - 業者

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 農林水産業	1	0.4
2 建設業	64	25.8
3 電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.8
4 製造業	54	21.8
5 情報通信業	1	0.4
6 運輸業・郵便業	10	4.0
7 不動産業・物品賃貸業	27	10.9
8 卸売業・小売業	26	10.5
9 学術研究、専門・技術サービス業	9	3.6
10 宿泊業、飲食サービス業	6	2.4
11 教育、学習支援業	2	0.8
12 生活関連サービス業・娯楽業	2	0.8
13 金融業、保険業	0	0.0
14 医療、福祉	17	6.9
15 複合サービス事業	4	1.6
16 サービス業（他に分類されないもの）	12	4.8
17 その他	10	4.0
18 不明・無回答	1	0.4

### 問1 - 従業員数

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 4人以下	71	28.6
2 5～9人	60	24.2
3 10～19人	55	22.2
4 20～29人	17	6.9
5 30～49人	16	6.5
6 50～99人	11	4.4
7 100人以上	16	6.5
8 不明	2	0.8

### 問1 - 市内居住の従業員の割合

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 ほぼ全員	51	20.6
2 大半	56	22.6
3 5割前後	58	23.4
4 少し	49	19.8
5 ほとんどいない	31	12.5
6 分からない	2	0.8
7 不明・無回答	1	0.4

### 問1 - 従業員の主要な交通手段

単一回答 (※)	件数	割合(%)
全体	248	100
1 電車	58	23.4
2 車・バイク	103	41.5
3 バス	10	4.0
4 自転車	72	29.0
5 徒歩のみ	26	10.5
6 不明・無回答	2	0.8

※ 単一回答の設問であったが、複数回答が多かったため複数回答で集計しており、構成比の合計は100%とはならない。

### 問1 - 開業した年

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 昭和30年以前	37	14.9
2 昭和31～昭和50年	66	26.6
3 昭和51年～平成6年	41	16.5
4 平成7年～平成16年	25	10.1
5 平成17年～平成26年	47	19.0
6 平成27年以降	32	12.9
7 不明・無回答	0	0.0

**問1 - 土地・建物の所有関係**

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 土地及び建物ともに所有	123	49.6
2 土地は所有、建物は借家	4	1.6
3 土地は借地、建物は所有	22	8.9
4 土地及び建物ともに賃貸	95	38.3
5 不明・無回答	4	1.6

**問1 - 事務所周辺の用途地域**

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 工業専用地域	13	5.2
2 工業地域	27	10.9
3 準工業地域	51	20.6
4 商業地域	17	6.9
5 近隣商業地域	15	6.0
6 住居系の地域	80	32.3
7 分からない	40	16.1
8 不明・無回答	5	2.0

**問1 - 事務所周辺の建物の状況**

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 工場や倉庫	52	21.0
2 店舗と事務所	34	13.7
3 住宅	101	40.7
4 住宅と工場・倉庫が混在	60	24.2
5 不明・無回答	1	0.4

## 問2 - 都市計画マスタープランの認知度

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 計画があることを知らなかった（今回はじめて知った）	157	63.3
2 計画があることは知っているが、見たことはない	68	27.4
3 計画があることを知っており、見たことがある。	19	7.7
4 不明・無回答	4	1.6

## 問3 - 都市計画マスタープランの周知に有効な方法

複数回答（2つまで選択）	件数	割合(%)
全体	248	100
1 市の広報誌に掲載	140	56.5
2 説明会の実施	28	11.3
3 小学校等で講座を開催	10	4.0
4 動画配信やSNS	121	48.8
5 市のイベントを活用	68	27.4
6 その他	7	2.8
7 不明・無回答	7	2.8

その他の主な内容	件数
マスメディアの活用	2

## 問4 - 土地利用分野のまちづくりの認知度

（「あまがさき・ひと咲きプラザ」の本格的な始動）

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 知っている	68	27.4
2 知らない	179	72.2
3 不明・無回答	1	0.4

## 問4 - 都市交通分野のまちづくりの認知度

（自転車専用レーンや駐輪場、コミュニティサイクルの整備）

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 知っている	145	58.5
2 知らない	102	41.1
3 不明・無回答	1	0.4

**問4 - 市街地整備分野のまちづくりの認知度**

(老朽危険空家の解消や空家の利活用、流通の促進等)

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 知っている	54	21.8
2 知らない	193	77.8
3 不明・無回答	1	0.4

**問4 - 都市環境分野のまちづくりの認知度**〔小学校の授業での環境教育プログラムの実施  
持続可能な社会にむけた循環型・低炭素のまちづくりの推進〕

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 知っている	46	18.5
2 知らない	200	80.6
3 不明・無回答	2	0.8

**問4 - 都市景観分野のまちづくりの認知度**

(美しい景観に貢献する建物や活動の表彰等)

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 知っている	59	23.8
2 知らない	188	75.8
3 不明・無回答	1	0.4

**問4 - 都市防災分野のまちづくりの認知度**

(地域防災マップづくりや防災訓練等の支援)

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 知っている	130	52.4
2 知らない	117	47.2
3 不明・無回答	1	0.4

問5- 現状のまちづくりの満足度

項目			満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答不明	合計
住みやすさ	①食料品や雑貨などの日用品を そろえる商店などの充実さ	件数	67	93	47	22	12	7	248
		割合(%)	27.0	37.5	19.0	8.9	4.8	2.8	100
	②近くに病院があるなど 公共的な施設の使いやすさ	件数	64	108	50	17	7	2	248
		割合(%)	25.8	43.5	20.2	6.9	2.8	0.8	100
	③日頃利用する公園の使いやすさ	件数	29	64	111	24	16	4	248
		割合(%)	11.7	25.8	44.8	9.7	6.5	1.6	100
安全性	④近くに避難施設があるなど、 災害時の逃げやすさ	件数	29	72	97	31	15	4	248
		割合(%)	11.7	29.0	39.1	12.5	6.0	1.6	100
	⑤道が広いなど、 地震や火災に対する強さ	件数	17	70	87	52	17	5	248
		割合(%)	6.9	28.2	35.1	21.0	6.9	2.0	100
	⑥歩道や横断歩道の整備など による歩行者の歩きやすさ	件数	13	71	85	56	20	3	248
		割合(%)	5.2	28.6	34.3	22.6	8.1	1.2	100
交通	⑦道路が整備され 自転車が走りやすい	件数	12	57	88	66	22	3	248
		割合(%)	4.8	23.0	35.5	26.6	8.9	1.2	100
	⑧幹線道路などが整備され、 車両が移動しやすい	件数	22	88	85	39	11	3	248
		割合(%)	8.9	35.5	34.3	15.7	4.4	1.2	100
	⑨電車やバスの便などの 公共交通が使いやすい	件数	36	101	71	25	13	2	248
		割合(%)	14.5	40.7	28.6	10.1	5.2	0.8	100
ゆとり ・うろおい	⑩美しい建築物や道路による 良好な景観がある	件数	4	38	105	67	32	2	248
		割合(%)	1.6	15.3	42.3	27.0	12.9	0.8	100
	⑪緑豊かで憩いつづげる 場所がある	件数	9	48	107	57	25	2	248
		割合(%)	3.6	19.4	43.1	23.0	10.1	0.8	100
	⑫河川・水路などの水に 親しめる場所がある	件数	14	50	102	48	31	3	248
		割合(%)	5.6	20.2	41.1	19.4	12.5	1.2	100
最寄りの駅 について	⑬バスやタクシーの乗場などが 整備されている	件数	32	94	72	37	10	3	248
		割合(%)	12.9	37.9	29.0	14.9	4.0	1.2	100
	⑭駅周辺に娯楽施設や商業施設 などが十分にある	件数	32	79	75	39	21	2	248
		割合(%)	12.9	31.9	30.2	15.7	8.5	0.8	100
	⑮駅や商業施設などに 駐輪場が十分にある	件数	25	70	93	38	19	3	248
		割合(%)	10.1	28.2	37.5	15.3	7.7	1.2	100
	⑯駅周辺の商業施設などに 駐車場が十分にある	件数	22	52	86	63	22	3	248
		割合(%)	8.9	21.0	34.7	25.4	8.9	1.2	100

問5- 今後のまちづくりで市が優先して取り組むべき項目

複数回答（5つまで選択）		件数	割合(%)
全体		248	100
住みやすさ	①食料品や雑貨などの日用品をそろえる商店などの充実さ	31	12.5
	②近くに病院があるなど公共的な施設の使いやすさ	41	16.5
	③日頃利用する公園の使いやすさ	21	8.5
安全性	④近くに避難施設があるなど、災害時の逃げやすさ	56	22.6
	⑤道が広いなど、地震や火災に対する強さ	62	25.0
	⑥歩道や横断歩道の整備などによる歩行者の歩きやすさ	53	21.4
交通	⑦道路が整備され自転車が走りやすい	57	23.0
	⑧幹線道路などが整備され、車両が移動しやすい	26	10.5
	⑨電車やバスの便などの公共交通が使いやすい	30	12.1
ゆとり・うるおい	⑩美しい建築物や道路による良好な景観がある	28	11.3
	⑪緑豊かで憩いくつろげる場所がある	35	14.1
	⑫河川・水路などの水に親しめる場所がある	23	9.3
最寄りの駅について	⑬バスやタクシーの乗場などが整備されている	34	13.7
	⑭駅周辺に娯楽施設や商業施設などが十分にある	22	8.9
	⑮駅や商業施設などに駐輪場が十分にある	22	8.9
	⑯駅周辺の商業施設などに駐車場が十分にある	36	14.5

問6 - 尼崎市にどのようなイメージを持っているか

複数回答（2つまで選択）		件数	割合(%)
全体		248	100
1	大阪都市圏の住宅都市	127	51.2
2	買い物客でにぎわう商業都市	53	21.4
3	阪神間を代表する工業都市	131	52.8
4	高齢者などが住みやすい福祉都市	15	6.0
5	教育施設や生涯教育が充実した教育都市	4	1.6
6	スポーツや文化活動が盛んな文化都市	10	4.0
7	さまざまな国の人々が交流する国際都市	8	3.2
8	史跡・遺産が残る歴史都市	22	8.9
9	脱炭素のまちづくりを進める環境先進都市	5	2.0
10	その他	13	5.2
11	不明・無回答	5	2.0

**問7- 将来尼崎がどのようなまちになってほしいか**

複数回答（2つまで選択）	件数	割合(%)
全体	248	100
1 ゆとりある良好な住環境のまち	88	35.5
2 買い物など日常生活をしやすいまち	61	24.6
3 住宅と商店、住宅と工場が共存するまち	74	29.8
4 バス、電車などが利用しやすいまち	35	14.1
5 公園や街路樹などの緑の豊かなまち	43	17.3
6 建物やまちなみなどの景観を大切にしたまち	33	13.3
7 人が集まり、交流するにぎわいのあるまち	62	25.0
8 河川・運河などの水辺を生かしたまち	20	8.1
9 その他	10	4.0
10 不明・無回答	7	2.8

**問8- 事務所のある地域の災害リスクのを把握しているか**

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 ハザードマップ等を確認し、 災害時の危険性を把握している	153	61.7
2 ハザードマップ等があることは知っているが、 危険性を把握していない	80	32.3
3 ハザードマップがあることを知らない	8	3.2
4 不明・無回答	7	2.8

**問9- 防災・減災に必要な取組**

複数回答（2つまで選択）	件数	割合(%)
全体	248	100
1 建物の耐震化等、地震への備え	91	36.7
2 水害対策	117	47.2
3 避難路、輸送路の確保	77	31.0
4 自助共助の取組	36	14.5
5 復興の事前準備	70	28.2
6 危険地域の開発抑制	36	14.5
7 その他	3	1.2
8 不明・無回答	7	2.8

**問10- 事業を営む上でのまちの問題点**

複数回答（当てはまるものすべて選択）	件数	割合(%)
全体	248	100
1 周りが住宅地になり、事業しづらくなる	31	12.5
2 周りに建物が密集しており思うように事業を書く痔できない	15	6.0
3 法令の規制で思うように事業できない	15	6.0
4 幹線道路の渋滞や道路の道幅が狭いなど、交通上不便	51	20.6
5 マイカー、自転車、歩行者が多く道路が使用しづらい	22	8.9
6 駐車スペースの不足	50	20.2
7 人口減少に伴う客足の減少	13	5.2
8 空き店舗、倉庫の増加による商業地としての魅力の低減	26	10.5
9 大型店舗の影響による客層・量の大きな変化	9	3.6
10 コンビニ等の利便施設の不足	30	12.1
11 特に問題はない	97	39.1
12 その他	9	3.6
13 不明・無回答	7	2.8

**問11- 産業構造の変化に伴って、今後どのように事業を展開するか**

複数回答（当てはまるものすべて選択）	件数	割合(%)
全体	248	100
1 事業・敷地規模を拡大したい	53	21.4
2 事業・敷地規模を縮小したい	9	3.6
3 近い将来事業をやめたい	8	3.2
4 利便性や安全性が高い場所などに移転したい	15	6.0
5 事業内容の変更・事業分野を拡大したい	31	12.5
6 新たな技術を積極的に取り入れていきたい	48	19.4
7 今と同様に継続	152	61.3
8 その他	3	1.2
9 不明・無回答	7	2.8

**問11- 事務所を移転するとしたら、どちらが良いか**

単一回答	件数	割合(%)
全体	15	100
1 市内	9	60.0
2 市外	6	40.0
3 不明・無回答	0	0.0

**問12- 脱炭素・持続可能な社会の実現に向けて必要な取組**

複数回答（当てはまるものすべて選択）	件数	割合(%)
全体	248	100
1 再生可能エネルギーの導入	61	24.6
2 プラスチックサイクル等の資源循環	85	34.3
3 バイオマスの利用	25	10.1
4 省エネ型建物・設備への更新	65	26.2
5 環境に優しい通勤手段	62	25.0
6 その他	13	5.2
7 不明・無回答	38	15.3

**問13- まちづくりへの貢献・協力の意向**

単一回答	件数	割合(%)
全体	248	100
1 既に協力・貢献している	40	16.1
2 積極的に協力・貢献したい	35	14.1
3 状況によっては協力・貢献したい	157	63.3
4 あまり協力・貢献したくない	4	1.6
5 協力・貢献したくない	4	1.6
6 不明・無回答	8	3.2

**問14- 事務所としてどのようにまちづくりに協力するか**

複数回答（当てはまるものすべて選択）	件数	割合(%)
全体	233	100
1 緑化等で憩いの場の創出に貢献	64	27.5
2 事業所周辺の美化	139	59.7
3 建物を周辺と調和させる	24	10.3
4 時差出勤	24	10.3
5 通勤時に公共交通・自転車の利用	48	20.6
6 会社名等で尼崎市をPRする	26	11.2
7 イベントへの積極的な参加	47	20.2
8 イベントに金銭的支援をする	19	8.2
9 施設見学等で観光に利用する	6	2.6
10 職場体験など教育活動に協力する	32	13.7
11 その他	3	1.3
12 不明・無回答	9	3.9

## ■ 自由意見

自由意見の主な内容としては、「マナーの向上」に対する要望が目立つ。また、「歩道を含む道路の整備・拡幅」や「自転車の対策」など交通環境の整備に対する要望も複数みられた。

その他の内容は以下のとおりである。

主な意見		件数
1	マナーの向上	13
2	歩道を含む道路の整備・拡幅	6
3	自転車の対策	5
4	工業都市としてのまちづくり（住工混在対策を含む）	5
5	道路の拡幅	5
6	南北の交通問題（渋滞解消）	3
7	建築許可の問題、建築確認申請の厳格化	2
8	まちのイメージアップ	2
9	水害などまちの防災対策	2
10	まちづくりの地域格差	2
11	公共施設の有効活用	2

※ 複数回答があったもののみ

### (3) 市外からの通勤者向けアンケート調査

#### 勤務先の業種

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 工業系	168	78.1
2 商業系	15	7.0
3 その他	32	14.9

#### 居住地

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 伊丹市	19	8.8
2 西宮市	47	21.9
3 神戸市	21	9.8
4 大阪市	32	14.9
5 豊中市	4	1.9
6 宝塚市	17	7.9
7 その他	75	34.9

#### 実家住まいかどうか

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 実家である	72	33.5
2 実家ではない	143	66.5

#### 年齢

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 ~20歳代	24	11.2
2 30歳代	41	19.1
3 40歳代	63	29.3
4 50歳代	62	28.8
5 60歳代以上	25	11.6

### 家族構成

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 一人暮らし	23	10.7
2 夫婦のみ	34	15.8
3 夫婦と子ども	133	61.9
4 三世同居	10	4.7
5 ひとり親と子ども	5	2.3
6 その他	10	4.7

### 勤続年数

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 3年未満	26	12.1
2 3～5年未満	11	5.1
3 5～10年未満	29	13.5
4 10年～20年未満	42	19.5
5 20年以上	107	49.8

### 尼崎市までの交通手段

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 鉄道	135	62.8
2 路線バス	2	0.9
3 原付・自動二輪	11	5.1
4 自転車	16	7.4
5 自家用車	47	21.9
6 その他	4	1.9

**問1 - 尼崎市で良く訪れる場所**

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 JR尼崎駅周辺	40	18.6
2 JR立花駅周辺	13	6.0
3 JR塚口駅周辺	10	4.7
4 阪急塚口駅周辺	28	13.0
5 阪急武庫之荘駅周辺	16	7.4
6 阪神尼崎駅周辺	124	57.7
7 その他	37	17.2
8 無回答・不明	8	3.7

**問2 - 尼崎市のまちの魅力**

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 大都市に近くアクセスがよい	165	76.7
2 大型ショッピングセンターがある	42	19.5
3 昔ながらの商店街がある	65	30.2
4 働くための機会・場所在充実している	43	20.0
5 広い公園、自然環境が充実している	7	3.3
6 文化施設が多い	3	1.4
7 子育て支援が充実している	4	1.9
8 教育環境が充実している	0	0.0
9 寺町など良好な都市景観がある	14	6.5
10 鉄道やバスなど移動が便利	95	44.2
11 低炭素社会に向けた先進的な取り組み	2	0.9
12 その他	9	4.2
13 無回答・不明	4	1.9

問3 - 尼崎市のまちの課題は何だと思いますか

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 商業施設が不足している	26	12.1
2 魅力的な空間が不足している	72	33.5
3 働く場所が不足している	4	1.9
4 公園などつづげる空間が不足している	35	16.3
5 趣味やサークル活動ができる場所がない	10	4.7
6 住宅価格が高い	25	11.6
7 子育てや教育環境が近隣市に比べて劣っている	29	13.5
8 医療施設が不足している	6	2.8
9 住宅地としてのイメージがよくない（治安が悪いイメージ）	160	74.4
10 その他	26	12.1
11 無回答・不明	2	0.9

問4- 尼崎のまちづくりに関する満足度

項目		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	全体
①通勤の利便性	件数	77	77	33	22	6	215
	割合(%)	35.8	35.8	15.3	10.2	2.8	100.0
②買い物の利便性	件数	41	70	90	12	2	215
	割合(%)	19.1	32.6	41.9	5.6	0.9	100.0
③治安やマナー	件数	2	14	44	99	56	215
	割合(%)	0.9	6.5	20.5	46.0	26.0	100.0
④身近な緑や自然	件数	7	46	108	45	9	215
	割合(%)	3.3	21.4	50.2	20.9	4.2	100.0
⑤大気などの環境	件数	8	13	91	78	25	215
	割合(%)	3.7	6.0	42.3	36.3	11.6	100.0
⑥地域のつながり	件数	5	29	167	13	1	215
	割合(%)	2.3	13.5	77.7	6.0	0.5	100.0
⑦子育て環境・支援	件数	1	9	169	26	10	215
	割合(%)	0.5	4.2	78.6	12.1	4.7	100.0

問5 - 今後、尼崎市での居留意向はありますか。

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 住みたい	11	5.1
2 できれば住んでみたい	34	15.8
3 あまり住みたくない	90	41.9
4 住みたくない	80	37.2

問6- 尼崎市で居住するために必要なもの

項目	回答数	割合(%)
全体	215	100
1 買い物など商業施設の充実	74	34.4
2 魅力的な空間・にぎわい空間	74	34.4
3 働くための機会・場所の充実	22	10.2
4 公園などくつろげる空間の充実	69	32.1
5 趣味やサークル活動が出来る場所	24	11.2
6 手頃な価格の住宅	84	39.1
7 子育てや教育環境の充実	74	34.4
8 医療施設の充実	55	25.6
9 その他	35	16.3

#### (4) 大学生向けアンケート調査

##### 通学先 (大学名)

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 関西国際大学 (尼崎キャンパス)	36	12.4
2 園田学園女子大学	189	65.2
3 園田学園女子大学短期大学部	5	1.7
4 武庫川女子大学	49	16.9
5 武庫川女子大学短期大学部	2	0.7
6 産業技術短期大学	9	3.1

##### 学年

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 1年生	33	11.4
2 2年生	178	61.4
3 3年生	56	19.3
4 4年生	23	7.9
5 その他	0	0

##### 住まいの場所

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 尼崎市内	86	29.7
2 尼崎市外	204	70.3

##### 現在の住まいでの居住年数

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 1年未満	12	4.1
2 1年～4年未満	62	21.4
3 4年以上	216	74.5

### 出身地

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 尼崎市	35	12.1
2 兵庫県内（尼崎市外の市町村）	121	41.7
3 兵庫県外の市町村	131	45.2
4 その他	3	1.0

### 居住の形態

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 一人暮らし	53	18.3
2 親など親族と同居	227	78.3
3 友人など非親族と同居	4	1.4
4 その他	6	2.1

### 通学手段

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 鉄道	171	59.0
2 路線バス	8	2.8
3 原付・自動二輪	4	1.4
4 自転車	87	30.0
5 徒歩のみ	15	5.2
6 自家用車	3	1.0
7 その他	2	0.7

**問1- 尼崎市内でよく訪れる場所**

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 JR尼崎駅周辺	82	28.3
2 JR立花駅周辺	28	9.7
3 JR塚口駅周辺	32	11.0
4 阪急塚口駅周辺	160	55.2
5 阪急園田駅周辺	12	4.1
6 阪急武庫之荘駅周辺	30	10.3
7 阪神尼崎駅周辺	39	13.4
8 その他	7	2.4
9 無回答・不明	4	1.4

**問2- 尼崎市のまちの魅力は何だと思いますか**

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 大都市に近くアクセスがよい	193	66.6
2 大型ショッピングセンターがある	96	33.1
3 昔ながらの商店街がある	51	17.6
4 働くための機会・場所在充実している	13	4.5
5 広い公園、自然環境が充実している	33	11.4
6 文化施設が多い	12	4.1
7 子育て支援が充実している	24	8.3
8 教育環境が充実している	17	5.9
9 寺町など良好な都市景観がある	6	2.1
10 鉄道やバスなど移動が便利	114	39.3
11 低炭素社会に向けた先進的な取り組み	2	0.7
12 その他	8	2.8
13 無回答・不明	11	3.8

問3 - 尼崎のまちづくりに関する満足度

項目		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	分からない	全体
①通学の利便性	件数	104	110	39	14	10	13	290
	割合(%)	35.9	37.9	13.4	4.8	3.4	4.5	100
②買い物の利便性	件数	94	92	56	9	7	32	290
	割合(%)	32.4	31.7	19.3	3.1	2.4	11.0	100
③治安やマナー	件数	19	42	64	84	58	23	290
	割合(%)	6.6	14.5	22.1	29.0	20.0	7.9	100
④身近な緑や自然	件数	31	89	97	29	13	31	290
	割合(%)	10.7	30.7	33.4	10.0	4.5	10.7	100
⑤大気などの環境	件数	19	47	103	63	24	34	290
	割合(%)	6.6	16.2	35.5	21.7	8.3	11.7	100
⑥地域のつながり	件数	45	62	110	8	5	60	290
	割合(%)	15.5	21.4	37.9	2.8	1.7	20.7	100
⑦子育て環境・支援	件数	28	51	97	10	5	99	290
	割合(%)	9.7	17.6	33.4	3.4	1.7	34.1	100

問4- 今後、尼崎市での居留意向はありますか

項目	回答数	割合(%)
全体	290	100
1 住みたい	33	11.4
2 できれば住んでみたい	86	29.7
3 あまり住みたくない	114	39.3
4 住みたくない	57	19.7

**問5-1- 将来尼崎市で“住み続けたい”と思うために必要だと考えられるものは何ですか  
(問4の「住みたい」「できれば住んでみたい」の回答者119人対象)**

項目	回答数	割合(%)
全体	119	100
1 買い物など商業施設の充実	83	69.7
2 魅力的な空間・にぎわい空間	40	33.6
3 働くための機会・場所の充実	48	40.3
4 公園などつづげる空間の充実	32	26.9
5 趣味やサークル活動が出来る場所	24	20.2
6 手頃な価格の住宅	56	47.1
7 子育てや教育環境の充実	43	36.1
8 医療施設の充実	38	31.9
9 その他	4	3.4

**問5-2- 尼崎市で“住みたい”と思うために何が必要だと考えられますか。  
(問4の「あまり住みたくない」「住みたくない」の回答者171人対象)**

項目	回答数	割合(%)
全体	171	100
1 買い物など商業施設の充実	47	27.5
2 魅力的な空間・にぎわい空間	70	40.9
3 働くための機会・場所の充実	26	15.2
4 公園などつづげる空間の充実	36	21.1
5 趣味やサークル活動が出来る場所	19	11.1
6 手頃な価格の住宅	31	18.1
7 子育てや教育環境の充実	30	17.5
8 医療施設の充実	18	10.5
9 その他	37	21.6

## VI. 策定体制と経過等

### 1 尼崎市都市計画審議会条例

---

昭和 44 年 10 月 6 日

条例第 42 号

改正 昭和 52 年 8 月 2 日条例第 38 号 平成 12 年 6 月 21 日条例第 37 号  
平成 12 年 10 月 4 日条例第 42 号 令和 2 年 12 月 25 日条例第 50 号  
令和 4 年 12 月 28 日条例第 43 号

(この条例の趣旨)

第 1 条 この条例は、尼崎市都市計画審議会(以下「審議会」という。)の設置、組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(平 12 条例 37・一部改正、令 2 条例 50・全改)

(設置)

第 2 条 次の各号に掲げる事項を調査審議させるため、市長の附属機関として、審議会を置く。

- (1) 市が策定する都市計画に関する基本的な方針の策定に関する事項その他当該都市計画に関する重要な事項
- (2) 市の住宅政策に関する基本的な方針の策定に関する事項その他当該住宅政策に関する重要な事項
- (3) 本市の区域内における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針の策定に関する事項その他当該緑地の保全及び緑化の推進に関する重要な事項
- (4) 尼崎市住環境整備条例(昭和 59 年尼崎市条例第 44 号)第 15 条の 8 第 4 項及び第 5 項(これらの規定を同条例第 45 条の 3 第 2 項において準用する場合を含む。)及び第 17 条第 2 項(同条例第 18 条第 3 項及び第 33 条第 3 項において準用する場合を含む。)並びに尼崎市遊技場及びラブホテルの建築等の規制に関する条例(平成 18 年尼崎市条例第 62 号)第 4 条第 4 項、第 11 条第 4 項及び第 5 項並びに第 13 条の規定によりその権限に属させられた事項その他本市の区域内における住環境の整備等に関する重要な事項
- (5) 尼崎市都市美形成条例(昭和 59 年尼崎市条例第 41 号)第 6 条第 2 項(同条例第 8 条第 2 項及び第 18 条第 2 項において準用する場合を含む。)、第 6 条の 2 第 1 項(同条第 3 項並びに同条例第 7 条第 2 項及び第 4 項並びに第 12 条第 2 項において準用する場合を含む。)、第 4 項及び第 5 項、第 6 条の 3(同条例第 21 条第 3 項において準用する場合を含む。)、第 17 条並びに第 17 条の 2 第 2 項並びに尼崎市屋外広告物条例(平成 20 年尼崎市条例第 47 号)第 9 条第 2 項(同条例第 10 条第 2 項において準用する場合を含む。)、第 15 条第 2 項(同条例第 16 条第 4 項において準用する場合を含む。)及び第 31 条第 4 項(同条第 6 項において準用する場合及び同条例第 32 条第 5 項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定によりその権限に属させられた事項その他本市の区域内における都市美の形成(尼崎市都市美形成条例第 2 条第 1 号に規定する都市美の形成をいう。)等に関する重要な事項
- (6) 市の交通に関する政策の総合的かつ計画的な推進に関する方針の策定に関する事項その他当該政策に関する重要な事項

(7) 前各号に掲げるもののほか、都市計画法(昭和 43 年法律第 100 号)その他の法令の規定により市町村都市計画審議会の権限に属させられた事項

(8) その他市が行う都市整備等に関する重要な事項で市長が必要と認めるもの

(昭 52 条例 38・平 12 条例 37・平 12 条例 42・一部改正、令 2 条例 50・全改、令 4 条例 43・一部改正)

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 23 人以内で組織する。

2 審議会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

3 審議会に、専門の事項を調査させるため必要があるときは、専門委員を置くことができる。

(平 12 条例 37・追加、令 2 条例 50・全改、令 4 条例 43・一部改正)

(委嘱等)

第 4 条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 市議会議員

(3) 市民の代表者

(4) 産業界の代表者

(5) 関係行政機関又は兵庫県の職員

2 前条第 2 項の臨時委員(以下「審議会臨時委員」という。)及び専門委員は、前項第 1 号に掲げる者その他市長が適当と認める者のうちから市長が会長の意見を聴いて委嘱する。

(令 2 条例 50・追加)

(任期等)

第 5 条 委員の任期は、2 年を超えない範囲内において市長が別に定める期間とする。ただし、再任することを妨げない。

2 委員の辞任等により後任の委員を委嘱する場合における当該後任の委員の任期は、前任の委員の残任期間とする。

3 審議会臨時委員は、その者の委嘱に係る特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

4 専門委員は、その者の委嘱に係る専門の事項に関する調査が終了したときは、解嘱されるものとする。

(平 12 条例 37・一部改正、令 2 条例 50・旧第 4 条繰下・一部改正、令 4 条例 43・一部改正)

(会長)

第 6 条 審議会に会長を置き、委員(第 4 条第 1 項第 1 号に掲げる者のうちから委嘱されたものに限る。)のうちから、委員が選挙する。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(平 12 条例 37・一部改正、令 2 条例 50・旧第 5 条繰下・一部改正)

(招集)

第 7 条 審議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

(平 12 条例 37・一部改正、令 2 条例 50・旧第 6 条繰下)

(会議)

第8条 審議会は、委員(議事に関係のある審議会臨時委員を含む。次項において同じ。)の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

2 審議会の議事は、出席した委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(平12条例37・一部改正、令2条例50・旧第7条繰下・一部改正)

(専門分科会)

第9条 審議会に、その所掌事項を分掌させるため、規則で定めるところにより、専門分科会(以下「分科会」という。)を置く。

2 分科会に属すべき委員、審議会臨時委員及び専門委員(以下この項において「委員等」という。)は、委員等(第4条第1項第1号に掲げる者のうちから委嘱されたものに限る。)のうちから会長が指名する。

3 分科会に、その所掌事項を調査審議させるため必要があるときは、専属委員を置くことができる。

4 分科会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

5 専属委員は、第4条第1項各号(第2号を除く。)に掲げる者その他市長が適当と認める者のうちから市長が会長及びその属すべき分科会の分科会長の意見を聴いて委嘱する。

6 分科会に分科会長及び副分科会長を置き、分科会長は当該分科会に属する委員のうちから会長が、副分科会長は当該分科会に属する委員及び専属委員のうちから当該分科会の分科会長が指名する。

7 副分科会長は、その属する分科会の分科会長を補佐し、当該分科会長に事故があるとき又は当該分科会長が欠けたときは、その職務を代理する。

8 審議会は、分科会の議決(都市計画法その他の法令の規定により市町村都市計画審議会の権限に属させられた事項及び会長が指定する事項に係るものを除く。)をもって審議会の議決とするものとする。

9 第4条第2項及び第5条第3項の規定は第4項の臨時委員(以下「分科会臨時委員」という。)について、第5条第1項及び第2項の規定は専属委員について、第6条第2項及び前2条の規定は分科会について、それぞれ準用する。この場合において、第4条第2項中「会長」とあるのは「その属すべき分科会の分科会長」と、前条第1項中「委員(」とあるのは「分科会に属する委員(専属委員並びに)」と、「を含む。次項」とあるのは「及び次条第4項の臨時委員を含む。同条第9項において読み替えて準用する次項」と、同条第2項中「委員」とあるのは「分科会に属する委員」と読み替えるものとする。

(令2条例50・追加、令4条例43・一部改正)

(部会)

第10条 分科会は、必要に応じ、その所掌事項を分掌させるため、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員、審議会臨時委員、専門委員、専属委員及び分科会臨時委員は、当該部会が置かれた分科会の分科会長が指名する。

3 部会に部会長及び副部会長を置き、当該部会に属する委員及び専属委員のうちから、部会長は当該部会が置かれた分科会の分科会長が、副部会長は当該部会の部会長が指名する。

4 第6条第2項、第7条、第8条及び前条第7項の規定は、部会について準用する。この場合において、第8条第1項中「委員(」とあるのは「部会に属する委員(専属委員並びに)」と、「を含む。次項」とあるのは「及び次条第4項の臨時委員を含む。第10条第4項において読み替えて準用する次

項」と、同条第 2 項中「委員」とあるのは「部会に属する委員」と読み替えるものとする。

(令 2 条例 50・追加)

(意見の聴取等)

第 11 条 審議会、分科会及び部会は、必要があると認めるときは、審議会にあっては委員、審議会臨時委員及び専門委員以外の者を、分科会及び部会にあってはその属する委員、審議会臨時委員、専門委員、専属委員及び分科会臨時委員以外の者を、その会議に出席させて意見を聴き、又は必要な説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(令 2 条例 50・追加)

(幹事)

第 12 条 審議会に幹事を置く。

2 幹事は、市の職員のうちから市長が任命する。

3 幹事は、委員、審議会臨時委員、専門委員、専属委員及び分科会臨時委員を補佐して、担当事務を処理し、又は会務に従事する。

(平 12 条例 37・一部改正、令 2 条例 50・旧第 8 条繰下・一部改正)

(委任)

第 13 条 第 9 条から前条までに規定するもののほか、分科会の運営について必要な事項(審議会が別に定めるものを除く。)は、当該分科会の分科会長が当該分科会に諮って定める。

2 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(平 12 条例 37・一部改正、令 2 条例 50・旧第 9 条繰下・一部改正)

付 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 尼崎市都市計画審議会条例の一部を改正する条例(令和 2 年尼崎市条例第 50 号)の施行の日から令和 3 年 10 月 31 日までの間に第 4 条第 1 項の規定により委嘱された委員の任期は、第 5 条第 1 項の規定にかかわらず、同日に満了する。

(令 2 条例 50・追加)

(招集の特例)

3 最初に招集される審議会は、第 7 条の規定にかかわらず、市長が招集する。

(令 2 条例 50・旧第 2 項繰下)

付 則(昭和 52 年 8 月 2 日条例第 38 号)

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(平成 12 年 6 月 21 日条例第 37 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 12 年 7 月 1 日から施行する。

(招集の特例)

2 この条例の施行の日以後最初に招集される審議会は、この条例による改正後の尼崎市都市計画審議会条例第 6 条の規定にかかわらず、市長が招集する。

付 則(平成 12 年 10 月 4 日条例第 42 号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の尼崎市都市計画審議会条例(以下「改正後の条例」という。)第2条第2項の規定の適用については、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)から平成13年10月31日までの間は、同項第1号中「6人」とあるのは「9人」と、同項第3号中「4人」とあるのは「1人」とする。
- 3 施行日から平成13年10月31日までの間に委嘱される委員(補欠委員を除く。)の任期は、改正後の条例第4条第1項の規定にかかわらず、この条例の施行の際現に委嘱されている委員の残任期間に相当する期間とする。ただし、再任することを妨げない。

付 則(令和2年12月25日条例第50号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和3年6月27日から施行する。ただし、付則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(尼崎市公園緑地審議会条例等の廃止)

- 2 次の各号に掲げる条例は、廃止する。
  - (1) 尼崎市公園緑地審議会条例(平成元年尼崎市条例第14号)
  - (2) 尼崎市住環境整備審議会条例(平成18年尼崎市条例第63号)
  - (3) 尼崎市住宅政策審議会条例(令和元年尼崎市条例第8号)

(委任)

- 3 この条例の施行について必要な経過措置は、規則で定める。

(尼崎市都市美形成条例の一部改正)

- 4 尼崎市都市美形成条例(昭和59年尼崎市条例第41号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

(尼崎市住環境整備条例及び尼崎市遊技場及びラブホテルの建築等の規制に関する条例の一部改正)

- 5 次に掲げる条例の規定中「尼崎市住環境整備審議会」を「尼崎市都市計画審議会」に改める。

(1)・(2) 略

(尼崎市屋外広告物条例の一部改正)

- 6 尼崎市屋外広告物条例(平成20年尼崎市条例第47号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

付 則(令和4年12月28日条例第43号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(尼崎市地域交通政策審議会条例の廃止)

- 2 尼崎市地域交通政策審議会条例(平成27年尼崎市条例第1号)は、廃止する。

## 2 尼崎市都市計画審議会及び都市計画分科会

### (1) 尼崎市都市計画審議会委員名簿

#### ① 諮問時（令和4年5月24日）

区分	氏名	選出団体役職名等	備考
学 識 経 験 者	三谷 哲雄	流通科学大学教授（経済学部）	会長
	赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授（自然・環境科学研究所）	
	岡 絵理子	関西大学教授（環境都市工学部）	
	土井 健司	大阪大学大学院教授（工学研究科）	
	馬場 美智子	兵庫県立大学大学院教授（減災復興政策研究科）	
	藤本 真里	兵庫県立大学教授（自然・環境科学研究所）	
	増岡 亮	大手前大学准教授（建築&芸術学部）	
	山下 淳	元関西学院大学教授（法学部）	
	山下 紗矢佳	武庫川女子大学講師（経営学部）	
市 議 会 議 員	蛭子 秀一	建設消防防災委員会委員（公明党）	
	寺井 大地	建設消防防災委員会委員（日本維新の会）	
	中尾 健一	建設消防防災委員会委員（公明党）	
	林 久博	建設消防防災委員会委員（蒼風会）	
	別府 健一	建設消防防災委員会委員（日本維新の会）	
	真崎 一子	建設消防防災委員会委員（共産党議員団）	
	真鍋 修司	建設消防防災委員会委員（公明党）	
	綿瀬 和人	建設消防防災委員会委員（市民グリーンクラブ）	
上記以外の区分	片桐 新之介	公募市民	
	西村 昌浩	兵庫六甲農業協同組合	
	藤嶋 純子	商工会議所	
	伊藤 晃彦	兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所まちづくり参事	

※1 敬称略・各区分において50音順

※2 上記以外の区分：「市民の代表者」「産業界の代表」「関係行政機関又は兵庫県の職員」

② 答申時（令和6年2月9日）

区分	氏名	選出団体役職名等	備考
学 識 経 験 者	三谷 哲雄	流通科学大学教授（経済学部）	会長
	赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授（自然・環境科学研究所）	
	岡 絵理子	関西大学教授（環境都市工学部）	
	岡井 有佳	立命館大学教授（理工学部環境都市工学科）	
	三古 展弘	神戸大学大学院教授（経営学研究科）	
	馬場 美智子	兵庫県立大学大学院教授（減災復興政策研究科）	
	藤本 真里	兵庫県立大学教授（自然・環境科学研究所）	
	増岡 亮	大手前大学准教授（建築&芸術学部）	
	山下 淳	元関西学院大学教授（法学部）	
	山下 紗矢佳	武庫川女子大学講師（経営学部）	
市 議 会 議 員	川崎 敏美	建設消防防災委員会委員（共産党議員団）	
	辻 信行	建設消防防災委員会委員（日本維新の会）	
	波多 正文	建設消防防災委員会委員（青雲の会）	
	藤野 勝利	建設消防防災委員会委員（公明党）	
	前迫 直美	建設消防防災委員会委員（公明党）	
	松岡 洋司	建設消防防災委員会委員（日本維新の会）	
	宮城 亜幅	建設消防防災委員会委員（市民グリーンクラブ）	
上記以外の区分	片桐 新之介	公募市民	
	西村 昌浩	兵庫六甲農業協同組合	
	與那嶺 まり子	商工会議所	
	古川 仁	兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所まちづくり参事	

※1 敬称略・各区分において50音順

※2 上記以外の区分：「市民の代表者」「産業界の代表」「関係行政機関又は兵庫県の職員」

## (2) 尼崎市都市計画審議会都市計画分科会委員名簿

### ① 諮問時（令和4年5月24日）

区分	氏名	選出団体役職名等	備考
学識経験者	岡 絵理子	関西大学教授（環境都市工学部）	会長
	土井 健司	大阪大学大学院教授（工学研究科）	
	馬場 美智子	兵庫県立大学大学院教授（減災復興政策研究科）	
	松村 茂久	関西学院大学教授（建築学部）	
	秋山 秀一	兵庫県立大学教授（社会科学研究科）	
上記以外の区分	清利 京花	市民代表	
	坂本 恵利子	市民代表	
	片谷 勉	尼崎工業会	
	小寺 清隆	尼崎市営農振興会	
	安田 亨	尼崎商工会議所	

### ② 答申時（令和6年2月9日）

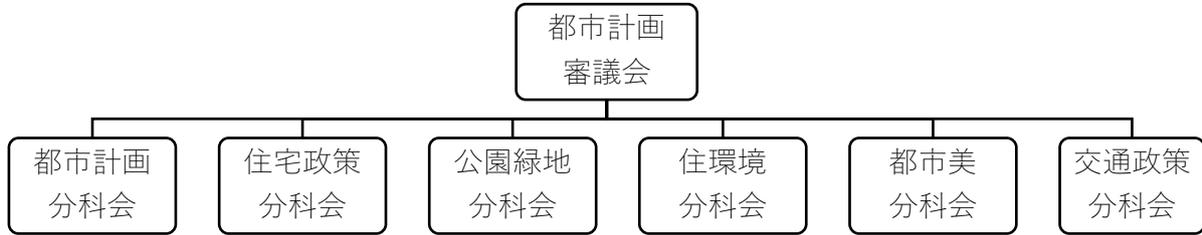
区分	氏名	選出団体役職名等	備考
学識経験者	岡 絵理子	関西大学教授（環境都市工学部）	会長
	岡井 有佳	立命館大学教授（理工学部環境都市工学科）	
	馬場 美智子	兵庫県立大学大学院教授（減災復興政策研究科）	
	松村 茂久	関西学院大学教授（建築学部）	
	秋山 秀一	兵庫県立大学教授（社会科学研究科）	
上記以外の区分	坂本 恵利子	市民代表	
	ジョン マリィ花子	市民代表	
	片谷 勉	尼崎市工業会	
	小寺 清隆	尼崎市営農振興会	
	安田 亨	尼崎商工会議所	

※1 敬称略・各区分において50音順

※2 上記以外の区分：「市民の代表者」「産業界の代表」

### (3) 尼崎市都市計画審議会及び各専門分科会との連携状況

持続可能な都市の実現を目的として、まちづくりにおける施策間の連携を推進するため、都市計画審議会に6つの専門分科会を設置している。都市計画マスタープランの策定にあたっては、都市計画審議会や都市計画分科会での審議だけではなく、その他の各専門分科会とも連携を図りながら検討を進めた。



専門分科会	調査審議事項	計画
都市計画分科会	・都市計画に関する基本的な方針の策定に関する事項等	尼崎市都市計画マスタープラン
住宅政策分科会	・住宅政策に関する基本的な方針の策定に関する事項等	尼崎市住まいと暮らしのための計画
公園緑地分科会	・緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針の策定に関する事項等	尼崎市みどりのまちづくり計画
住環境分科会	・大規模開発構想に係る公表、開発基準改定に関する事項 ・遊技場、ラブホテルの建築等に係る同意等に関する事項等	
都市美分科会	・都市美形成計画の策定、景観重要建造物等の指定、管理に関する命令等の手続等に関する事項 ・景観計画区域における届出対象行為に係る勧告等の手続、公表に関する事項 ・屋外広告物に係る許可基準の策定等に関する事項 ・公告景観モデル地区の指定に関する事項	尼崎市都市美形成計画
交通政策分科会	・総合的な交通体系の整備の方針の策定に関する事項等	尼崎市総合交通計画



都市計画審議会での審議



都市計画分科会での審議

### 3 検討経過

尼崎市都市計画マスタープランの策定にあたって、「尼崎市市民意見聴取プロセス」に基づき、素案を策定する前の段階から市民等の意見を聴取するとともに、庁内の関係職員で構成される庁内検討会議での協議、尼崎市都市計画審議会等の付属機関での審議を重ね、素案を策定しました。その後、素案を公表し、市民意見公募手続（パブリックコメント）を経て、「尼崎市都市計画審議会」の答申を受け策定しました。

#### ■ 計画の検討経過

	実施日	会議等	内容
令和4年 (2022年)	令和4年5月24日	第2回都市計画審議会 第1回都市計画分科会	現行計画の改定について
	7~8月	市民意見聴取	市民・事業者アンケート (市民2000人、事業所1000社に実施)
	8月2日	庁内ワークショップ	めざすまちの姿・取り組むべき課題等について
	8~9月	事業者意見聴取	尼崎商工会議所(部会会議)
	9月2日	第1回庁内検討会議	骨子案について
	9月30日	第2回都市計画分科会	骨子案について
	10月	市外居住者向けアンケート、 大学生向けアンケート	本市の事業所に市外から通勤されている従業員、 市内及び市近郊の大学に通う学生を対象に実施
	11月15日・16日	第2回庁内検討会議	分野別まちづくり案について
	11月29日	第4回都市計画審議会	骨子案について
	12月26日	第3回都市計画分科会	分野別まちづくり案について
令和5年 (2023年)	1~3月	市民意見聴取	パネル展(生涯学習プラザ(6地区)、本庁舎)
	1月11日、19日	土地利用に係る検討会議 (同幹事会)	骨子案、分野別まちづくり案について
	2月14日	第3回庁内検討会議	地域別まちづくり案、立地適正化計画について
	3月14日	第4回都市計画分科会	地域別まちづくり案、立地適正化計画について
	4月25日	第5回都市計画分科会	素案たたき台について
	5月30日	第6回都市計画審議会	素案たたき台について
	5~7月	都市計画審議会各専門分科会	素案たたき台について(分科会連携)
	6月14日	市民意見聴取	みんなの尼崎大学(あまがさきひと咲きプラザ)
	6月17日	市民意見聴取	ことはじめかいぎ(大庄北生涯学習プラザ)
	6月21日	事業者意見聴取	尼崎商工会議所(議員総会)
	6月24日	市民意見聴取	オープンハウス形式説明会 (JR尼崎駅前あまがさきキューズモール)
	6月25日	市民意見聴取	オープンハウス形式説明会 (阪神尼崎駅前中央公園)
	6月28日	市民意見聴取	ユース交流センター
	7月1日	市民意見聴取	おだらぶ土曜座談会(小田南生涯学習プラザ)
	7月2日	市民意見聴取	オープンハウス形式説明会 (阪急塚口駅前スカイコム)
	7月3日	土地利用に係る検討会議 (同幹事会)	素案について
	7月10日	市民意見聴取	中央おしゃべりデー(中央北生涯学習プラザ)
	7月11日	市民意見聴取	立花かいわい会(立花南生涯学習プラザ)

実施日	会議等	内容	
7月13日	市民意見聴取	そのだではなすのだ（園田東生涯学習プラザ）	
7月20日	市民意見聴取	MUKO キャンパスみんなのホームルーム（武庫西生涯学習プラザ）	
8月1日	第6回都市計画分科会	素案について	
8月28日	第7回都市計画審議会	素案について	
10月3日 ～10月23日	市民意見聴取	素案の公表、パブリックコメント	
12月27日	第1回都市計画分科会	パブリックコメントの実施結果、答申案について	
令和6年 (2024年)	1月30日	第2回都市計画審議会	パブリックコメントの実施結果、答申案について

### 【市民説明会等の実施状況】



パネル展示（生涯学習プラザ、本庁舎）



説明会（あまがさきキューズモール）



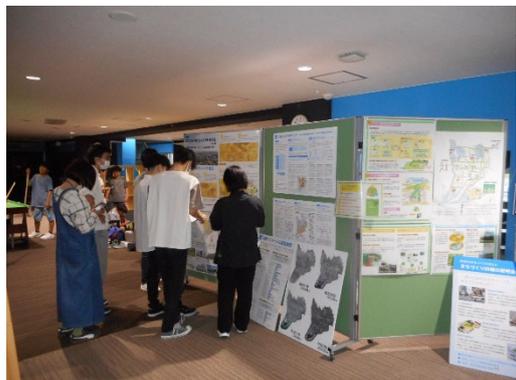
説明会（阪神尼崎駅前中央公園）



説明会（阪急塚口駅前スカイコム）



説明会（尼崎商工会議所議員総会）



説明会（ユース交流センター）

## 4 尼崎市都市計画審議会への諮問

尼都計第 67 号

令和4年5月24日

尼崎市都市計画審議会

会長 三谷 哲雄 様

尼 崎 市 長

稲 村 和 美



尼崎市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定について（諮問）

尼崎市は、本市の都市計画に関する基本的な方針として、「尼崎市都市計画マスタープラン」を平成26年3月に改定し、また、「尼崎市立地適正化計画」を平成29年3月に策定し、これらの計画に基づき、尼崎城の再建や歴史博物館の開館といった城内地区の整備や地区計画の策定、建築協定の締結などによる良好なまちづくりの推進に取り組んできました。

これらの現行計画の期間は、いずれも令和5年度までとなっており、改定に当たっては、人口減少社会の進行や脱炭素社会に向けた機運の高まり、頻発・激甚化する災害など本市を取り巻く状況、法改正などを踏まえるほか、兵庫県が令和2年度に改定した、上位計画である「阪神地域都市計画区域マスタープラン」や、令和4年度中に策定が予定されている「第6次尼崎市総合計画」を踏まえて、今後の本市のまちづくりの方向性を定める必要があります。

また、本市の特徴や実情を踏まえて、地域の特性や資源を生かし、その地域の魅力やにぎわいの向上につながるようなまちづくりが進められるよう、市民、事業者と共に取り組む方針などを示す必要があります。

こうしたことから、幅広い分野のご意見を貴審議会から伺いたく、両計画の改定について諮問いたします。

以 上

（都市計画課）



諮問の様子

## 5 尼崎市都市計画審議会からの答申

尼 都 審 第 3 号  
令和 6 年 2 月 9 日

尼 崎 市 長  
松 本 眞 様

尼崎市都市計画審議会  
会長 三 谷 哲 雄



尼崎市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定について（答申）

令和 4 年 5 月 24 日付け尼都計第 67 号で諮問のありました「尼崎市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定」について、本審議会において慎重に審議を行った結果、別紙のとおり答申します。

以 上



答申の様子

# AMAGASAKI CITY PLANNING